

章	項目	特記事項																																																																								
1	1 適用基準等	1) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(最新版) 2) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(最新版) 3) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(最新版) 4) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(最新版)																																																																								
	2 施工条件	施工方法及び検査に関する事項 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手すること。 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほりこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状回復するとともに市監督員に報告書を提出すること。 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事を含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 高所等の施工箇所で行った検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。																																																																								
	3 発生材の処理等 (1.3.12)	本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令第2項で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 ・分別解体等の方法 <table border="1"><thead><tr><th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>造成等</td><td>・有 ○ 無</td><td>・手作業 ・手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>基礎・基礎ぐい</td><td>・有 ○ 無</td><td>・手作業 ・手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>上部構造部分・外装</td><td>・有 ○ 無</td><td>・手作業 ・手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>屋根</td><td>・有 ○ 無</td><td>・手作業 ・手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>建築設備・内装等</td><td>○有 無</td><td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>その他 ()</td><td>・有 ○ 無</td><td>・手作業 ・手作業、機械作業の併用</td></tr></tbody></table> ○引き渡しを要するもの ○ 無 ・ 特別管理産業廃棄物 ・有(・PCBを含む機器類 ・廃油、廃酸、廃アルカリ ・ダイオキシン類 ・水銀を含む特別管理産業廃棄物 ・廃水銀等) 処理方法() ・水銀使用製品産業廃棄物 ・有(・蛍光灯ランプ ・ HIDランプ ・()) 「水銀廃棄物ガイドライン」(第2版)(平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。 ○石綿含有成形板等解体時の留意点 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2. 可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。 3. 飛散されない様にする。こと。 4. 保護器具及び作業を着用すること。 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 ・現場において再利用を図るもの () ・再資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 () 引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従って適切に処理し、監督員にマニフェストA、B、D票を提示すること。	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・有 ○ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・有 ○ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	・有 ○ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用	屋根	・有 ○ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○有 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	その他 ()	・有 ○ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																																																			
工程	作業の有無	分別解体等の方法																																																																								
造成等	・有 ○ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																																																																								
基礎・基礎ぐい	・有 ○ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																																																																								
上部構造部分・外装	・有 ○ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																																																																								
屋根	・有 ○ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																																																																								
建築設備・内装等	○有 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																																																																								
その他 ()	・有 ○ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																																																																								
4	建設副産物情報交換システムの利用	受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見えやすい場所に掲げること。なお、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。																																																																								
5	三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェスト)の数量を集計)を超えて請求することはできない。 ・配置する 職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。 調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による 補修方法 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																								
6	電気保安技術者 (1.3.3)																																																																									
7	技能士 (1.7.2)																																																																									
8	施工数量調査 (1.6.2)																																																																									
9	調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)																																																																									
10	建築材料等																																																																									
11	化学物質の濃度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質(示したものとす。) <table border="1"><thead><tr><th>適用</th><th>施設用途</th><th>ホルムアルデヒド</th><th>トルエン</th><th>キシレン</th><th>エチルベンゼン</th><th>スチレン</th><th>パラジクロロベンゼン</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>学校、教育施設</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>住宅</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示(図面番号:) ○(新指令室 2箇所) 測定方法(○) パッシ法 ・ アクティブ法) 測定時期 ○(改修前、改修後) 報告書提出部数 2部 改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。	適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン		学校、教育施設								住宅								その他																																														
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																																																																			
	学校、教育施設																																																																									
	住宅																																																																									
	その他																																																																									
12	特別な材料の工法																																																																									
13	騒音・振動の防止																																																																									
14	工事写真 (1.2.4)	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部(最新版))に従い撮影する。 提出部数1部 用紙はA5用紙とする。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について(平成29年3月1日付け官営整第211号)」による。 作成する(○) 完成図 ・ 安全に関する資料 ・ () 完成図作成範囲(設計図を訂正) 完成図はC A Dにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部(原図サイズ)により提出すること。 ○デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。 (A 4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大なる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。 施工範囲 ・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ○ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。 工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状準じで補修する。 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。																																																																								
15	既存部分等への処置 (1.3.13)																																																																									
16	事故の発生時																																																																									
17	消防提出書類	1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ○本工事(・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ○ 機械設備工事) ・ 別途工事 2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。																																																																								
18	労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。																																																																								
19	不正軽油の使用の禁止	1) 一般事項 市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。 屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。																																																																								
20	屋外広告物																																																																									
21	石綿含有建材の調査 (1.5.1)	○石綿含有建材の事前調査 調査範囲 ・ 図示(図面番号:) ○(改修範囲) 貸与資料 ・ 既存の設計図書 ・ 石綿含有建材の調査報告書 ・ () ・分析調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 <table border="1"><thead><tr><th>材料名</th><th>定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</th><th>定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>・ 箇所数()</td><td>・ 箇所数()</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数()</td><td>・ 箇所数()</td></tr></tbody></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図面(図面番号:) ・ () ○石綿含有の可能性がある建材は、みなし扱いとし、撤去処分を行う。	材料名	定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																															
材料名	定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																																																																								
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																								
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																								
22	1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)	・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示(図面番号:) ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示(図面番号:)																																																																								
	2 足場 (2.2.1) (表2.2.1)	設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 内部足場の種別(参考) ○ 脚立 ・ 欄足場 ・ その他() 外部足場の種別(参考) ・ 手組先行据置枠組足場 ・ 移動足場 ・ 高所作業車 ・ その他() 外部足場設置範囲(参考) ・ 外部改修部 ・ 設備改修部 ・ 昇降用 ・ 転落防止用 防護シート等による養生 ・ 適用する ・ 適用しない 足場(つり足場、張出し足場又は高さ10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る。)の組立て後、市監督員立会いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント(区分が土木又は建築である者)や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参照書」に必要な資格を有する者 3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者 既存部分の養生 ・ 図示(図面番号:) 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法() 保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ○ 行わない 屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・ () せつこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・ () 合板又はせつこうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 仮設扉 設置箇所 ・ 図示(図面番号:) 仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ () 監督員事務所(2.4.1) ・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する ○ 設置しない 監督員事務所の規模(単位:㎡) <table border="1"><thead><tr><th>適用規模</th><th>10程度</th><th>20程度</th><th>35程度</th><th>65程度</th><th>100程度</th></tr></thead><tbody><tr><td>監督員事務所の仕上げ</td><td colspan="5">仕上げ</td></tr><tr><td>部 位 等</td><td colspan="5">仕 上 げ</td></tr><tr><td>床</td><td colspan="5">合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁・天井</td><td colspan="5">合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td colspan="5">装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>机・いす</th><th>書棚</th><th>黒板・白板</th><th>掛時計</th><th>温度計</th></tr></thead><tbody><tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>長靴</th><th>雨合羽</th><th>保護帽</th><th>懐中電灯</th><th>衣類ロッカー</th></tr></thead><tbody><tr><td>数量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>消火器</th><th>掃除具</th><th>受注者加入電話 FAX</th><th>冷暖房機器</th><th>インターネット</th></tr></thead><tbody><tr><td>数量</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td></tr></tbody></table> 構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない 構内既存の施設 ○ 利用できる(・ 有償 ○ 無償) ・ 利用できない 構内既存の施設 ○ 利用できる(・ 有償 ○ 無償) ・ 利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。 配置 ○ 図示(図面番号: A-04)	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	監督員事務所の仕上げ	仕上げ					部 位 等	仕 上 げ					床	合板張り又はビニル床シート張り					内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り					屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り					種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	台	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台
適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																																					
監督員事務所の仕上げ	仕上げ																																																																									
部 位 等	仕 上 げ																																																																									
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																																									
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																																									
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																																									
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																																					
数量	組	台	台	個	個																																																																					
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																																					
数量	足	着	個	個	台																																																																					
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																																																					
数量	個	個	台	台	台																																																																					
23	交通誘導警備員																																																																									

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
						津市 三重中央指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
						図名 津市消防本部 改修工事 特記仕様書(1) 縮尺 NS	承認	山下	年月日
							図番	KTO1	



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

6 ① 一般事項 (6.1.3)(2)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲	<table border="1"> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> <tr> <td>○天井</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>○壁</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>○床</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> </tr> </table>	改修部分	改修範囲	○天井	・ 図示(図面番号:)	○壁	・ 図示(図面番号:)	○床	・ 図示(図面番号:)																											
	改修部分	改修範囲																																			
	○天井	・ 図示(図面番号:)																																			
	○壁	・ 図示(図面番号:)																																			
	○床	・ 図示(図面番号:)																																			
	(6.1.3)(3)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ○ 図示(図面番号: A-12, 13) ・ ()																																			
	(6.1.3)(5)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																			
	② 既存床撤去、下 地補修 (6.2.2)(1)(7)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ○ 行わない																																			
	(6.2.2)(1)(4)	合成樹脂塗材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法																																			
	(6.2.2)(3)	改修後の床の清掃範囲 ○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ()																																			
3 既存壁撤去、下 地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ()																																				
4 木下地等 (6.5.2)(1)(f) (表6.5.1)	木材の含水率(工事現場搬入時、質量比)																																				
(6.5.2)(2)(7)	製材 「製材の日本農林規格」による製材																																				
(6.5.2)(2)(f)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示(図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ () 樹種																																				
(6.5.2)(2)(g) (表6.5.2)	<table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	部 位	樹 種	県 産 材																																	
部 位	樹 種	県 産 材																																			
(5.5.6)(1) - (5.5.9)(1)	<table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	部 位	樹 種	県 産 材																																	
部 位	樹 種	県 産 材																																			
(6.5.2)(3)(7)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材																																				
(6.5.2)(3)(f)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示(図面番号:) 含水率 ・ 1.5%以下 ・ ()																																				
(6.5.2)(4)(7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材																																				
(6.5.2)(4)(f)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示(図面番号:) 含水率 ・ 1.4%以下 ・ ()																																				
(6.5.2)(5)	「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示(図面番号:)																																				
(6.5.2)(6)	・ 合板等																																				
(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()																																				
(6.5.3)(2)	諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示(図面番号:)																																				
(6.5.5)(1)	・ 防塵、防蟻処理 適用部位 図示(図面番号:) 保存処理性能区分() 薬剤の塗布等の処理方法() 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する(・ 薬剤の種類() ・ 適用材()) ボード原料接着剤への防塵・防蟻処理()																																				
(6.5.5)(2)	・ 防虫処理 ・ 図示(図面番号:)																																				
⑤ 軽量鉄骨天井 下 地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	野縁等の種類 ○ 屋内 ○ 19形 ・ () ・ 屋外 ○ 25形 ・ () 形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示(図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示(図面番号:) ・ ふところ 3.0m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示(図面番号:)																																				
(6.6.4)	既存埋込みインサート ○ 使用する ・ 使用しない(使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ○ 行う(図示(図面番号:)) ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数(3 箇所) ・ 確認強度()																																				
⑥ 軽量鉄骨壁下 地 (6.7.3)	耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示(図面番号:)																																				
7 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り (6.8.2) (6.8.2)(1)	スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示(図面番号: A-05)																																				
(6.8.2)(2)	材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705(ビニル系床材)】																																				
(6.8.2)(3)(7)(f)	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>F S</td> <td>無地</td> <td>2.0mm</td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	F S	無地	2.0mm																													
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																		
F S	無地	2.0mm																																			
(6.8.2)(3)(7)(g)	・ ビニル床タイル【JIS A 5705(ビニル系床材)】																																				
(6.8.2)(3)(7)(h)	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>K T</td> <td> </td> <td> </td> <td>2.0mm</td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考	K T			2.0mm																											
種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考																																	
K T			2.0mm																																		
(6.8.2)(3)(7)(i)	・ 制電防止床シート又は床タイル																																				
(6.8.2)(3)(7)(j)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	種類	性能	寸法	厚さ	備考																															
種類	性能	寸法	厚さ	備考																																	
(6.8.2)(3)(7)(k)	・ 視覚障害者用床タイル																																				
(6.8.2)(3)(7)(l)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>300×300×7.0mm</td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm																															
種類	形状	備考																																			
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																																				
(6.8.2)(3)(7)(m)	・ 耐動荷重性床シート																																				
(6.8.2)(3)(7)(n)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	種類	厚さ	備考																																	
種類	厚さ	備考																																			
(6.8.2)(3)(7)(o)	・ 防滑性床シート又は床タイル																																				
(6.8.3)(1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	種類	寸法	厚さ	備考																																
種類	寸法	厚さ	備考																																		
(6.8.3)(2)(7)	工法 下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他()																																				
(6.8.3)(2)(7)	ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない																																				
⑧ カーペット敷き (6.9.2)(1) (表6.9.1)	・ 織じゅうたん																																				
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>系の種類</th> <th>パイルの形状</th> <th>制電性</th> <th>品質の程度</th> <th>色柄</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ ソモ ・ 紡糸 ・ ()</td> <td>・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用</td> <td>・ 人体制電圧 3kV以下 ・ ()</td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> </tr> </table>	種類	系の種類	パイルの形状	制電性	品質の程度	色柄		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ソモ ・ 紡糸 ・ ()	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体制電圧 3kV以下 ・ ()	・ 無地 ・ 柄物																								
種類	系の種類	パイルの形状	制電性	品質の程度	色柄																																
	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ソモ ・ 紡糸 ・ ()	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体制電圧 3kV以下 ・ ()	・ 無地 ・ 柄物																																
(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)	品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)																																				
(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)	・ タフテッドカーペット																																				
(6.9.2)(3) (表6.9.2)	<table border="1"> <tr> <th>パイルの形状</th> <th>パイル長(mm)</th> <th>制電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用</td> <td> </td> <td>・ 人体制電圧 3kV以下 ・ ()</td> <td>・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	パイルの形状	パイル長(mm)	制電性	工法	品質の程度	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用		・ 人体制電圧 3kV以下 ・ ()	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ()																										
パイルの形状	パイル長(mm)	制電性	工法	品質の程度																																	
・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用		・ 人体制電圧 3kV以下 ・ ()	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ()																																	
(6.9.2)(3) (表6.9.2)	○ タイルカーペット																																				
(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パイルの形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>○ 制電タイルカーペット</td> <td>・ カットパイル ・ ループパイル</td> <td>○ 500×500 ・ ()</td> <td>○ 5.5 ・ ()</td> <td>○ (中程度)</td> </tr> </table>	種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度	○ 制電タイルカーペット	・ カットパイル ・ ループパイル	○ 500×500 ・ ()	○ 5.5 ・ ()	○ (中程度)																										
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																	
○ 制電タイルカーペット	・ カットパイル ・ ループパイル	○ 500×500 ・ ()	○ 5.5 ・ ()	○ (中程度)																																	
(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ () 見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示(図面番号:))																																				
(6.9.3)(3)	織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()																																				
(6.9.3)(5)	タイルカーペットの敷き方																																				
(6.9.3)(5)	<table border="1"> <tr> <th>平場</th> <th>階段部分</th> </tr> <tr> <td>○ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()</td> <td>・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()</td> </tr> </table>	平場	階段部分	○ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()																																
平場	階段部分																																				
○ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()																																				
(6.9.3)(5)	○ 東リ 制電機能付タイルカーペット GA100 同等品																																				
9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) (6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5) - (表6.10.8)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ																																				
(6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) (6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5) - (表6.10.8)	エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しのべ仕上げ(・ 平滑 ・ 防汚) ・ 薄膜流しのべ仕上げ(・ 平滑 ・ 防汚) ・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑 ・ 防汚) ・ 薄膜型塗床仕上げ(・ 平滑)																																				
10 フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)	・ 釘留め工法																																				
(6.11.4) (表6.11.2)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種別</th> <th>樹種</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td> <td> </td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根太張用)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	材料	種別	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ()																											
材料	種別	樹種																																			
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら																																			
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ()																																			
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	防湿処理 ・ 図示(図面番号:)																																				
(6.11.6)	・ 接着工法																																				
(6.11.6)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>大きさ</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード(直張用)</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック(直張用)</td> <td>・ なら</td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング(直張用)</td> <td>・ ()</td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> <td> </td> </tr> </table>	材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード(直張用)				・ フローリングブロック(直張用)	・ なら			・ 複合フローリング(直張用)	・ ()			・ A種	・ B種	・ C種																	
材種	樹種	厚さ	大きさ																																		
・ フローリングボード(直張用)																																					
・ フローリングブロック(直張用)	・ なら																																				
・ 複合フローリング(直張用)	・ ()																																				
・ A種	・ B種	・ C種																																			
(6.11.6)	継ぎ材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示(図面番号:)																																				
(6.11.6)	塗替え 下地調整 ・ () 塗装 ・ ウレタン樹脂ニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ ()																																				
11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 K T - (・ ・ ・ ・ ・ K ・ N)																																				
② せっこうボ ード、その他ボ ード及び合板 張り (6.13.2) (表6.13.1)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード</td> <td> </td> <td>壁 ○ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃) 軒 ○ 9.5(不燃) ○ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧せっこうボード</td> <td>・ トラバーチン模様 ・ 木目模様</td> <td>・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール化粧吸音板</td> <td>○ 普通 ・ 立体模様</td> <td>○ 9(不燃) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板</td> <td>・ タイプ 0.8FK</td> <td> </td> </tr> </table>	材種	種別	厚さ(mm)	○ せっこうボード		壁 ○ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃) 軒 ○ 9.5(不燃) ○ 12.5(不燃)	・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	○ ロックウール化粧吸音板	○ 普通 ・ 立体模様	○ 9(不燃) ・ ()	・ けい酸カルシウム板	・ タイプ 0.8FK																						
材種	種別	厚さ(mm)																																			
○ せっこうボード		壁 ○ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃) 軒 ○ 9.5(不燃) ○ 12.5(不燃)																																			
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																																			
○ ロックウール化粧吸音板	○ 普通 ・ 立体模様	○ 9(不燃) ・ ()																																			
・ けい酸カルシウム板	・ タイプ 0.8FK																																				
(6.13.3)(4)(9)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種																																				
(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)	せっこうボードの目地工法 ○ 継目処理 ○ 突付け ○ 目透し																																				
13 壁紙張り (6.14.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> </table>	施工箇所	種類	防火性能			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃																								
施工箇所	種類	防火性能																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																			
14 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する(形状:) 床の目地 ・ 図示(図面番号:) 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示(図面番号:)																																				
15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示(図面番号:)																																				
(6.16.3)(2)	タイルの種類																																				
(6.16.3)(2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>工 法</th> <th>種 類</th> <th>形状寸法</th> <th>耐滑り性</th> <th>うわぐすり</th> <th>役 物</th> <th>標準・特注 色の別</th> <th>耐凍害性 の有無</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注 色の別	耐凍害性 の有無																											
施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注 色の別	耐凍害性 の有無																													
(6.16.3)(2)	試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない																																				
16 セルフレベ リング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ せっこう系 ・ セメント系 塗厚()mm																																				
17 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法																																				
(9.5.3)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタンフォーム</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				・ 押出法ポリスチレンフォーム				・ A種硬質ウレタンフォーム				・ フェノールフォーム																			
種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																																					
・ 押出法ポリスチレンフォーム																																					
・ A種硬質ウレタンフォーム																																					
・ フェノールフォーム																																					
(9.5.3)	断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)																																				
(9.5.3)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種1</td> <td> </td> <td>・ 意回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td> </tr> <tr> <td>・ A種1H</td> <td> </td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	種類	厚さ[mm]	施工箇所	・ A種1		・ 意回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・ A種1H		・ ()	・ ()																										
種類	厚さ[mm]	施工箇所																																			
・ A種1		・ 意回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																																			
・ A種1H		・ ()																																			
・ ()																																					
⑬ フリーアクセ スフロア	既設部取り合部: ○ボーダー支柱を適宜新設し補強する。 耐荷重性能: ・ 3000N ・ 4000N ○5000N ○フェイス対策 ・ 既設フリーアクセスフロアの不陸調整 ○ フリーアクセスフロア モザイクフロア 5000N (藤沢建機(株) 同等品)																																				

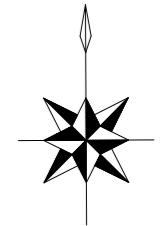
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	津市消防本部 改修工事 特記仕様書(2)	1/50	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日
									図番		KTO2



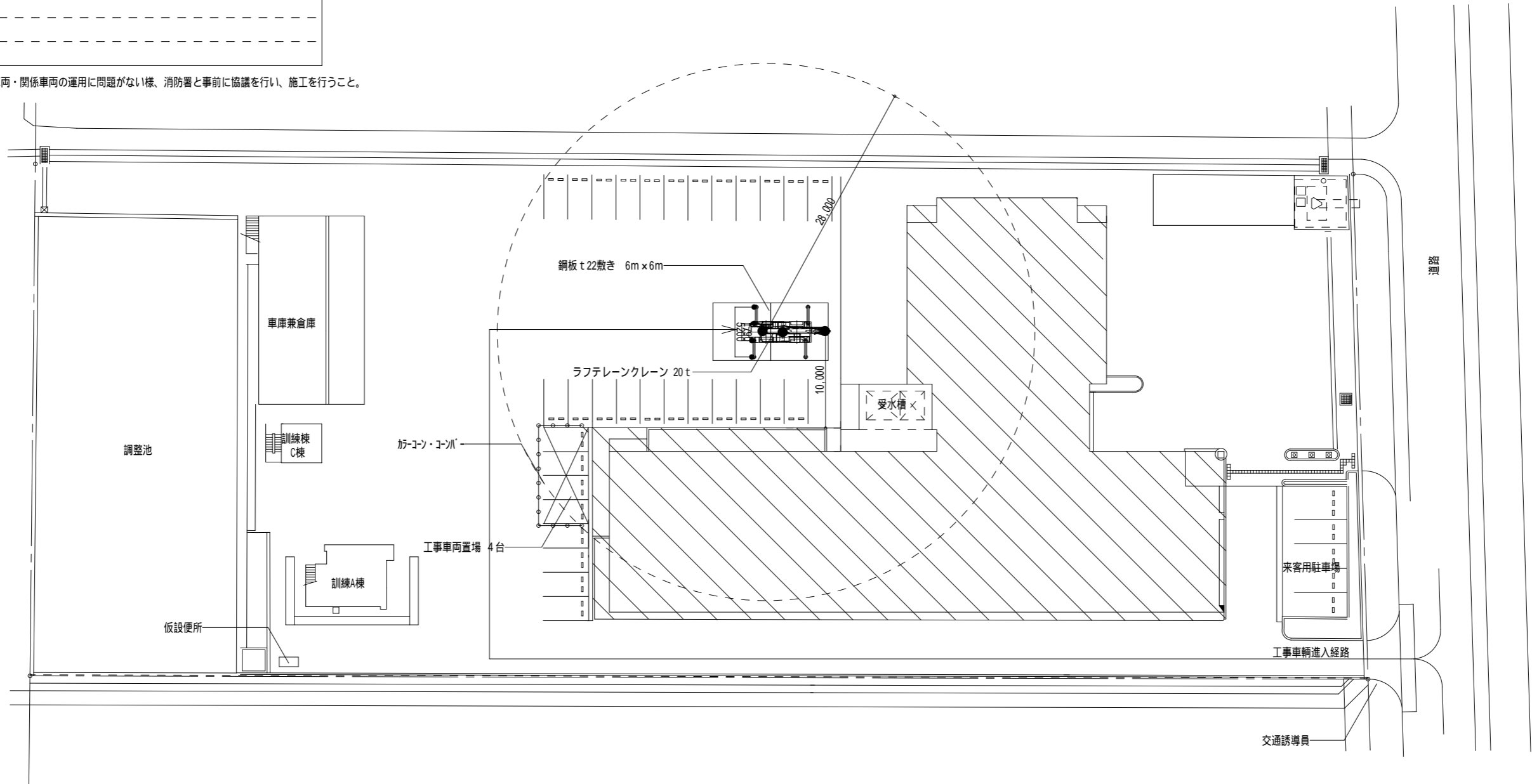
ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

7 ① 材料 (7.1.3) ② 下地調整 (7.2.1-7.2.7) (表7.2.1) - (表7.2.7) ③ 素地ごしらえ (7.3.1-7.3.7) (表7.3.1) - (表7.3.7) 4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (表7.4.3) - (表7.4.5) 5 合成樹脂適合ペ イント塗り(SOP) (7.5.3-7.5.4) (表7.5.1) - (表7.5.3) 6 クリヤラッカー 塗り(DL) (7.6.2) (表7.6.1) 非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1) 8 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2) - (7.8.4) (表7.8.1) - (表7.8.3) 9 つや有合成樹脂 エマルションペ イント塗り (EP-6) (7.9.2) - (7.9.5) (表7.9.1) - (表7.9.4) ⑩ 合成樹脂エマ ルションペイ ント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1) 11 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.11.2) (表7.11.1) 12 ステイン塗り (OS) (7.12.2) (表7.12.1) 13 木材保護塗料 塗り(IP) (7.13.2) (表7.13.1)	<p>○ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)</p> <p>既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR B種の場合) ・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プaster面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード、その他ボード面</td> <td></td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プaster面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード、その他ボード面</td> <td></td> <td>・ A種 ○ B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>錆止め塗料種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>塗料種別 ・ 1種 ・ ()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別 木部 ・ A種 ・ B種</p> <p>・ A種 ・ B種</p> <p>上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート面及び 押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め()</td> </tr> <tr> <td>木部(屋内)</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(屋内)</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(屋内)</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別 ・ A種 ○ B種 ・ C種 しみ止め ・ ()</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種 工程1の着色 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>種類 ・ ビグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り オイルステイン塗りの工程、塗料 ・ ()</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種</p>	種別	下地	種別	ひび割れ部の補修	・ 木部		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ 鉄鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ 亜鉛めっき鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ モルタル、プaster面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	○ せっこうボード、その他ボード面		・ RA種 ○ RB種 ・ RC種		種別	下地	種別	・ 木部		・ A種 ・ B種	・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種	・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種	・ モルタル、プaster面		・ A種 ・ B種	・ コンクリート、ALCパネル面		・ A種 ・ B種	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ A種 ・ B種	○ せっこうボード、その他ボード面		・ A種 ○ B種	種別	下地	種別	・ 木部		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種	種別	下地	種別	コンクリート面及び 押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	種別	下地	種別	コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面		・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め()	木部(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種	鉄鋼面(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種	<p>9 断熱改修工事</p> <p>① 石綿含有建材の 除去工事 (9.1.1)</p> <p>・ 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 2</td> <td></td> <td>調査対象外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 4</td> <td></td> <td>負圧・除じん装置の排気出し口</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 5</td> <td></td> <td>処理作業室外(敷地境界)</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 6</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後シート撤去後1週間以降</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 8</td> <td></td> <td>調査対象外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1,2,4,6,7,8</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>・ 1 ・ ()</td> <td>・ 5 ・ ()</td> <td>・ 10 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・ 5 ・ ()</td> <td>・ 120 ・ ()</td> <td>・ 240 ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.1.3) ・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:) 除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ () 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ・ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)</p> <p>(9.1.4) ・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:) 除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ () 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)</p> <p>(9.1.5) ○石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 ○ 図示(図面番号:) 石綿含有せっこうボードの処分 ○ 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)</p> <p>(9.1.6) ・ 石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:) 除去した石綿含有仕上塗材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による) 大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏れ防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。 除去作業の結果報告 除去作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。</p> <p>○石綿含有の可能性がある建材は、みなし扱いとし、撤去処分を行う。 改修特記仕様書3章による</p> <p>2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1) - (9.2.3)</p> <p>3 外断熱改修工事 (9.3.2)</p> <p>断熱材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキヤンなし)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.3.3) 既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()</p> <p>(9.3.4) 工法 通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ () 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ () 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない 不陸等の下地調整 ・ 行う</p>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	-	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計点	-	測定 2		調査対象外部の付近	計点	-	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計点	-	測定 4		負圧・除じん装置の排気出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点	-	測定 5		処理作業室外(敷地境界)	計点	-	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点	-	測定 7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計点	-	測定 8		調査対象外部の付近	計点		測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5	メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47	試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()	試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()	種類	厚さ[mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキヤンなし)		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		・ フェノールフォーム断熱材		・ ロックウール断熱材		・ グラスウール断熱材		・ ()		種類	防火性能	備考	・			<p>4 断熱・防露改修 工事 (9.5.2)</p> <p>・ 断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキヤンなし)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>(9.5.3) ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ () 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ () 施工箇所 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>(9.5.4) ・ 現場発泡断熱材 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>(9.5.4) ・ 断熱材後張り工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>せっこうボード等の張り付け</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>5 屋上緑化改修工 事 (9.6.1) (9.6.2) (9.6.3)</p> <p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム</p> <p>(9.6.1) ・ 適用する ・ 適用しない (9.6.2) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示(図面番号:) ・ () 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>(9.6.3) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない</p> <p>かん水装置 ・ 設置する(種類 ・) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>路床 路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7µmふるい通過量10%以下)</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂 ・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(・特号 ・ 1号) ・ 消石灰(・特号 ・ 1号) 添加量(kg/m²) (目標CBR ・ 5以上 ・)</p> <p>・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 ・ () 厚さ[mm] ・ 0.5-1.0 ・ () 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm)以上 ・ () 透水係数 ・ 1.5×10⁻⁶ -1cm/sec 以上 ・ ()</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない 路床撻固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 図示(図面番号:) ・ () 路盤材料 ・ 再生材のクラッシュラン ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>試験 路盤撻固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()</p>	種類	厚さ[mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキヤンなし)		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		・ フェノールフォーム断熱材		・ ()		種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ[mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ ()	・ 有	・ 無	種別	材料	厚さ[mm]	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7µmふるい通過量10%以下)	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()	材料	厚さ[mm]	・ ストレートアスファルト	・ 図示(図面番号:) ・ ()
	種別	下地	種別	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																																									
	・ 木部		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																										
	・ 鉄鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																										
	・ 亜鉛めっき鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																										
	・ モルタル、プaster面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																									
	・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																									
	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																									
	○ せっこうボード、その他ボード面		・ RA種 ○ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																										
	種別	下地	種別																																																																																																																																																																																																																										
・ 木部		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
・ モルタル、プaster面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
・ コンクリート、ALCパネル面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
○ せっこうボード、その他ボード面		・ A種 ○ B種																																																																																																																																																																																																																											
種別	下地	種別																																																																																																																																																																																																																											
・ 木部		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
種別	下地	種別																																																																																																																																																																																																																											
コンクリート面及び 押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																																																																																																																																																																																																																											
種別	下地	種別																																																																																																																																																																																																																											
コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面		・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め()																																																																																																																																																																																																																											
木部(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
鉄鋼面(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
亜鉛めっき鋼面(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 2		調査対象外部の付近	計点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 4		負圧・除じん装置の排気出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 5		処理作業室外(敷地境界)	計点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 8		調査対象外部の付近	計点																																																																																																																																																																																																																									
	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5																																																																																																																																																																																																																										
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47																																																																																																																																																																																																																										
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()																																																																																																																																																																																																																										
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()																																																																																																																																																																																																																										
種類	厚さ[mm]																																																																																																																																																																																																																												
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキヤンなし)																																																																																																																																																																																																																													
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ フェノールフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ ロックウール断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ グラスウール断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ ()																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																													
種類	厚さ[mm]																																																																																																																																																																																																																												
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキヤンなし)																																																																																																																																																																																																																													
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ フェノールフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ ()																																																																																																																																																																																																																													
種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ[mm]																																																																																																																																																																																																																											
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																																																																																																																											
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																																																																																																																											
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																																																																																																																											
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																																																																																																																											
・ ()	・ 有	・ 無																																																																																																																																																																																																																											
種別	材料	厚さ[mm]																																																																																																																																																																																																																											
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																																																																																											
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7µmふるい通過量10%以下)	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																																																																																											
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																																																																																											
材料	厚さ[mm]																																																																																																																																																																																																																												
・ ストレートアスファルト	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																																																																																												
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日																																																																																																																																																																																																																		
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	津市消防本部 改修工事 特記仕様書(3)	1/50	検図	牛田	年月日																																																																																																																																																																																																																		
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日																																																																																																																																																																																																																		
									図番		KTO3																																																																																																																																																																																																																		

共通仮設工事		
仮設便所 くみとり式	1棟	
鋼板 t22敷き 6m x 6m	2枚	72㎡
ラフテレーンクレーン 20t	1台/日	2日
交通整理員	1人	2日



クレーン設置前に、消防車両・関係車両の運用に問題がない様、消防署と事前に協議を行い、施工を行うこと。



配置図・仮設計画図 S = /500

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名	承認	山下	年月日
						津市消防本部 改修工事 配置図・仮設計画図	図番	KT04	
						縮尺	Beam Planning Corporation		
						1/500			



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

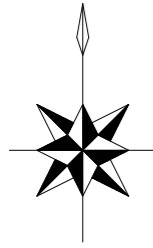
内部仕上表																
階	室名	改修工事	内装制限と排煙設備			床		巾木		壁		天井			備考	
			排煙方法	内装材料	法的根拠	仕上げ	仕上高	巾木	H	仕上げ	下地	仕上げ	下地	廻縁		天井高
2F	指令センター 旧指令センター	改修前	自	⊕	-	フリーアクセスフロア500×500 H100+タイルカーペット	FL+100	ビニル巾木	100	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,900	指紋認証装置
		改修後	自	⊕	-	既設のまま フリーアクセスフロア欠損部： フリーアクセスフロア 500×500×19 H100 5000N + 制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設	FL+100	既設のまま	100	既設のまま		既設のまま	LGS	塩ビ	2,900	指紋認証装置 撤去 タッチアップ補修
	通信機械室	改修前	自	⊕	(七)	フリーアクセスフロア500×500 H100+塩ビタイル	FL+100	ビニル巾木	100	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,900	
		改修後	自	⊕	(七)	既設仕上撤去の上、制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設 フリーアクセスフロア欠損部： フリーアクセスフロア 500×500×19 H100 5000N + 制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設	FL+100	既設のまま	100	既設のまま		既設のまま	LGS	塩ビ	2,900	
3F	通信指令室 共同指令センター	改修前	自	⊕	-	ロック式耐震フロアー H200+タイルカーペット 踏み部：長尺塩ビシート	FL+200	ビニル巾木	100	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,850 3,050	木製下足入れ、木製吊戸棚 排煙ホレター 5箇所
		改修後	自	⊕	-	既設のまま 一部、仕上撤去の上、 フリーアクセスフロア 500×500×19 H200 5000N + 制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設	FL+200	既設のまま 一部、ビニル巾木H100 新設	100	既設のまま 一部、既設袖壁撤去処分の上、PB9.5t+PB12.5+EP塗装 新設 一部、仕上撤去処分の上、PB12.5(GL工法)+EP塗装 新設		既設のまま 仕上下地共撤去の上、岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)新設	LGS	塩ビ 新設	2,850 3,050	木製下足入れ、木製吊戸棚 撤去処分 SUS上がり框 W2000×D50×H200 新設 排煙ホレター 2箇所 修理 3箇所調整
	消防救急課 通信事務員室	改修前	自	⊕	-	鋼製床組み H110+タイルカーペット	FL+110	ビニル巾木	100	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS	岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)	LGS	塩ビ	3,000	
		改修後	自	⊕	-	既設のまま	FL+110	既設のまま	100	既設のまま 一部、パーティション新設	LGS	既設のまま	LGS	塩ビ	3,000	
	通信機械室	改修前	-	⊕	(七)	ロック式耐震フロアー H200+タイルカーペット	FL+200	ビニル巾木	100	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS	岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,700	
		改修後	-	⊕	(七)	既設のまま	FL+200	既設のまま	100	既設のまま	LGS	既設のまま 一部、仕上撤去の上、岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)新設	LGS	塩ビ	2,700	

内装制限と排煙設備 PT-1、2、3 アルミ製パーティション 詳細図 S 1/10・100

<p>(記号) 排煙方法</p> <p>自 自然排煙</p> <p>機 機械排煙</p> <p>- なし</p> <p>(記号) 内装材料</p> <p>⊕ 天井、壁 準不燃材料以上</p> <p>⊖ 天井、壁 不燃材料</p> <p>⊕ 天井、壁 不燃材料(下地共)</p> <p>- なし</p>	<p>法的根拠</p> <p>(記号) 排煙免除</p> <p>(一) (建築基準法) 令第 126条の2 第1項 1号</p> <p>(二) 令第 126条の2 第1項 3号</p> <p>(三) 令第 126条の2 第1項 4号</p> <p>(四) (建設省告示) 平12 建告1436号 第4号 二-1</p> <p>(五) 平12 建告1436号 第4号 二-2</p> <p>(六) 平12 建告1436号 第4号 二-3</p> <p>(七) 平12 建告1436号 第4号 二-4</p> <p>: アスベストのみなし部材を示す。</p>		<p>仕様表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>部材</th> <th>材料(板厚mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">骨材</td> <td>天井レール</td> <td>アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上></td> </tr> <tr> <td>方立・コーナー方立</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井上枠・上枠</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドア上枠・ドア枠</td> <td></td> </tr> <tr> <td>巾木・床レール</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パネル</td> <td>パネル表面材</td> <td>カラー鋼板 0.45mm・0.5mm <色番: KW-90、100、300、400></td> </tr> <tr> <td>芯材</td> <td>ペーパーコア</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開き戸</td> <td>パネル表面材</td> <td>カラー鋼板 0.5mm <色番: KW-90、100、300、400></td> </tr> <tr> <td>芯材</td> <td>ペーパーコア</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開き戸</td> <td>目板</td> <td>アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上></td> </tr> <tr> <td>戸当り・召し合せゴム</td> <td>ポリ塩化ビニル <グレー色></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">金物</td> <td>吊金具</td> <td>ステンレス 4インチ平義星</td> </tr> <tr> <td>ドアクローザ</td> <td>リョービ S22PLW <シルバー色></td> </tr> <tr> <td>金物</td> <td>戸当り</td> <td>床付け戸当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウィスカ対応</p>	項目	部材	材料(板厚mm)	骨材	天井レール	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>	方立・コーナー方立		天井上枠・上枠		ドア上枠・ドア枠		巾木・床レール		パネル	パネル表面材	カラー鋼板 0.45mm・0.5mm <色番: KW-90、100、300、400>	芯材	ペーパーコア	開き戸	パネル表面材	カラー鋼板 0.5mm <色番: KW-90、100、300、400>	芯材	ペーパーコア	開き戸	目板	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>	戸当り・召し合せゴム	ポリ塩化ビニル <グレー色>	金物	吊金具	ステンレス 4インチ平義星	ドアクローザ	リョービ S22PLW <シルバー色>	金物	戸当り	床付け戸当り
項目	部材	材料(板厚mm)																																						
骨材	天井レール	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>																																						
	方立・コーナー方立																																							
	天井上枠・上枠																																							
	ドア上枠・ドア枠																																							
	巾木・床レール																																							
パネル	パネル表面材	カラー鋼板 0.45mm・0.5mm <色番: KW-90、100、300、400>																																						
	芯材	ペーパーコア																																						
開き戸	パネル表面材	カラー鋼板 0.5mm <色番: KW-90、100、300、400>																																						
	芯材	ペーパーコア																																						
開き戸	目板	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>																																						
	戸当り・召し合せゴム	ポリ塩化ビニル <グレー色>																																						
金物	吊金具	ステンレス 4インチ平義星																																						
	ドアクローザ	リョービ S22PLW <シルバー色>																																						
金物	戸当り	床付け戸当り																																						

版	年月日	設定番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	承認	山下	年月日
					課長補佐	係長	図番	KT05	
					係	津市消防本部 改修工事 仕上表・建具表	縮尺	1/10・100	

ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



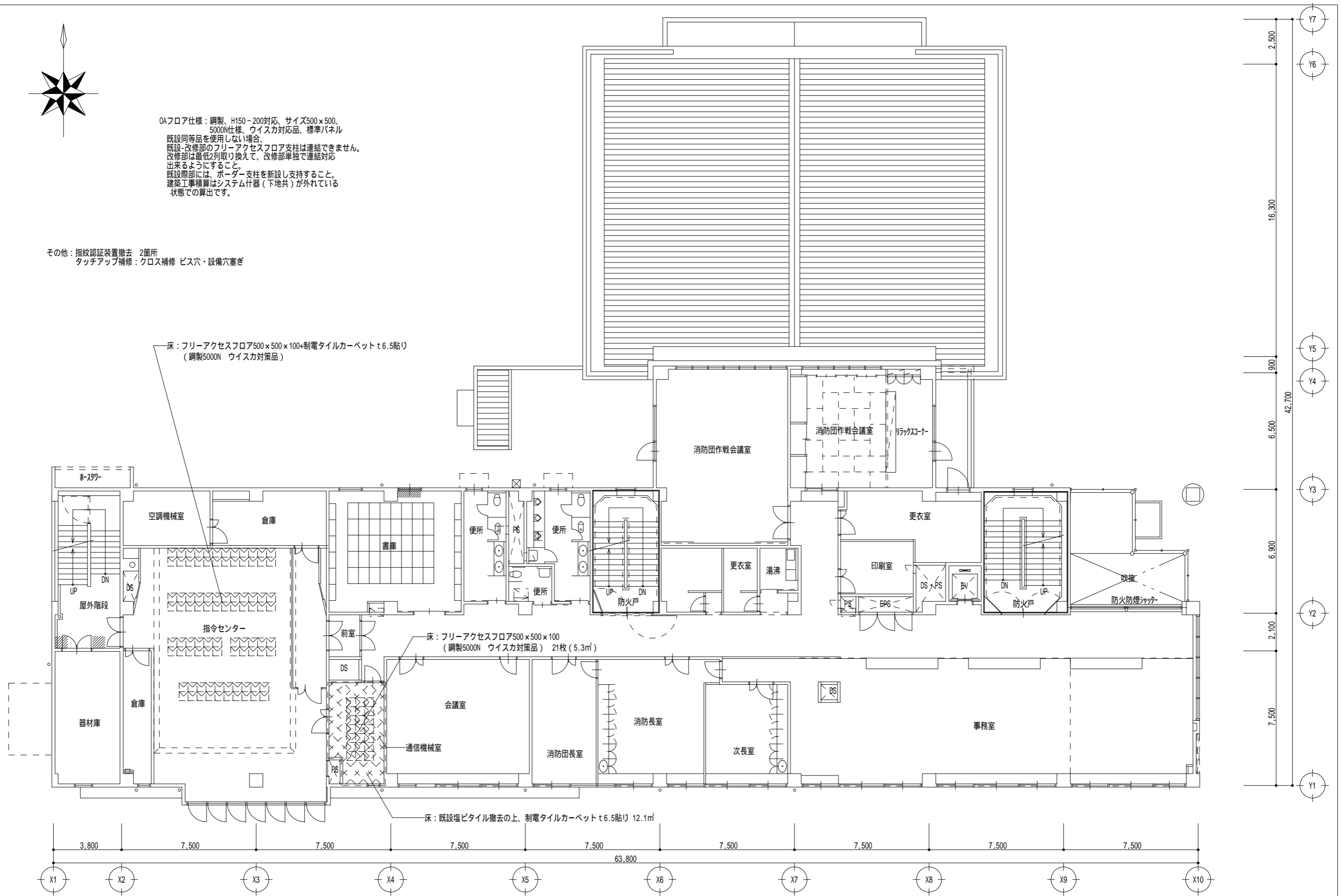
OAフロア仕様：鋼製、H150～200対応、サイズ500×500、5000N仕様、ウイスカ対応品、標準パネル
 既設同等品を使用しない場合、既設・改修部のフリーアクセスフロア支柱は連結できません。改修部は最低2列取り換えて、改修部単独で連結対応できるようにすること。既設際には、ポーター支柱を新設し支持すること。建築工事積算はシステム什器（下地共）が外れている状態での算出です。

その他：指紋認証装置撤去 2箇所
 タッチアップ補修：クロス補修 ビス穴・設備穴塞ぎ

床：フリーアクセスフロア500×500×100+制電タイルカーペット t6.5貼り
 (鋼製5000N ウイスカ対策品)

床：フリーアクセスフロア500×500×100
 (鋼製5000N ウイスカ対策品) 21枚 (5.3㎡)

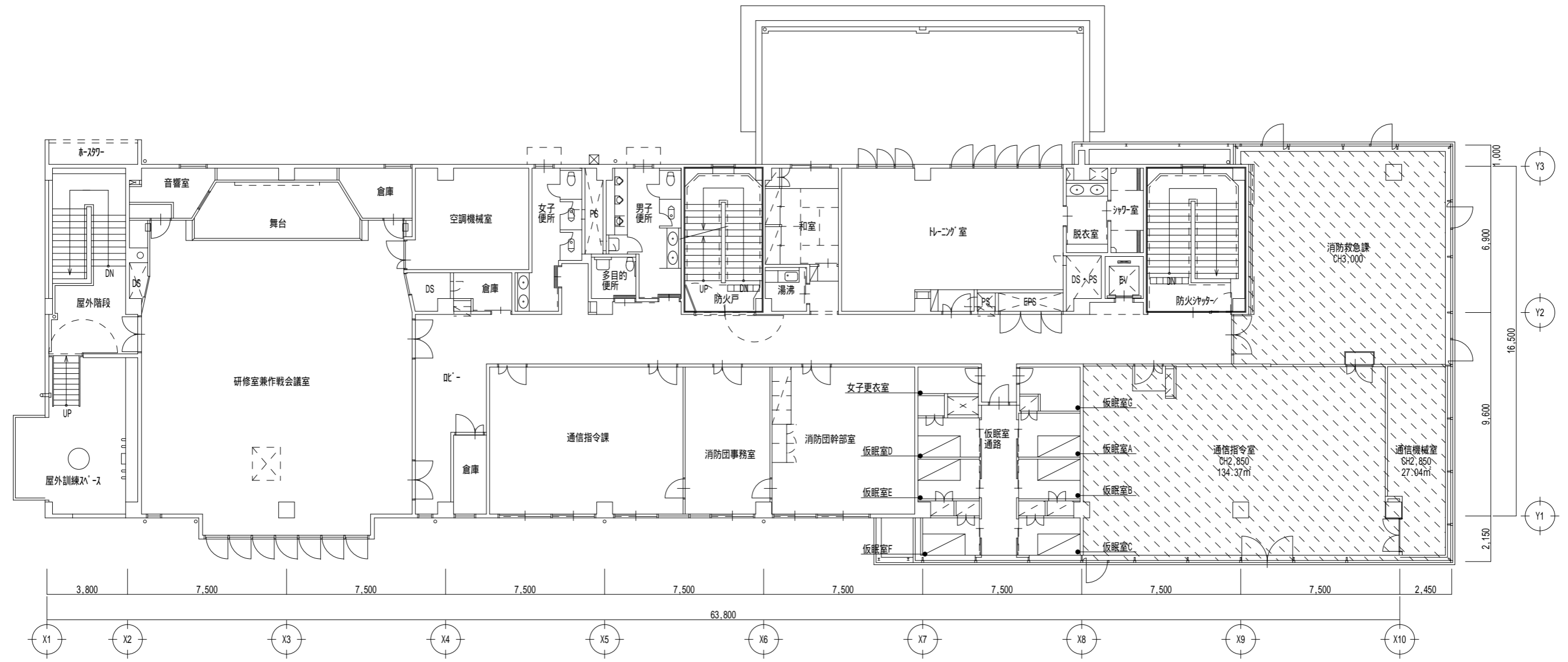
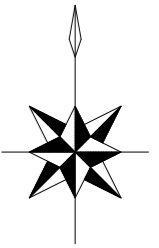
床：既設塩ビタイル撤去の上、制電タイルカーペット t6.5貼り 12.1㎡



津市消防署 2階平面図 S=1/200 (A3)

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津市消防署	図番		KT06
					課長補佐	2階平面図(改修前)(改修後)			
					係長	縮尺			
					係	1/200			





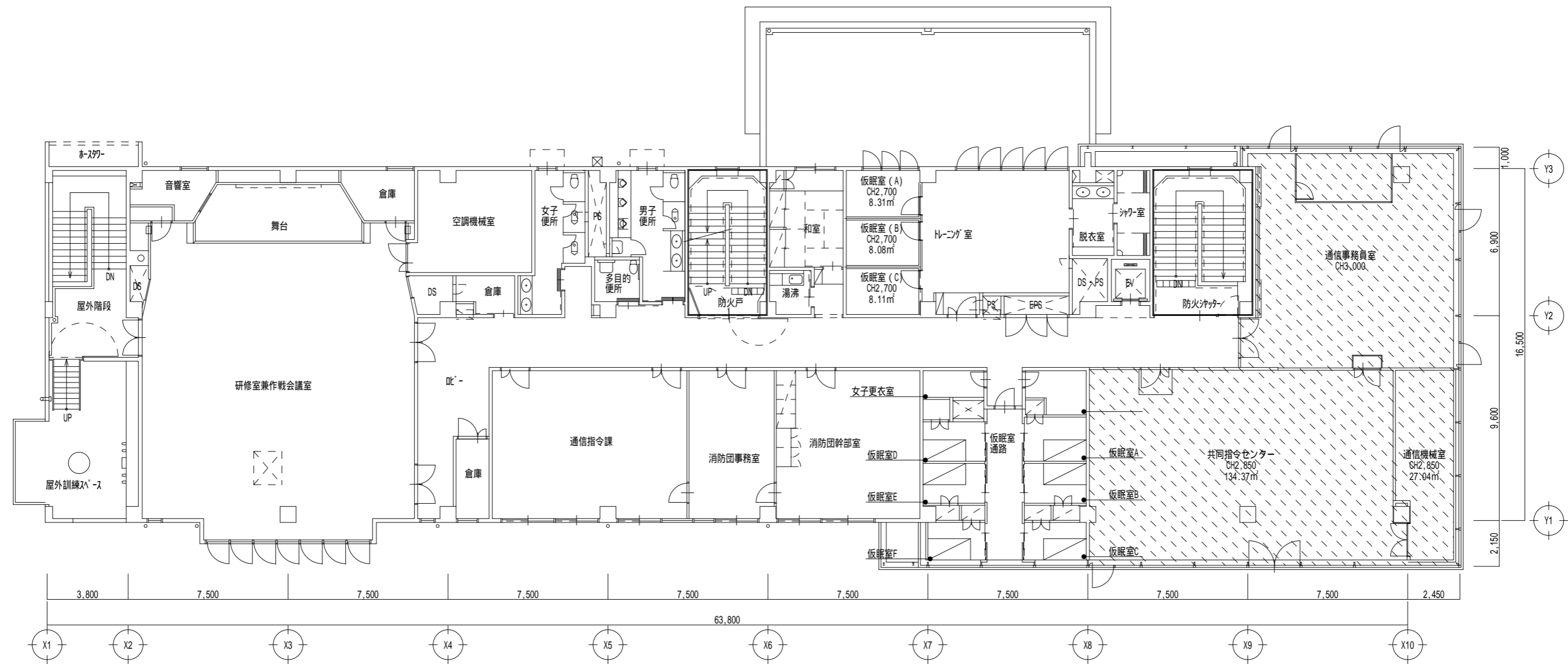
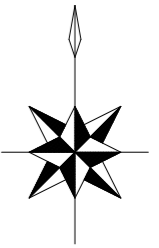
津市消防署 3階平面図(改修前) S=1/200 (A3)

改修範囲外エリア

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津市消防本部 改修工事 3階平面図(改修前)	図番		KT07
					課長補佐	縮尺			
					係長	1/200			
					係				



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

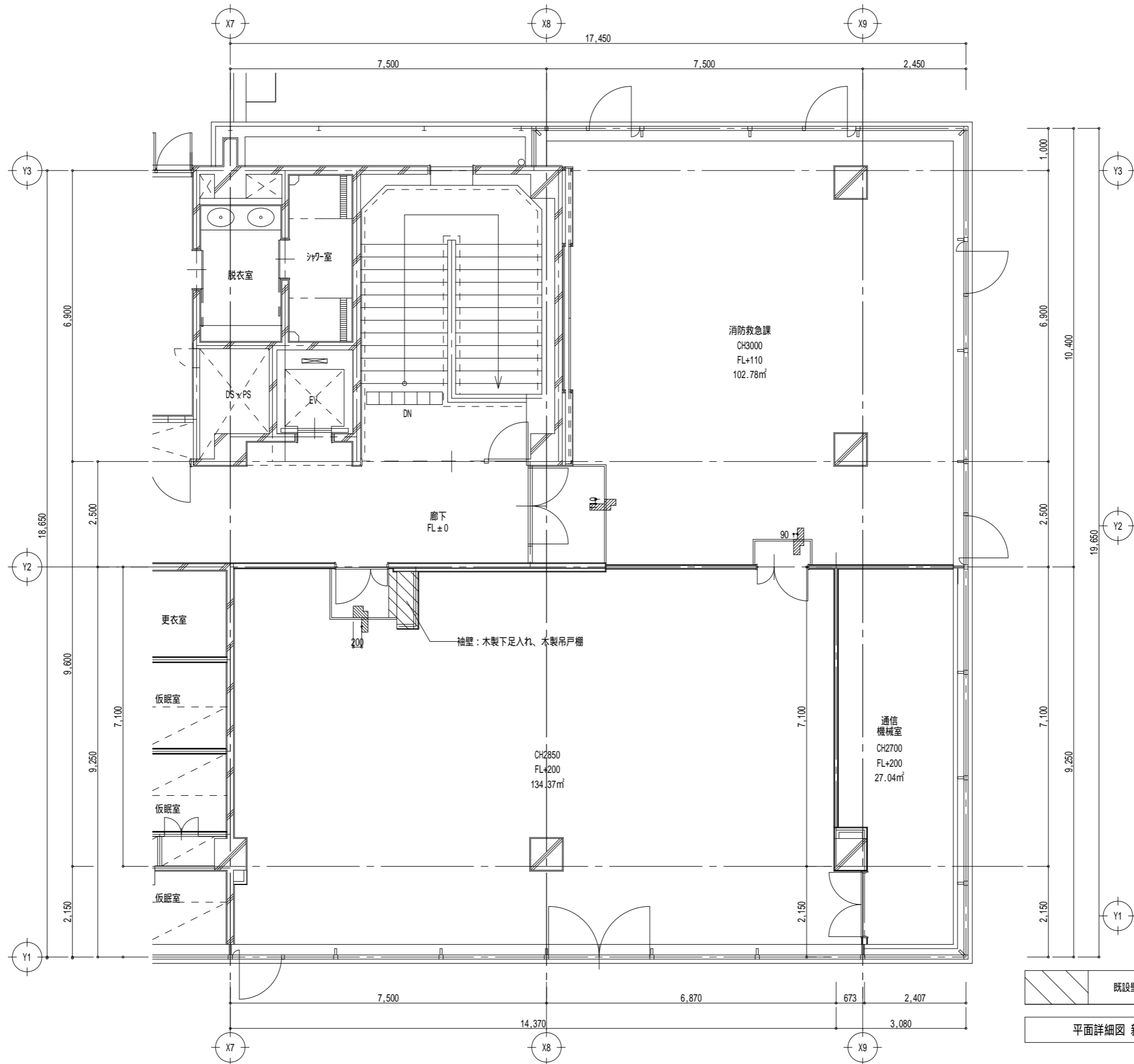


津市消防署 3階平面図(改修後) S=1/200 (A3)

改修範囲外エリア

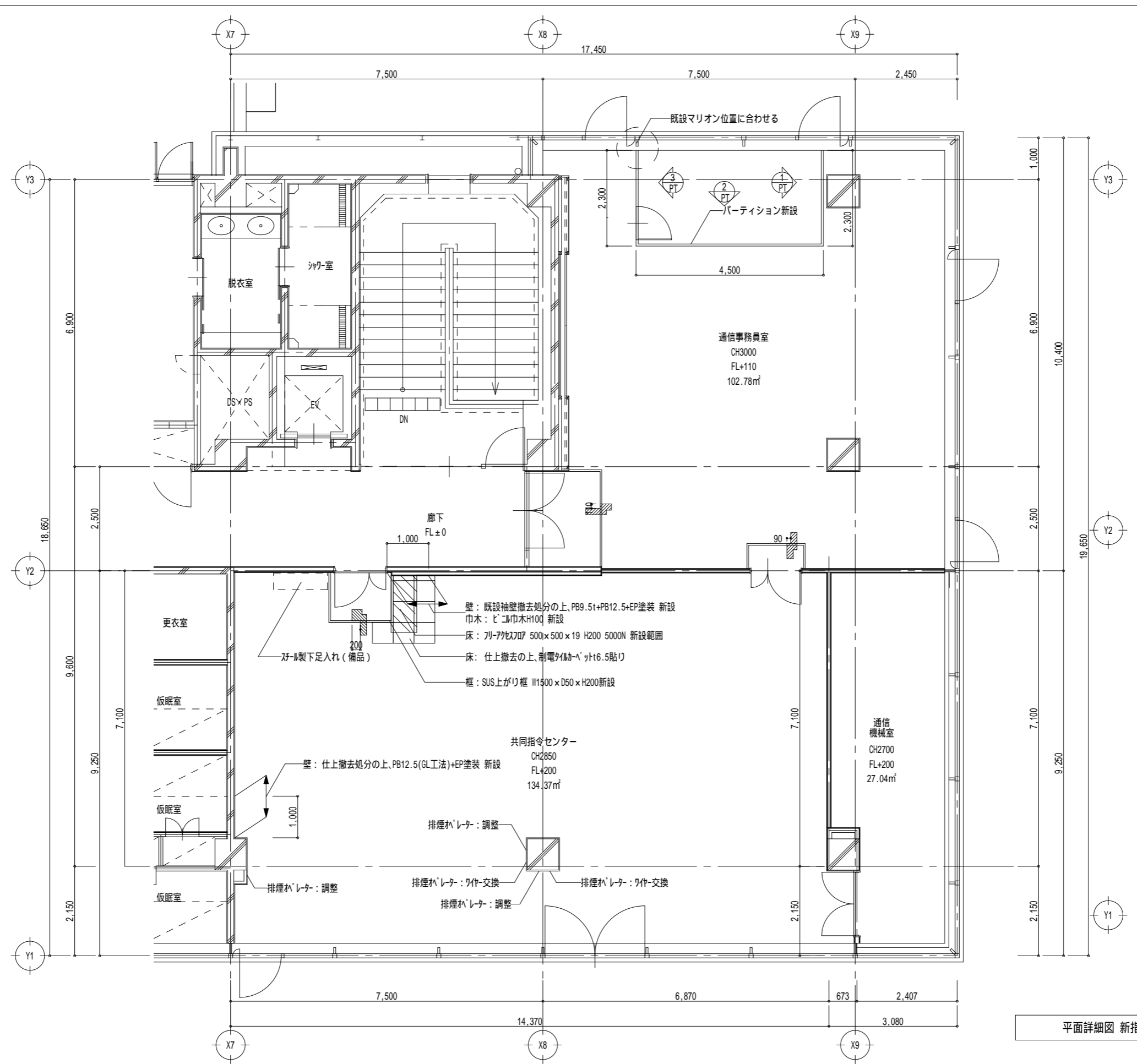
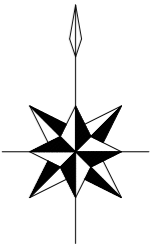
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津市消防本部 改修工事	図番		KT08
					課長補佐	3階平面図(改修後)			
					係長	縮尺			
					係	1/200			





版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	承認	山下	年月日
					課長補佐	係長	図番		KT09
					係	図名	縮尺		
						津市消防本部 改修工事 平面詳細図 新指令室（改修前）	1/100		

ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

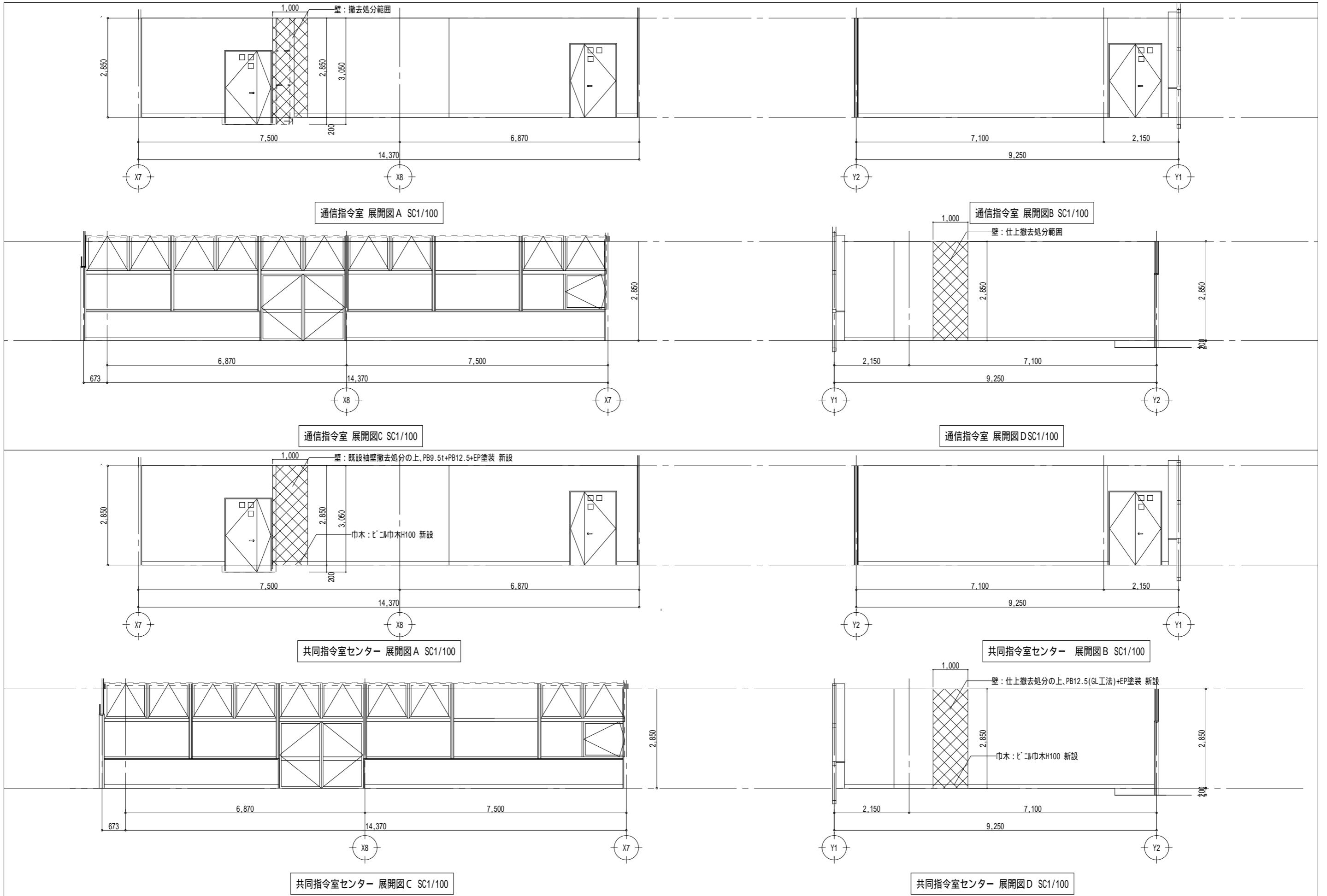


平面詳細図 新指令室 (改修後) S=1/100

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	承認	山下	年月日
					課長補佐	係長	図番		KT10
					係	図名	Beam Planning Corporation		
						津市消防本部 改修工事 平面詳細図 新指令室 (改修後)	縮尺	1/100	



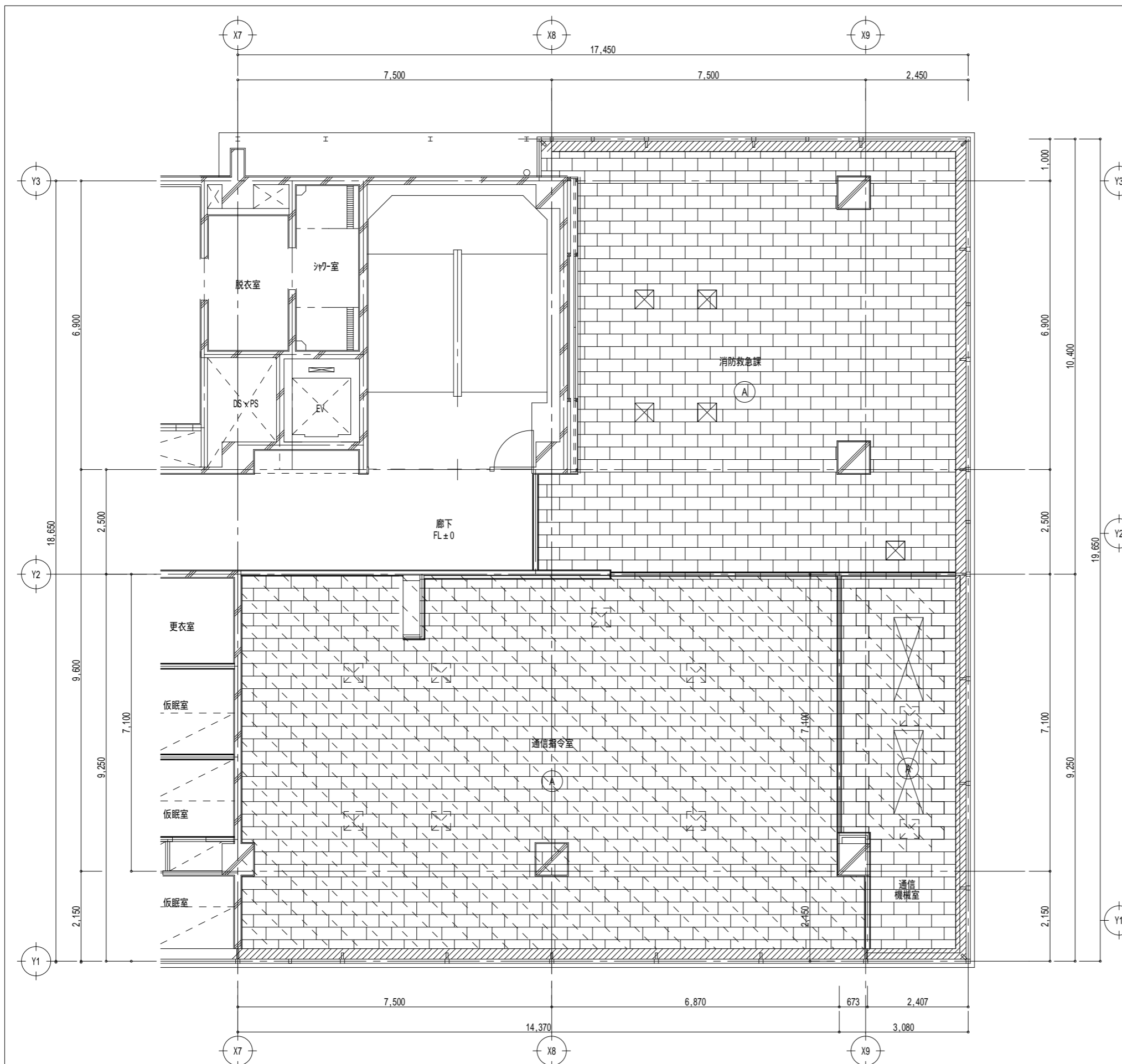
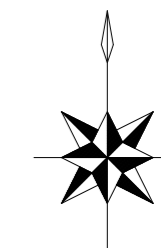
ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日	
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	津市消防本部 改修工事 展開図(改修前)(改修後)	1/100	梁	牛田	年月日	
					課長	主幹	課長補佐	係長	係	承認	山下	年月日
										図番	KT11	



ビーム計画設計株式会社
 Beam Planning Corporation



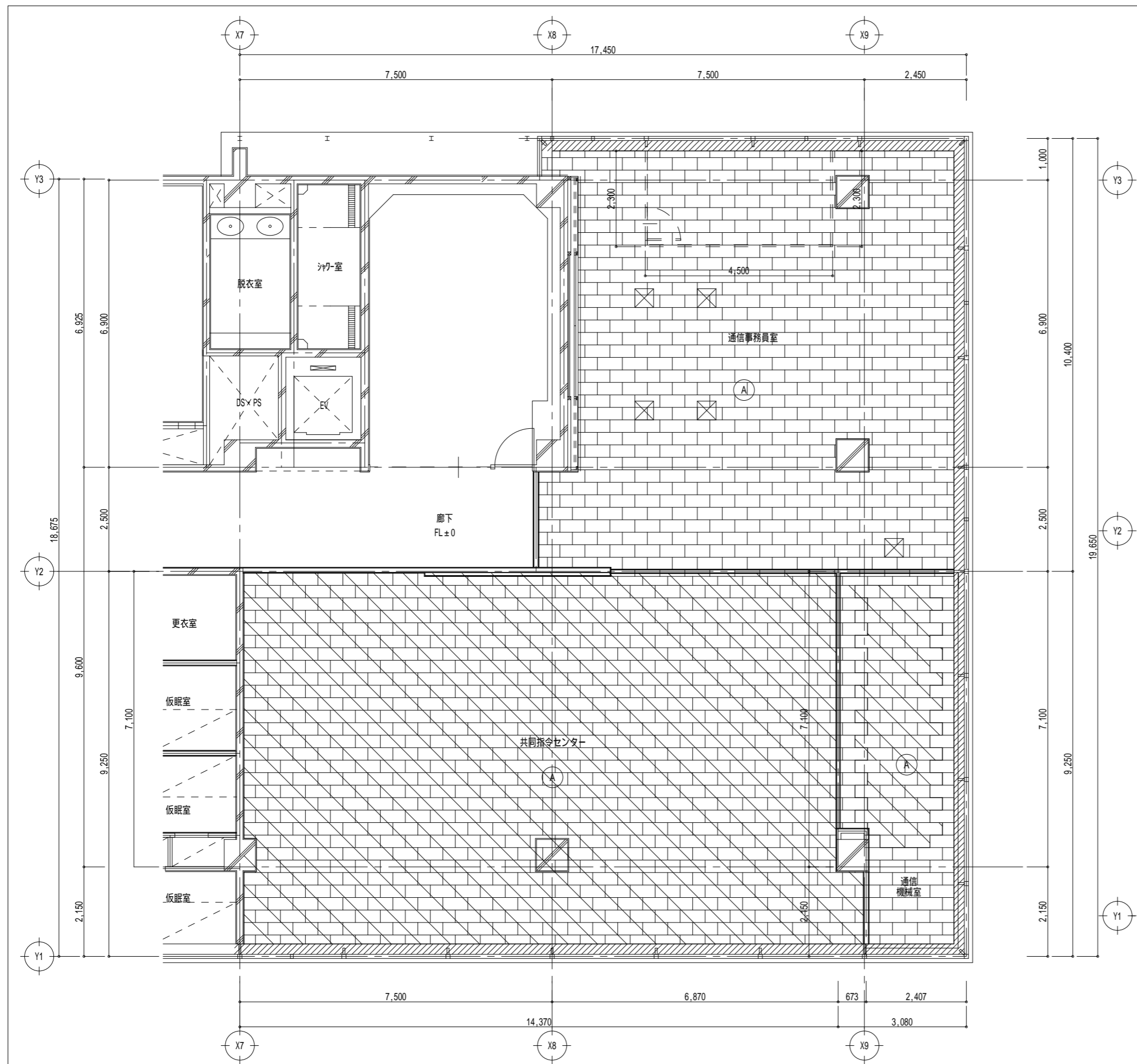
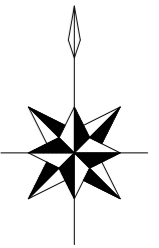
(A)	岩綿吸音板 t9 (PB t9.5捨貼り)
	岩綿吸音板 t9 (PB t9.5捨貼り) 下地共撤去処分範囲
	ブラインドボックス
	ピクチャーレール (回り縁一体型)
	既設点検口 撤去処分
	既設点検口

3階天井伏図(改修前) S= /200

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	津市消防本部 改修工事 3階天井伏図(改修前)	1/100	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日
									図番		KT12



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



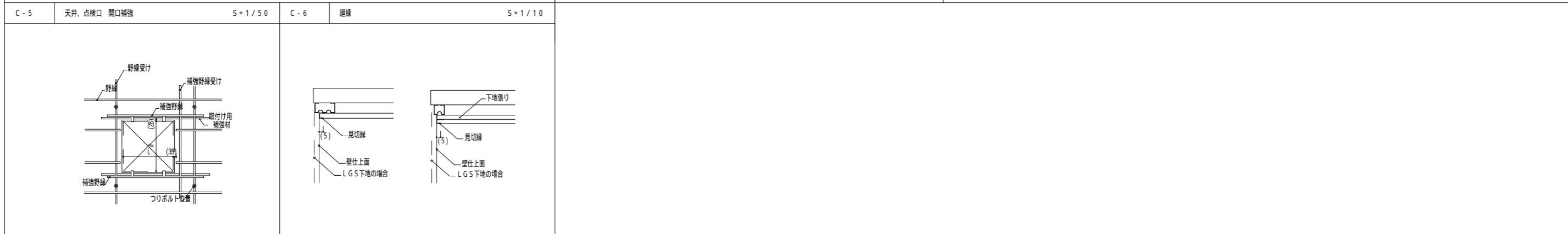
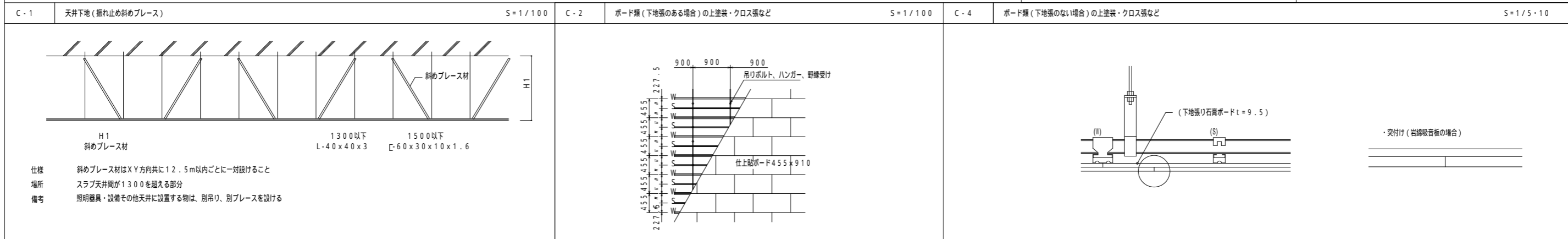
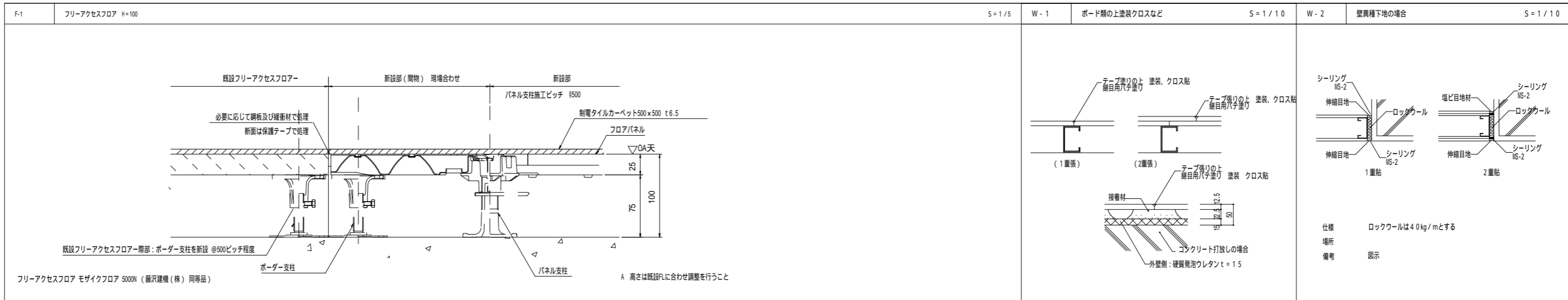
(A)	岩綿吸音板 t9 (PB t9.5捨貼り)
	岩綿吸音板 t9 (PB t9.5捨貼り) 新設範囲
	ブラインドボックス: 既設のまま
	ピクチャーレール (回り縁一体型): 既設のまま
	点検口 新設450 x 450 10箇所程度
	点検口既設のまま

3階天井伏図(改修後) S = /200

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	津市消防本部 改修工事 3階天井伏図(改修後)	1/100	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日
									図番		KT13



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

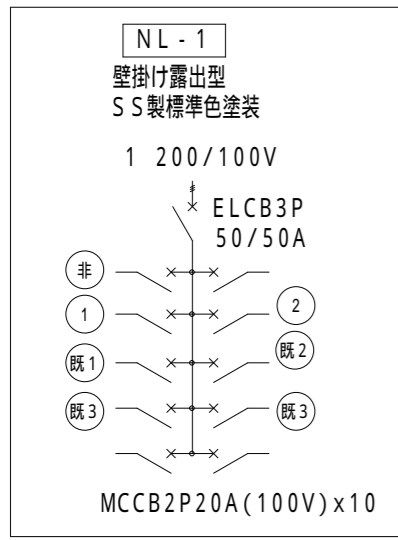
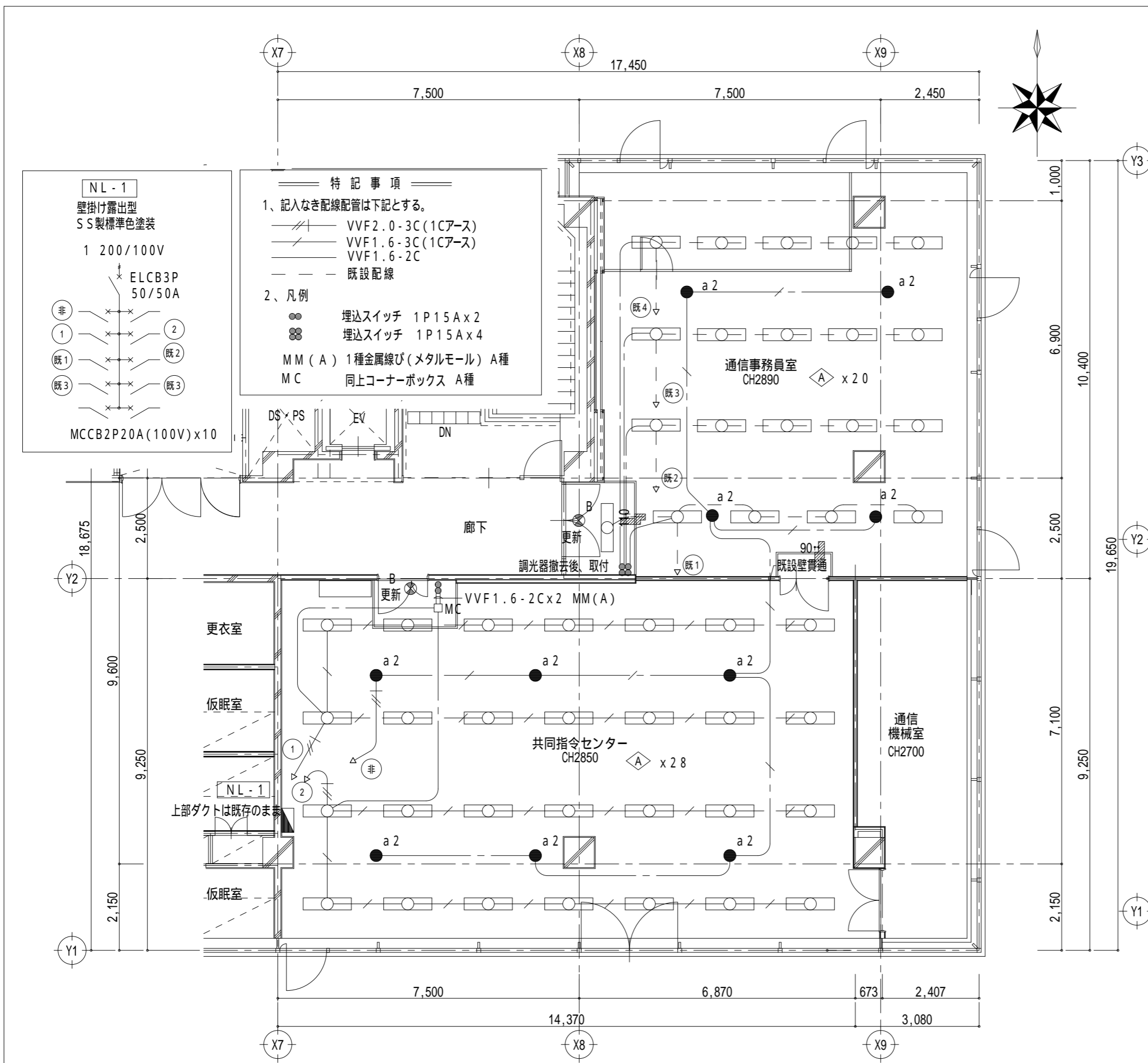


版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	承認	牛田	年月日
					課長補佐	係長	図番	KT14	
					係	図名			
						津市消防本部 改修工事 雑詳細図	縮尺		
						図示			



令和5年度消通第1-1号
工事名称 消防指令業務共同運用実施設計業務委託
電気設備工事特記仕様書
1. 工事概要
1. 工事場所 津市久居明神2 2 7 6
2. 建物概要
津市消防
3. 工事項目 (印の付いたものが対象工事)
4. 指定部分
5. 工事仕様
6. 特記仕様
7. 特記仕様
8. 特記仕様
9. 特記仕様
10. 特記仕様
11. 特記仕様
12. 特記仕様
13. 特記仕様
14. 特記仕様
15. 特記仕様
16. 特記仕様
17. 特記仕様
18. 特記仕様
19. 特記仕様
20. 特記仕様
21. 特記仕様
22. 特記仕様
23. 特記仕様
24. 特記仕様
25. 特記仕様
26. 特記仕様
27. 特記仕様
28. 特記仕様
29. 特記仕様
30. 特記仕様
31. 特記仕様
32. 特記仕様
33. 特記仕様
34. 特記仕様
35. 特記仕様
36. 特記仕様
37. 特記仕様
38. 特記仕様
39. 特記仕様
40. 特記仕様
41. 特記仕様
42. 特記仕様
43. 特記仕様
44. 特記仕様
45. 特記仕様
46. 特記仕様
47. 特記仕様
48. 特記仕様
49. 特記仕様
50. 特記仕様
51. 特記仕様
52. 特記仕様
53. 特記仕様
54. 特記仕様
55. 特記仕様
56. 特記仕様
57. 特記仕様
58. 特記仕様
59. 特記仕様
60. 特記仕様
61. 特記仕様
62. 特記仕様
63. 特記仕様
64. 特記仕様
65. 特記仕様
66. 特記仕様
67. 特記仕様
68. 特記仕様
69. 特記仕様
70. 特記仕様
71. 特記仕様
72. 特記仕様
73. 特記仕様
74. 特記仕様
75. 特記仕様
76. 特記仕様
77. 特記仕様
78. 特記仕様
79. 特記仕様
80. 特記仕様
81. 特記仕様
82. 特記仕様
83. 特記仕様
84. 特記仕様
85. 特記仕様
86. 特記仕様
87. 特記仕様
88. 特記仕様
89. 特記仕様
90. 特記仕様
91. 特記仕様
92. 特記仕様
93. 特記仕様
94. 特記仕様
95. 特記仕様
96. 特記仕様
97. 特記仕様
98. 特記仕様
99. 特記仕様
100. 特記仕様

Table with columns for Version, Date, Design Number, Change Item, Approval, Issued by, Name, Title, Drawing Scale, Design, Department, Date, Check, Date, Approval, Date, Design Number. Includes company logo for Beam Planning Corporation and project name: 津消防本部 改修工事 電気設備工事特記仕様書 (1) NS



特記事項

1、記入なき配線配管は下記とする。
 VVF2.0-3C(1Cアース)
 VVF1.6-3C(1Cアース)
 VVF1.6-2C
 既設配線

2、凡例
 ● 埋込スイッチ 1P15A x 2
 ○ 埋込スイッチ 1P15A x 4
 MM(A) 1種金属線び(メタルモール) A種
 MC 同上コーナーボックス A種

A LED一体型ベースライト 埋込型
消費電力 43.1W

LRS20-4-65

● a2 LED非常灯 自動点検機能付 低天井用 電池内蔵
ハロゲン電球13型 相当品
LAL E-004

K1-LRS11-2

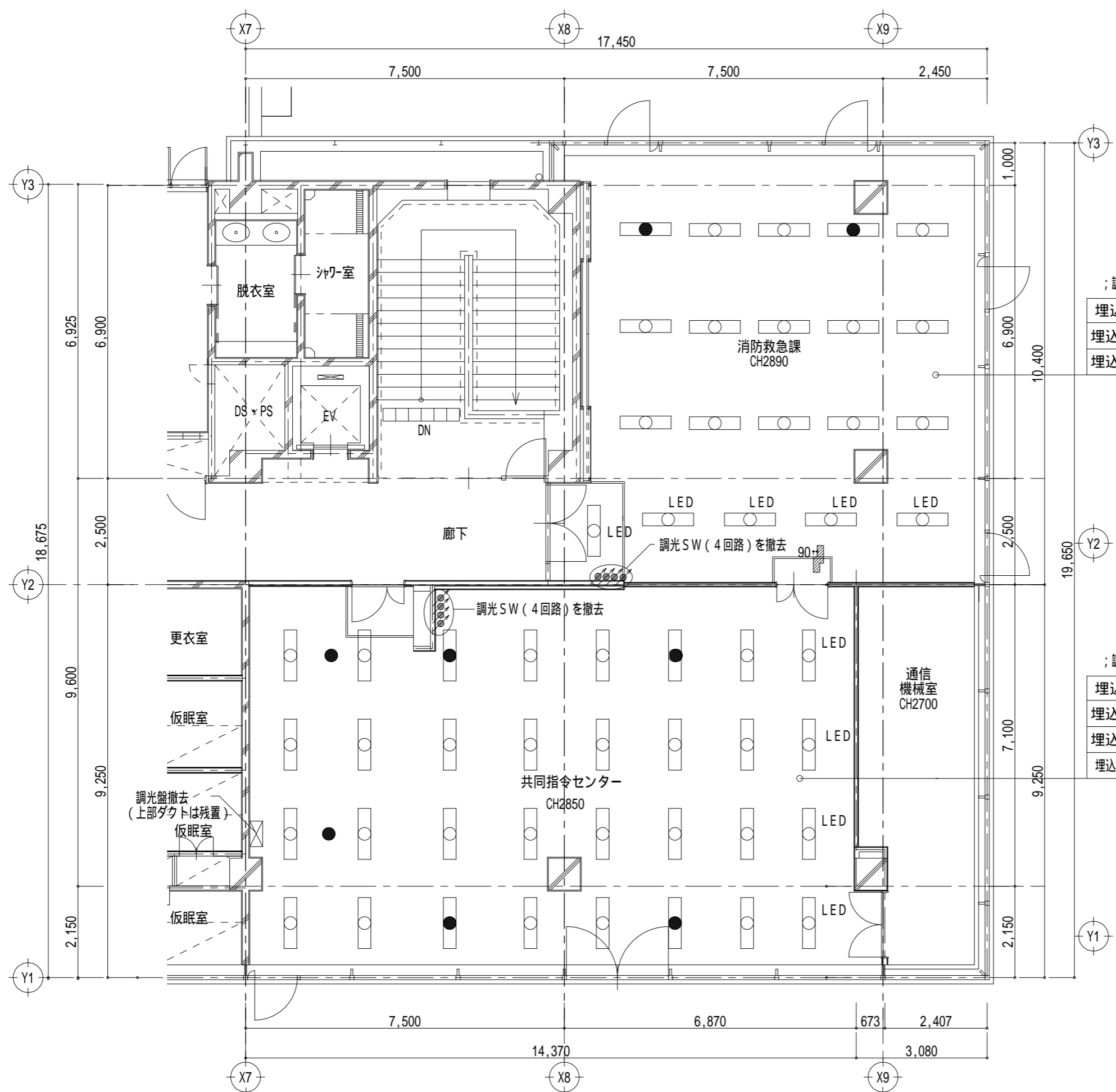
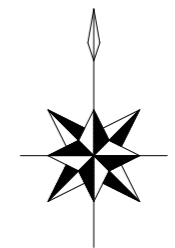
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	3.0m	4.0m	-
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	3.3
直線配置	A2	9.3	10.2	10.6	10.8	11.1	11.9	12.9
四角配置	A4	7.4	8.2	8.4	8.7	8.9	9.6	11.7

⊗ B LED避難口誘導灯 B級 電池内蔵型
SH1-FBF20-BH

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名 津消防本部 改修工事 電灯設備 改修 平面詳細図 (改修後)
						縮尺 1/100

ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

設計	服部	年月日
検図	牛田	年月日
承認	山下	年月日
図番	KT16	



; 調光用配線の撤去も本工事とする。

埋込型調光器具 F H F 3 2 W x 3 非常灯兼用	2 灯	撤去
埋込型調光器具 F H F 3 2 W x 3	1 3 灯	
埋込型調光器具 L E D 灯	5 灯	

; 調光用配線の撤去及び既設配線もすべて撤去とする。

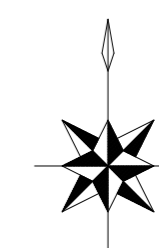
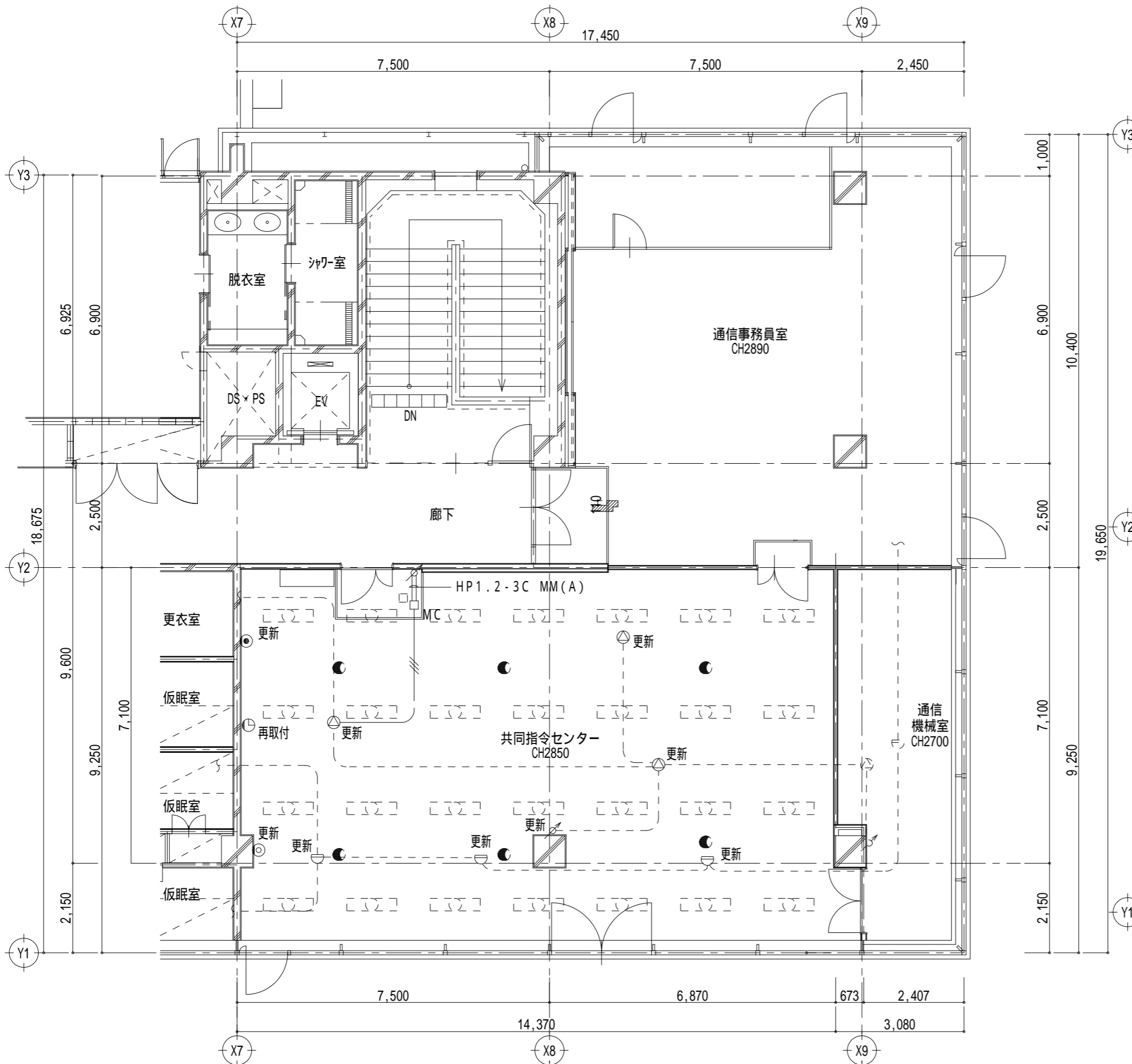
埋込型調光器具 F H F 3 2 W x 3 非常灯兼用	4 灯	撤去
埋込型調光器具 F H F 3 2 W x 3	1 3 灯	
埋込型調光器具 L E D 灯	4 灯	
埋込型非常照明ハロゲン球	2 灯	

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事
				課長	主幹	課長補佐
					係長	係
						図名
						津消防本部 改修工事
						電灯設備 撤去 平面詳細図 (改修前)
						縮尺
						1/100



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

設計	服部	年月日
検図	牛田	年月日
承認	山下	年月日
図番	KT17	

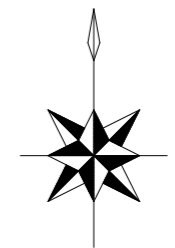
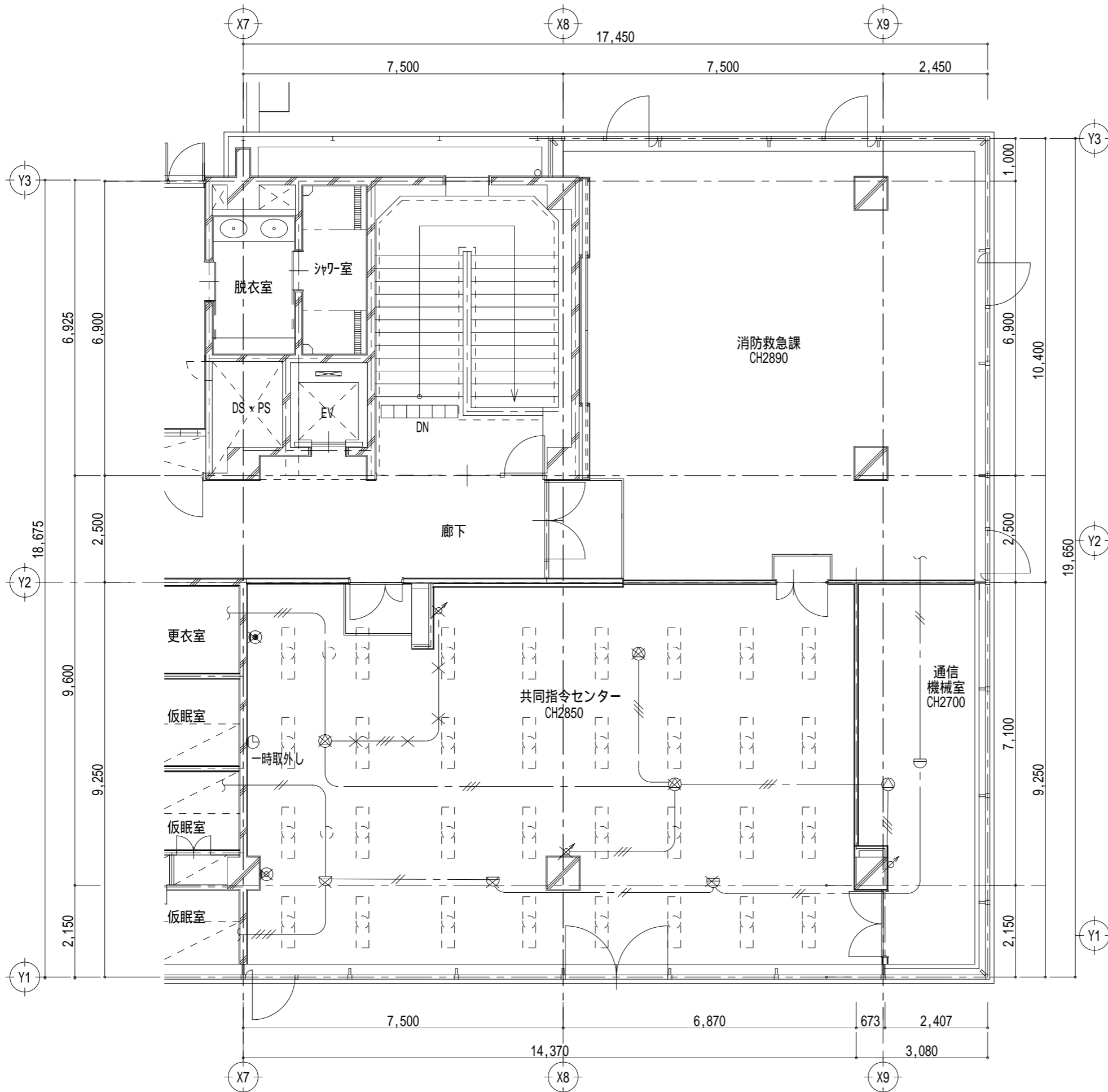


- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。
 // HP1.2-3C
 - - - 既設配線
 - 凡例
 ☺ 差動式スポット型熱感知器 2種 露出
 ⊙ 天井埋込スピーカー
 ↗ アッテネイター
 MM(A) 1種金属線び(メタルモール) A型
 MC 同上コーナーボックス A型

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT18
					課長補佐	弱電、自火報設備 改修 平面詳細図(改修後)	縮尺		
					係長		1/100		
					係				



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

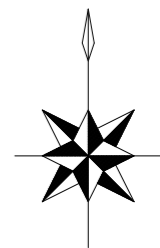
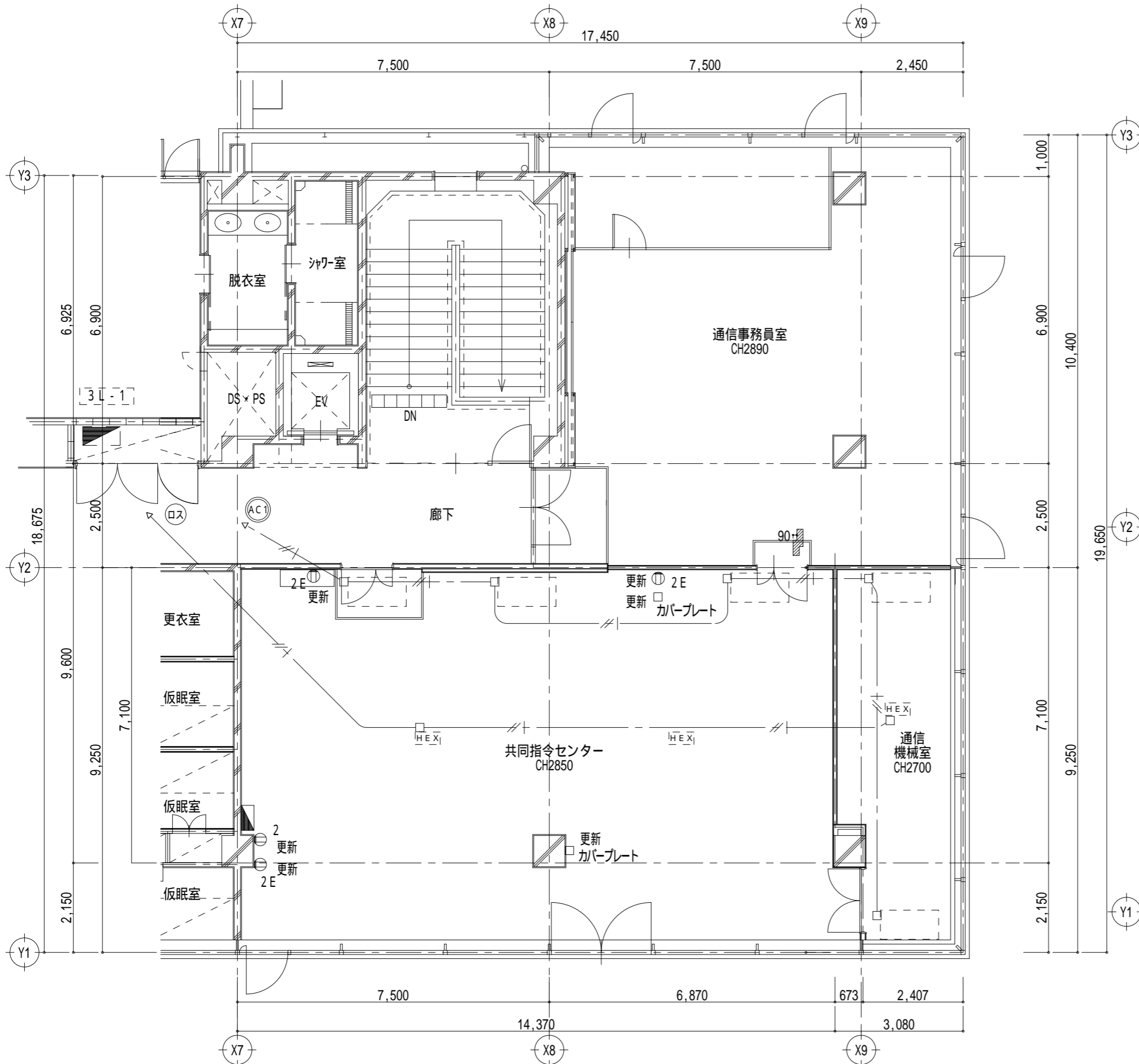


- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。
 - AE1.2-2C
 - AE1.2-4C
 - HP1.2-3C
 - 凡例
 - 差動式スポット型熱感知器 2種 露出
 - 天井埋込スピーカ
 - アッテネイター
- 3×印は、撤去をあらわす。

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT19
					課長補佐	弱電、自火報設備 撤去 平面詳細図(改修前)	縮尺		
					係長		1/100		
					係				




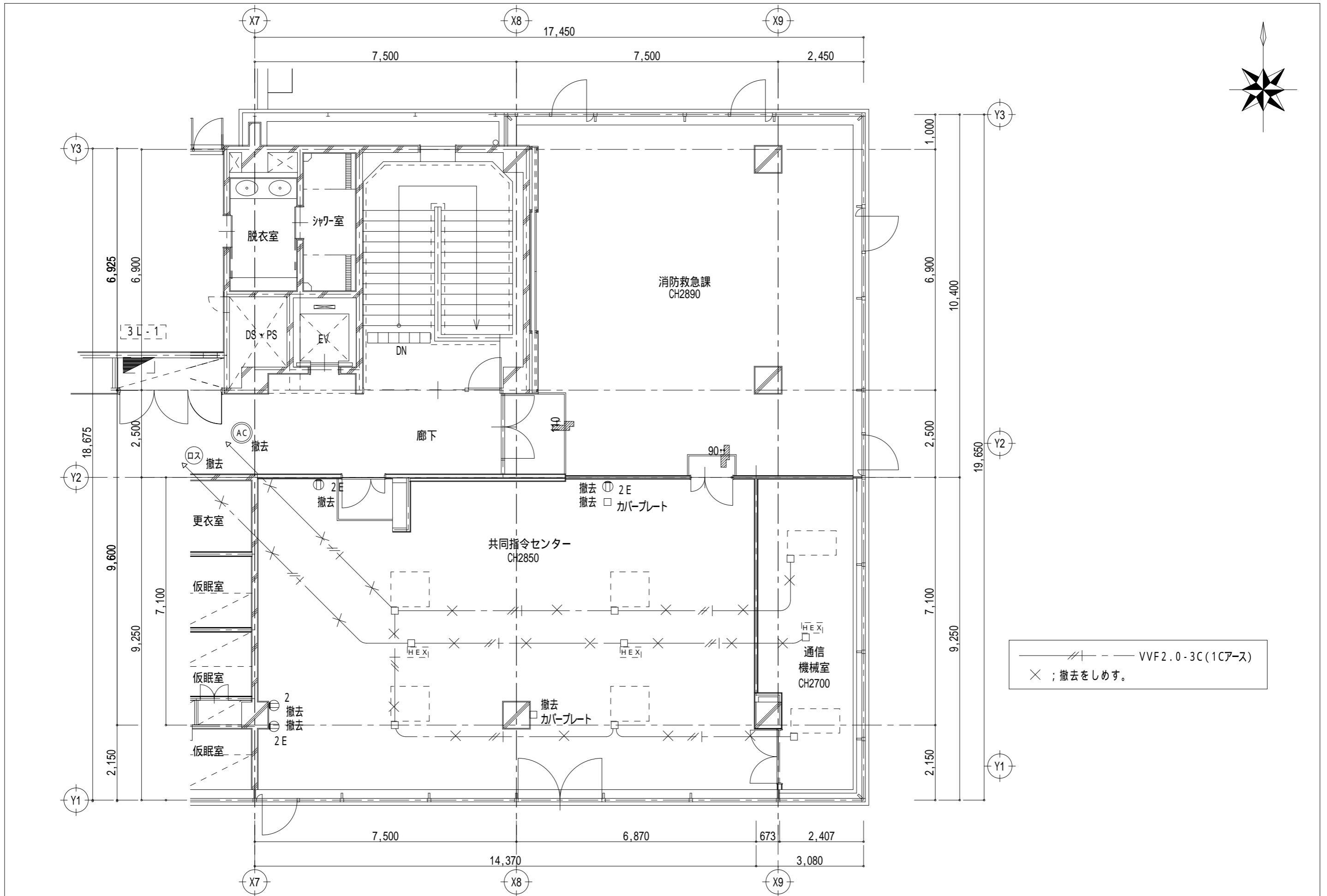
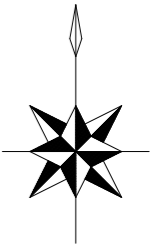
ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



共同司令室空調エアコン屋外機、通信機械室空調エアコン屋外機の電源接続替は電気工事とする。既設電源線は流用とする。

——— VVF2.0-3C(1Cアース)

版	年月日	設定番号	変更事項	承認	発注者	名称	 ビーム計画設計株式会社 Beam Planning Corporation		設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事			検図	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日
						図名	縮尺		図番	KT20	
						津消防本部 改修工事	1/100				
						動力コンセント、空調換気電源設備 改修 平面詳細図					



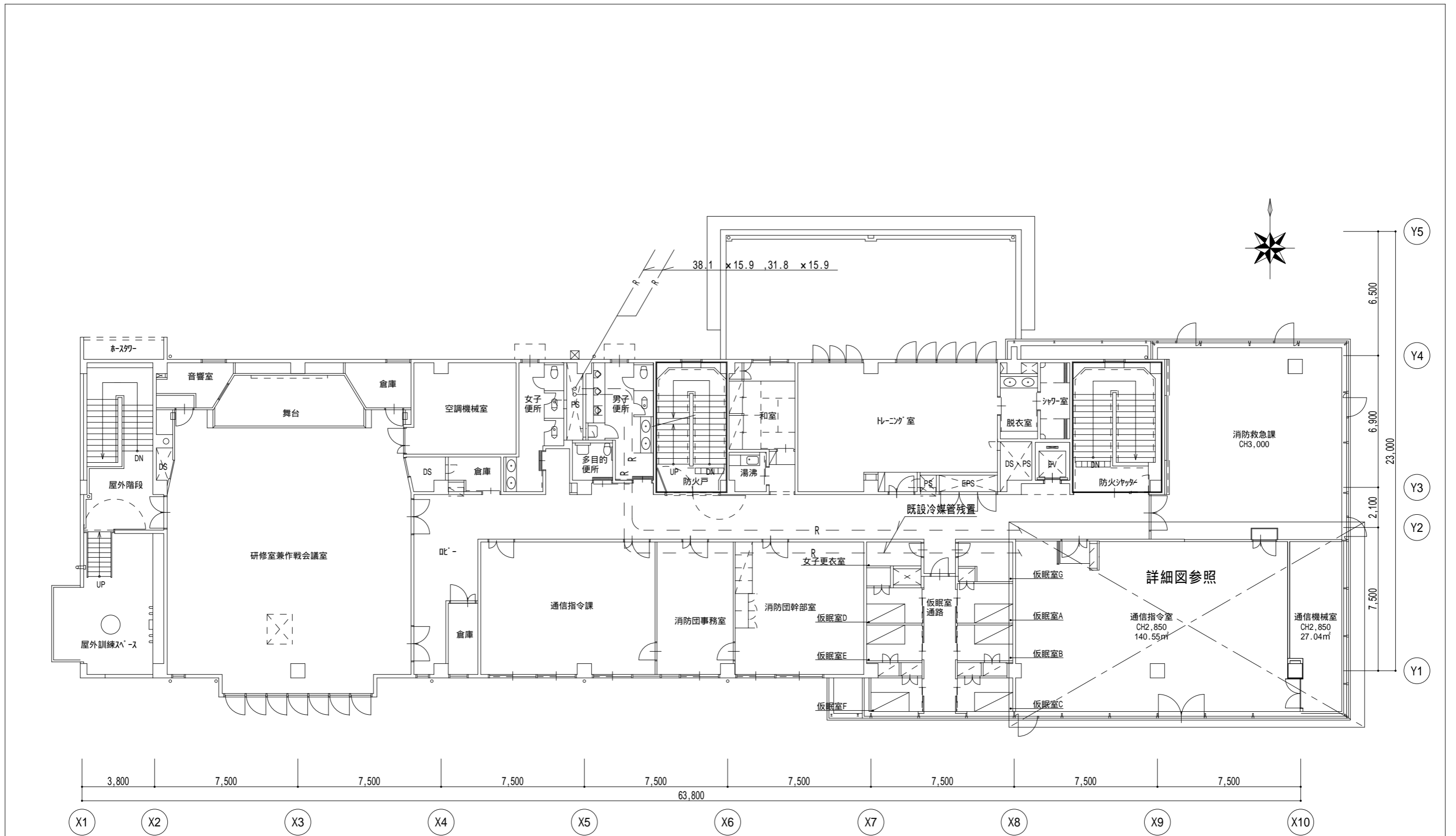
VVF2.0-3C (1Cアース)


 X ; 撤去をしめす。

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	校閲	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT21
					課長補佐	動力コンセント、空調換気電源設備 撤去 平面詳細図	縮尺		
					係長		1/100		
					係				

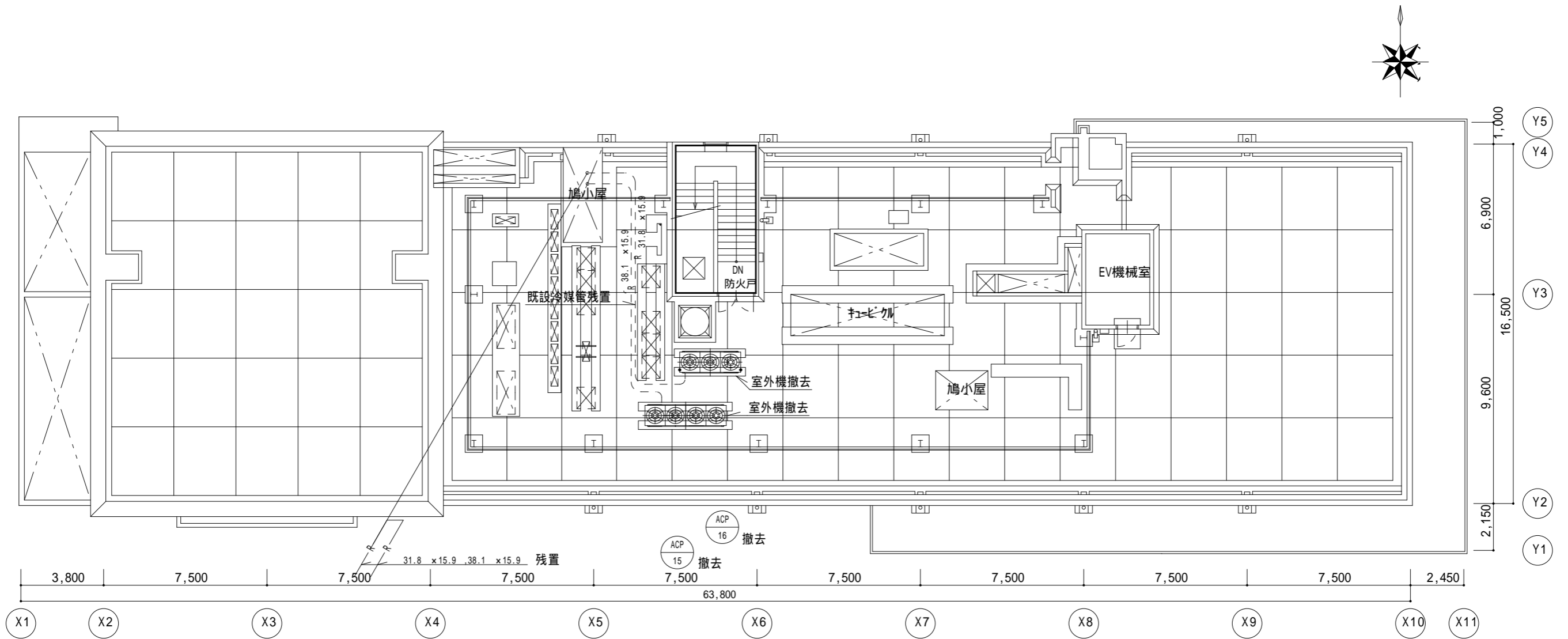


ビーム計画設計株式会社
 Beam Planning Corporation



版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	係
						津市消防本部改修工事 空調設備 撤去 平面図 (改修前)	縮尺	承認	山下
							1/200	図番	KT23
							 ビーム計画設計株式会社 Beam Planning Corporation		

空調機器表 (撤去) 空冷ヒートポンプ式				
記号	形式・名称	仕様	台数	設置場所
ACP-15	ビル用マルチエアコン	冷房能力: 45.0 kW 暖房能力: 50.0 kW	1	R階
	室外機	三相 200 V		
ACP-15A	ビル用マルチエアコン	冷房能力: 11.2 kW 暖房能力: 12.5 kW	4	3階
	室内機 (天カセ形4方向)	单相 200 V 標準パネル		通信指令室
ACP-16	ビル用マルチエアコン	冷房能力: 35.5 kW 暖房能力: 40.0 kW	1	R階
	室外機	三相 200 V		
ACP-16A	ビル用マルチエアコン	冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: 16.0 kW	2	3階
	室内機 (天カセ形4方向)	单相 200 V 標準パネル		通信機械室
R	ワイヤードリモコン		2	

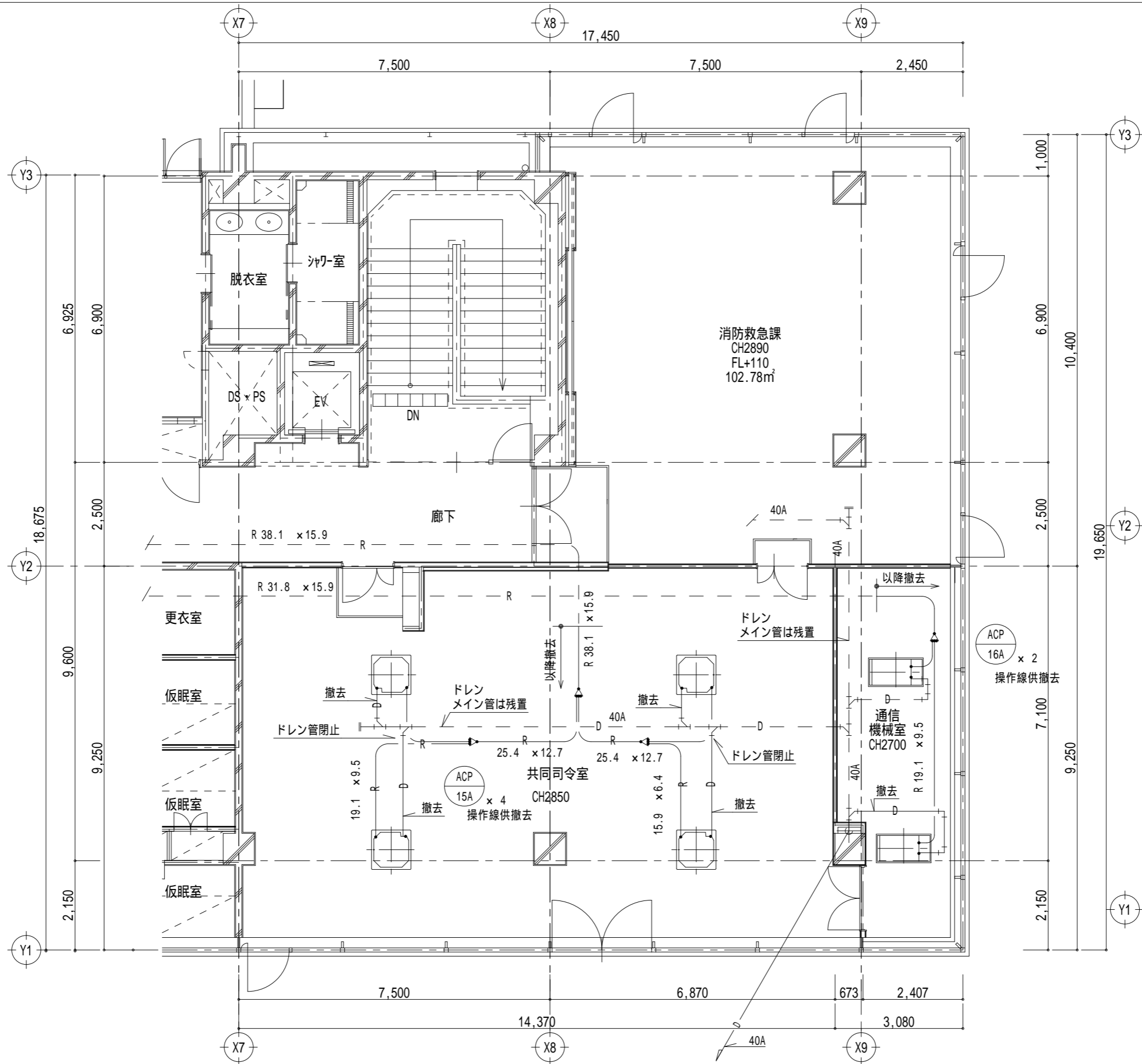
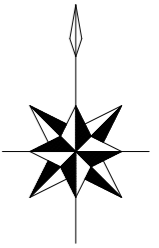


R階 平面図 S = 1 / 200

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	設計	牛田	年月日
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名 津消防本部 改修工事	検図	山下	年月日
						空調設備 撤去 屋上平面図 (改修前)	承認		年月日
						縮尺 1/200	図番		KT24



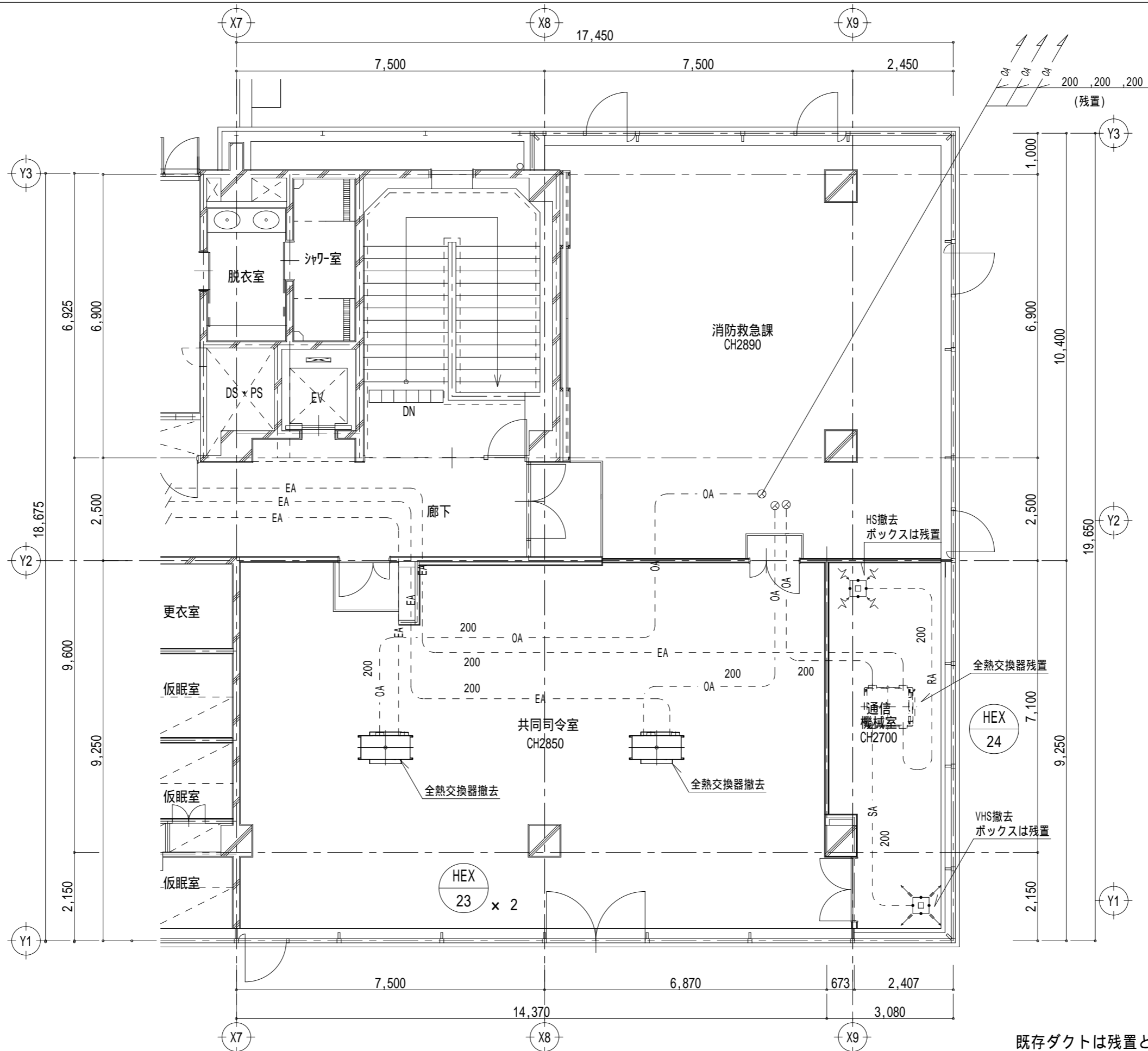
ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT25
					課長補佐	空調設備 撤去 平面詳細図(改修前)			
					係長	縮尺			
					係	1/100			



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



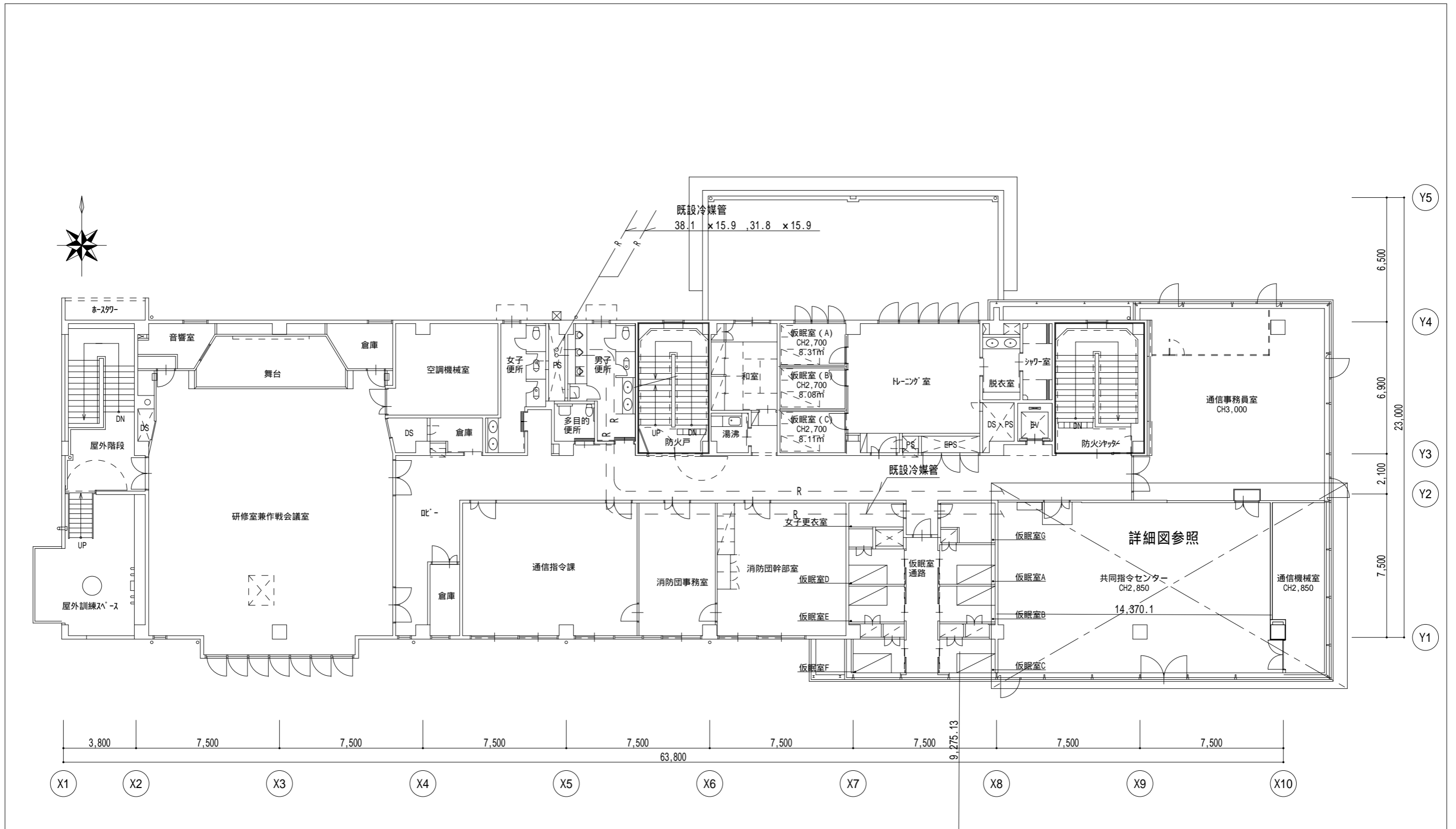
既存ダクトは残置とする。

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	津市	名称	三重中央消防指令センター総合整備工事	設計	服部	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	係	図名	津消防本部 改修工事
										縮尺	1/100
										図番	KT26



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

設計	服部	年月日
校閲	牛田	年月日
承認	山下	年月日
図番	KT26	



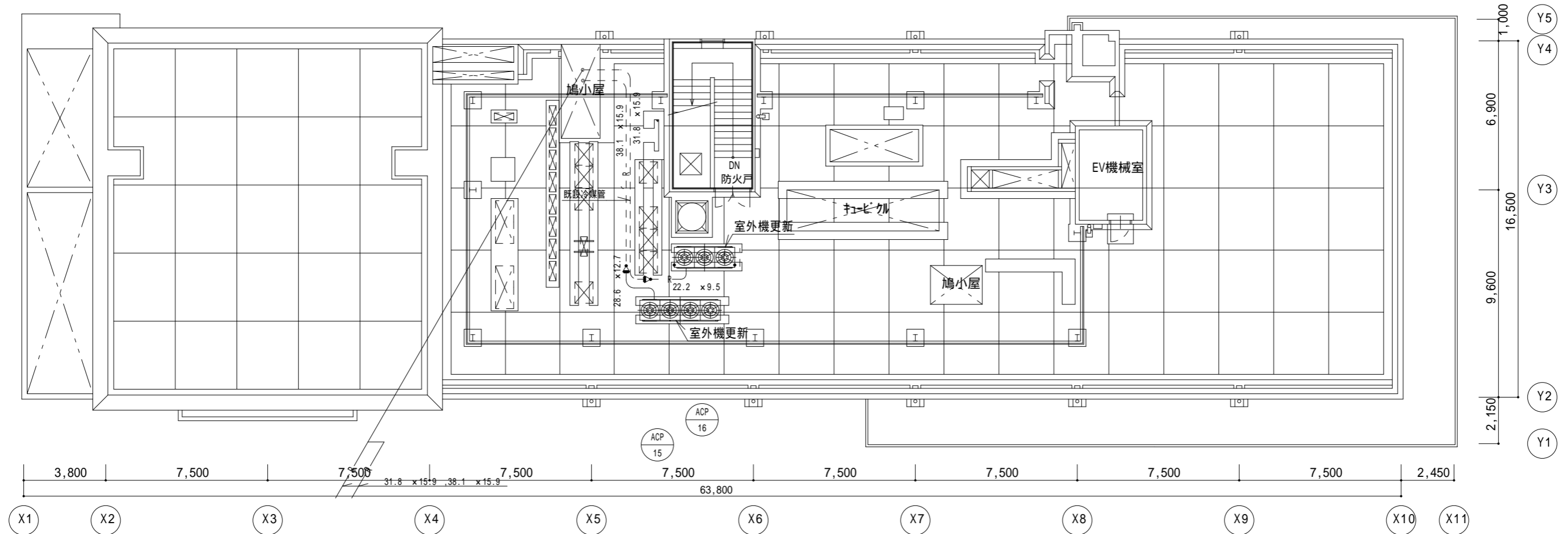
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	校閲	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT27
					課長補佐	空調設備 平面図 (改修後)			
					係長	縮尺			
					係	1/200			



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

空調機器表

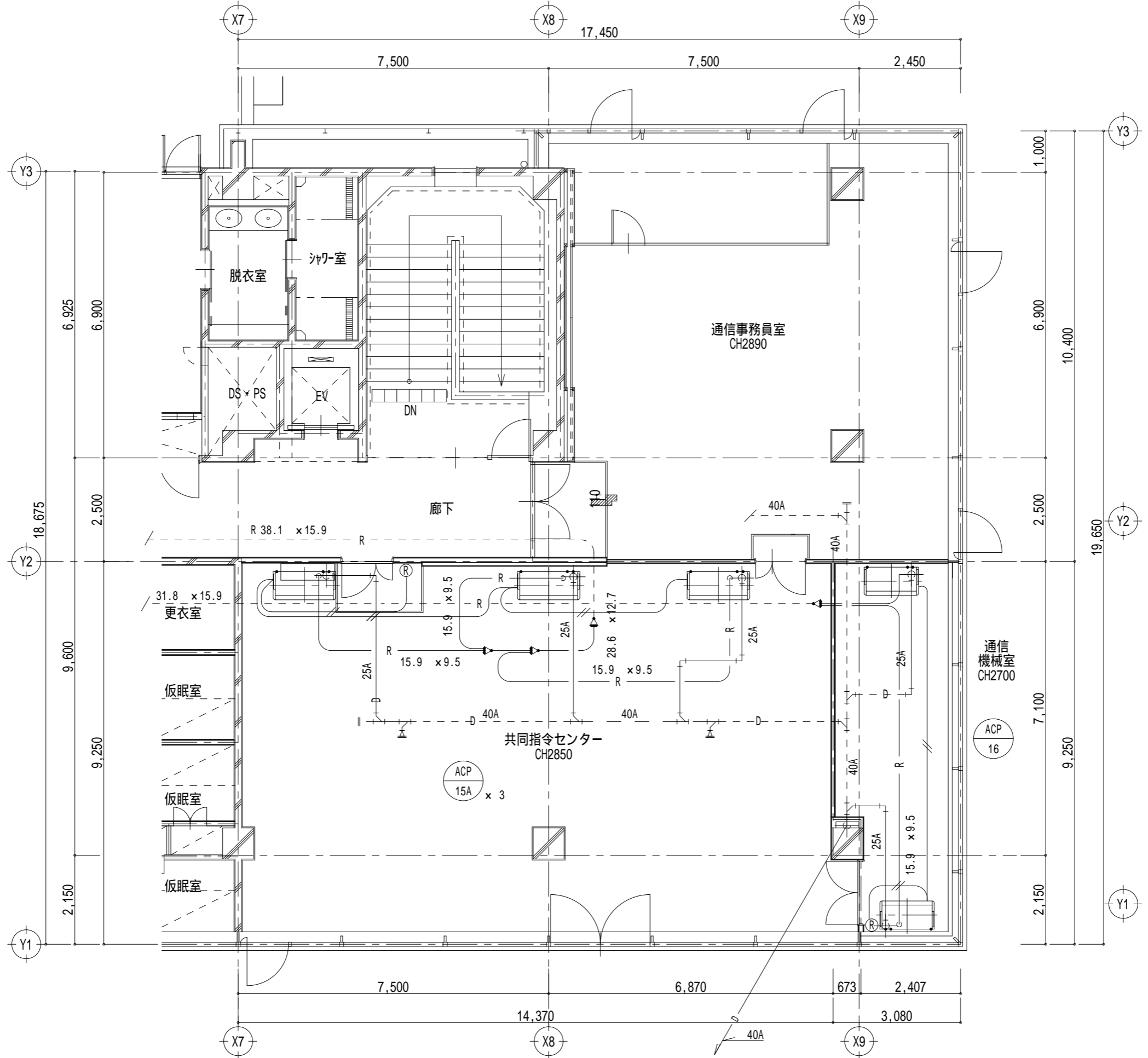
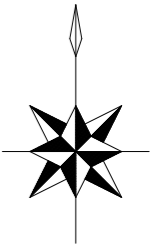
記号	機器名	機器仕様	電源容量 (kw)		台数	設置場所	備考
			V	消費電力			
ACP-15	マルチエアコン RQYP450FC	室外機 (更新用)	3 - 200V	冷房 13.7	1	屋上	防振架台
		冷房能力 45.0kw		暖房 15.2			
		暖房能力 50.0kw					
ACP-15A	室内機 FXYHP160NB	形式 天井吊形	3 - 200V	冷房 0.242	3	共同指令センター	防振吊金物
		冷房能力 16.0kw		暖房 0.287			
		暖房能力 18.0kw					
		付属品 ドレンアップキット、リモコン 他一式					
ACP-16	パッケージエアコン SSRH280CD RSRP280C FHP140FB x2	形式 天井吊形	3 - 200V	冷房 9.75	1	通信機械室	室外機:防振架台 室内機:防振吊金物
		冷房能力 25.0(11.3~28.0)kw		暖房 8.57			
		暖房能力 28.0(12.6~35.0)kw					
		付属品 リモコン 他一式					
HEX-23	全熱交換器 SSRH280CD	形式 天井カセット形	1 - 100V		1	共同指令センター	防振吊金物
		風量 500m ³ /h					
		静圧 10.0 Pa					
		付属品 インテリアパネル リモコン 他一式					



R階 平面図 S = 1 / 200

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名 津消防本部 改修工事 空調設備 屋上平面図(改修後)	承認	山下	年月日
						縮尺 1/200	図番	KT28	

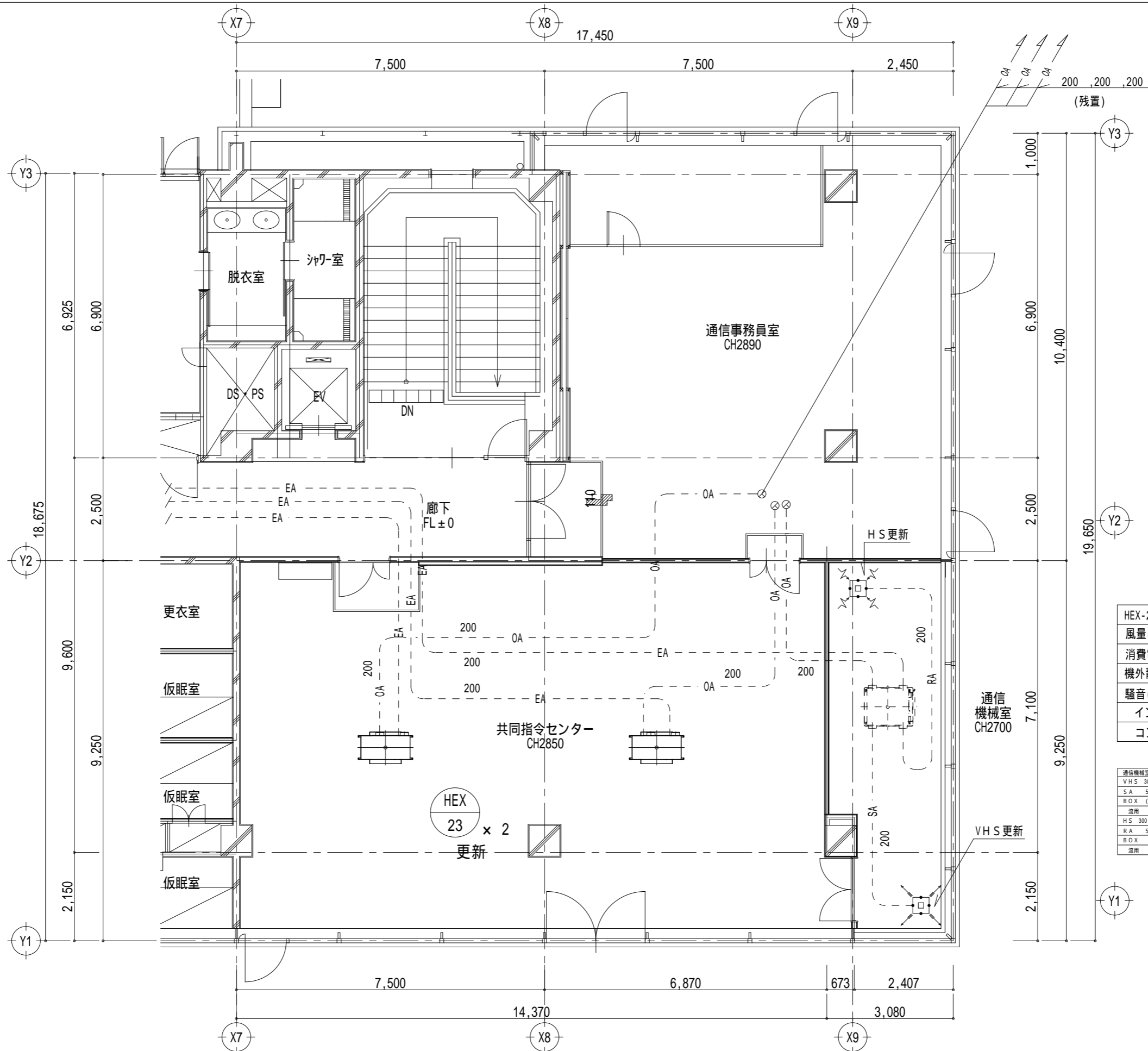




版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	津市	名称	三重中央消防指令センター総合整備工事	設計	服部	年月日
					課長	主幹	図名	津消防本部 改修工事 空調設備 平面図(改修後)	校閲	牛田	年月日
						課長補佐	縮尺	1/100	承認	山下	年月日
						係長			図番	KT29	
						係					



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



HEX-23		数量
风量 (m ³ /h)	350	2
消費電力 (W)	156	
機外静圧 (Pa)	5	
騒音 (db)	31	
インテリアパネル、防振ゴム コントロールスイッチ		

通信機械室	
VHS 300 x 300	
SA S110m3	1
BOX (5025t)	
流用	
HS 300 x 300	
RA S110m3	1
BOX	
流用	

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	設計	服部	年月日
					課長	図名	検図	牛田	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	承認	山下	年月日
					課長補佐	換気設備 平面図 (改修後)	図番		KT30
					係長	縮尺			
					係	1/100			



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

<p>工事特記仕様書（改修）</p> <p>・ 工事名称 鈴鹿市消防本部 改修工事</p> <p>・ 工事概要</p> <p>1 工事場所 三重県鈴鹿市飯野寺家町217-1 地内</p> <p>2 敷地面積 9,273.44㎡</p> <p>3 工事内容 指令室改修工事</p> <p>機名称 本庁倉庫</p> <p>構造 RC造4階建て</p> <p>建築面積 2,327.42㎡</p> <p>延べ面積 5,725.03㎡</p> <p>工事項目 改修工事</p> <p>・ 建築改修工事仕様</p> <p>1 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。</p> <p>2 特記仕様 (1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、 印の付いたものを適用する。 (3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕の該当項目等を示す。</p>		<p>4 建設副産物情報交換システムの利用</p> <p>受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見えやすい場所に掲げること。なお、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。</p> <p>5 三重県産業廃棄物税</p> <p>本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p> <p>・ 配置する</p> <p>職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。</p> <p>調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による</p> <p>補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</p> <p>9 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)</p> <p>10 建築材料等</p> <p>1 1 化学物質の濃度測定 (1.6.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>測定対象化学物質（ 〇 示したものとす。）</th> <th>適用</th> <th>施設用途</th> <th>おもアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>パラジクロロベンゼン</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>学校、教育施設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>住宅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</p> <p>測定方法（ ・ パッシブ法 ・ アクティブ法）</p> <p>測定時期 ・（ ）</p> <p>報告書提出部数 2部</p> <p>改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。</p> <p>17 設備工事との取合い</p> <p>3 既存部分等への処置 (1.3.13)</p> <p>4 事故の発生時</p> <p>10 消防提出書類</p> <p>11 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置</p> <p>12 不正軽油の使用の禁止</p> <p>23 屋外広告物</p>		測定対象化学物質（ 〇 示したものとす。）	適用	施設用途	おもアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン			学校、教育施設									住宅									その他							<p>23 石綿含有建材の調査 (1.5.1)</p> <p>○石綿含有建材の事前調査 調査範囲 ・ 図示（図面番号： ） ○（改修範囲） 貸与資料 ・ 既存の設計図書 ・ 石綿含有建材の調査報告書 ・（ ）</p> <p>・ 分析調査 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th>定性分析法</th> <th>定量分析法</th> </tr> <tr> <td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td> <td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図面(図面番号：) ・（ ）</p> <p>○石綿含有の可能性がある建材は、みなし扱いとし、撤去処分を行う。</p> <p>2 1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)</p> <p>・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>2 2 足場 (2.2.1)(表2.2.1)</p> <p>設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>内部足場の種別(参考) ○ 脚立 ・ 欄足場 ・ その他() 外部足場の種別(参考) ・ 手摺先行据置枠組足場 ・ 移動足場 ・ 高所作業車 ・ その他() 外部足場設置範囲(参考) ・ 外部改修部 ・ 設備改修部 ・ 昇降用 ・ 転落防止用 防護シート等による養生 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>足場（つり足場、張出し足場又は高さ10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る。）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。</p> <p>1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者</p> <p>2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参照書」に必要な資格を有する者</p> <p>3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者</p> <p>5 既存部分の養生 (2.3.1)</p> <p>既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ） 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ○ 行わない</p> <p>4 仮設間仕切り (2.3.2)(表2.3.1)</p> <p>屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・（ ） せつこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・（ ） 合板又はせつこうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>仮設扉 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ） 仕様 ・ 合板張り木製扉 ・（ ）</p> <p>5 監督員事務所 (2.4.1)</p> <p>・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する ○ 設置しない 監督員事務所の規模(単位:㎡)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> </table> <p>監督員事務所の仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位 等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニル床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>珪藻土垂壁めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </table> <p>6 監督員事務所の設備・備品等 (2.4.1)(2)(7)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長靴</th> <th>雨合羽</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ロッカー</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>掃除具</th> <th>受注者加入電話 FAX</th> <th>冷暖房機器</th> <th>インターネット</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table> <p>7 仮設便所</p> <p>構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない</p> <p>8 工事用水</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない</p> <p>9 工事用電力</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。</p> <p>10 交通誘導警備員</p> <p>配置 ・ 図示（図面番号： ）</p>		材料名	定性分析法	定量分析法	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	部 位 等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り	屋根	珪藻土垂壁めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台
測定対象化学物質（ 〇 示したものとす。）	適用	施設用途	おもアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																																																																																														
		学校、教育施設																																																																																																				
		住宅																																																																																																				
		その他																																																																																																				
材料名	定性分析法	定量分析法																																																																																																				
	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																																																																																																				
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																				
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																				
適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																																																																	
部 位 等	仕 上 げ																																																																																																					
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																																																																					
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																																																																					
屋根	珪藻土垂壁めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																																																																					
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																																																																	
数量	組	台	個	個	個																																																																																																	
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																																																																	
数量	足	着	個	個	台																																																																																																	
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																																																																																	
数量	個	個	台	台	台																																																																																																	

章	項目	特記事項																					
1	① 適用基準等	<p>1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>2) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>3) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>4) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p>																					
	② 施工条件	<p>施工方法及び検査に関する事項</p> <p>工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手すること。 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほりこ等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立ち合いのもと写真に記録しておくこと。 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 設計図面に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 高所等の施工箇所で行った検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査員による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。</p>																					
	③ 発生材の処理等 (1.3.12)	<p>本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>・ 分別解体等の方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> <tr> <td>造成等</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </table> <p>○ 引き渡すを要するもの (○ 無 ・) ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有 (・ PCBを含む機器類 ・ 廃油、廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン類 ・ 水銀を含む特別管理産業廃棄物 ・ 廃水銀等) 処理方法 () ・ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有 (・ 蛍光灯ランプ ・ HIDランプ ・ ()) 「水銀廃棄物ガイドライン」(第2版)(平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。 ○ 石綿含有成形板等解体時の留意点 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2. 可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。 3. 飛散されない様にする。こと。 4. 保護具及び作業着を着用すること。 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 ・ 現場において再利用を図るもの () ・ 再資源化を図るもの ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ ()</p> <p>引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従って適切に処理し、監督員にマニフェストA、B、D票を提示すること。</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他 ()	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
工程	作業の有無	分別解体等の方法																					
造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																					
その他 ()	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	鈴鹿市消防本部 改修工事 特記仕様書(1)	1/50	校図	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日
									図番		KS01



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

6 ① 一般事項 (6.1.3)(2)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 ・ 天井 (図示 (図面番号:)) ・ 壁 (図示 (図面番号:)) ・ 床 (図示 (図面番号:))
	(6.1.3)(3) 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	(6.1.3)(5) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	② 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(1)(7) 既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ○ 行わない
	(6.2.2)(1)(4) 合成樹脂塗床材の除去等 ・ 機械的除去法 ・ 目荒し工法
	(6.2.2)(3) 改修後の床の清掃範囲 ○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ()
	3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2) 既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ()
	4 木下地等 (6.5.2)(1)(4) (表6.5.1) 木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) 部材名称 種 別 下地材 ・ A種 ・ B種 造作材 ・ A種 ・ B種
	(6.5.2)(2)(7) 製材 「製材の日本農林規格」による製材 部位 樹種・寸法・形状 等級 含水率 保存処理 材面の品質 下地用 針葉樹製材 造作用 針葉樹製材 広葉樹製材 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ () ・ () ・ () ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ () ・ () ・ () ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ () ・ () ・ ()
	(6.5.2)(2)(4) 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ () 樹種
	(5.5.6)(1) - (5.5.9)(1) 部 位 樹 種 県 産 材 ・ ・ ・
(6.5.2)(3)(7) 造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 部 位 品 名 ・ 樹 種 見付け材面の寸法・品質・数 厚さ 造作用集成材 化粧ばり造作用集成材 化粧ばり構造用造作用集成材 ・ 図示 (図面番号:) ・ 図示 (図面番号:) ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ 図示 (図面番号:) ・ ()	
(6.5.2)(3)(4) 「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 1.5%以下 ・ ()	
(6.5.2)(4)(7) 造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 部 位 品 名 ・ 寸 法 表面の品質 防虫処理 造作用単板積層材 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ ()	
(6.5.2)(4)(4) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 1.4%以下 ・ ()	
(6.5.2)(5) 「直文集成板の日本農林規格」による直文集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)	
(6.5.2)(6) 合板等 品名 (品目) 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ ・ ・ ・	
(6.5.3)(1) 接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()	
(6.5.3)(2) 諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号:)	
(6.5.5)(1) 防蟻、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号:) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () 附属書 A に基づく表面処理用木材保存剤 ボード原料接着剤への防蟻・防蟻処理 ()	
(6.5.5)(2) 防虫処理 ・ 図示 (図面番号:)	

5 軽量鉄骨天井 地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3) (6.6.4)	野縁等の種類 ・ 屋内 ・ 19形 ・ () ・ 屋外 ・ 25形 ・ () 形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:) ・ ふところ 3.0m 改修標準仕様書 (6.6.4)(8) ・ 図示 (図面番号:)
(6.6.4)	既存埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない (使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (図示 (図面番号:)) ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数 (3箇所) ・ 確認強度 () 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示 (図面番号:)
(6.6.4)	スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示 (図面番号: A-05)
7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2)(1) (6.8.2)(2) (6.8.2)(3)(7)(4)	材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 種類の記号 色柄 厚さ 備考 F S 無地 2.0mm ・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 種類の記号 色柄 寸法 厚さ 備考 K T 2.0mm ・ 制電防止床シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考 ・ 視覚障害者用床タイル 種類 形状 備考 ビニル床タイル 300×300×7.0mm ・ 耐動荷重性床シート 種類 厚さ 備考 ・ 防滑性床シート又は床タイル 種類 寸法 厚さ 備考 ・ ゴム床タイル 種類 色柄 寸法 厚さ 備考 工法 下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 () ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない
(6.8.2)(3)(9)	・ 織じゅうたん 種類 糸の種類 バイルの形状 制電性 品質の程度 色柄 ・ A種 ・ ソモ ・ カットバイル ・ 人体制電圧 3kV以下 ・ () ・ 無地 ・ B種 ・ 紡糸 ・ ループバイル ・ () ・ C種 ・ () ・ カット、ループ併用 ・ () 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)
(6.8.2)(3)(4)	・ タフテッドカーベット バイルの形状 バイル長(mm) 制電性 工法 品質の程度 ・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用 ・ 人体制電圧 3kV以下 ・ 全面接着工法 ・ グリップバー工法 ・ () ・ ()
(6.8.2)(3)(4)	・ タイルカーベット 種類 バイルの形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 品質の程度 制電タイルカーベット 500×500 ・ カットバイル ・ () ・ ループバイル ・ () ・ () (中程度)
(6.8.2)(4)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ () 見切り、押入金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状) ・ 図示 (図面番号:)
(6.8.2)(5)	織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()
(6.8.2)(5)	タイルカーベットの敷き方 平場 ○ 市松敷き ・ 模様流し ・ () 階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()
(6.9.2)(1) (表6.9.1)	種類 系の種類 バイルの形状 制電性 品質の程度 色柄 ・ A種 ・ ソモ ・ カットバイル ・ 人体制電圧 3kV以下 ・ () ・ 無地 ・ B種 ・ 紡糸 ・ ループバイル ・ () ・ C種 ・ () ・ カット、ループ併用 ・ ()
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	・ タフテッドカーベット バイルの形状 バイル長(mm) 制電性 工法 品質の程度 ・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用 ・ 人体制電圧 3kV以下 ・ 全面接着工法 ・ グリップバー工法 ・ () ・ ()
(6.9.2)(3) (表6.9.2)	・ タイルカーベット 種類 バイルの形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 品質の程度 制電タイルカーベット 500×500 ・ カットバイル ○ 300×500 ・ () ・ ループバイル ・ () ・ () (中程度)
(6.9.2)(4)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ () 見切り、押入金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状) ・ 図示 (図面番号:)
(6.9.2)(5)	織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()
(6.9.3)(1)	タイルカーベットの敷き方 平場 ○ 市松敷き ・ 模様流し ・ () 階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()

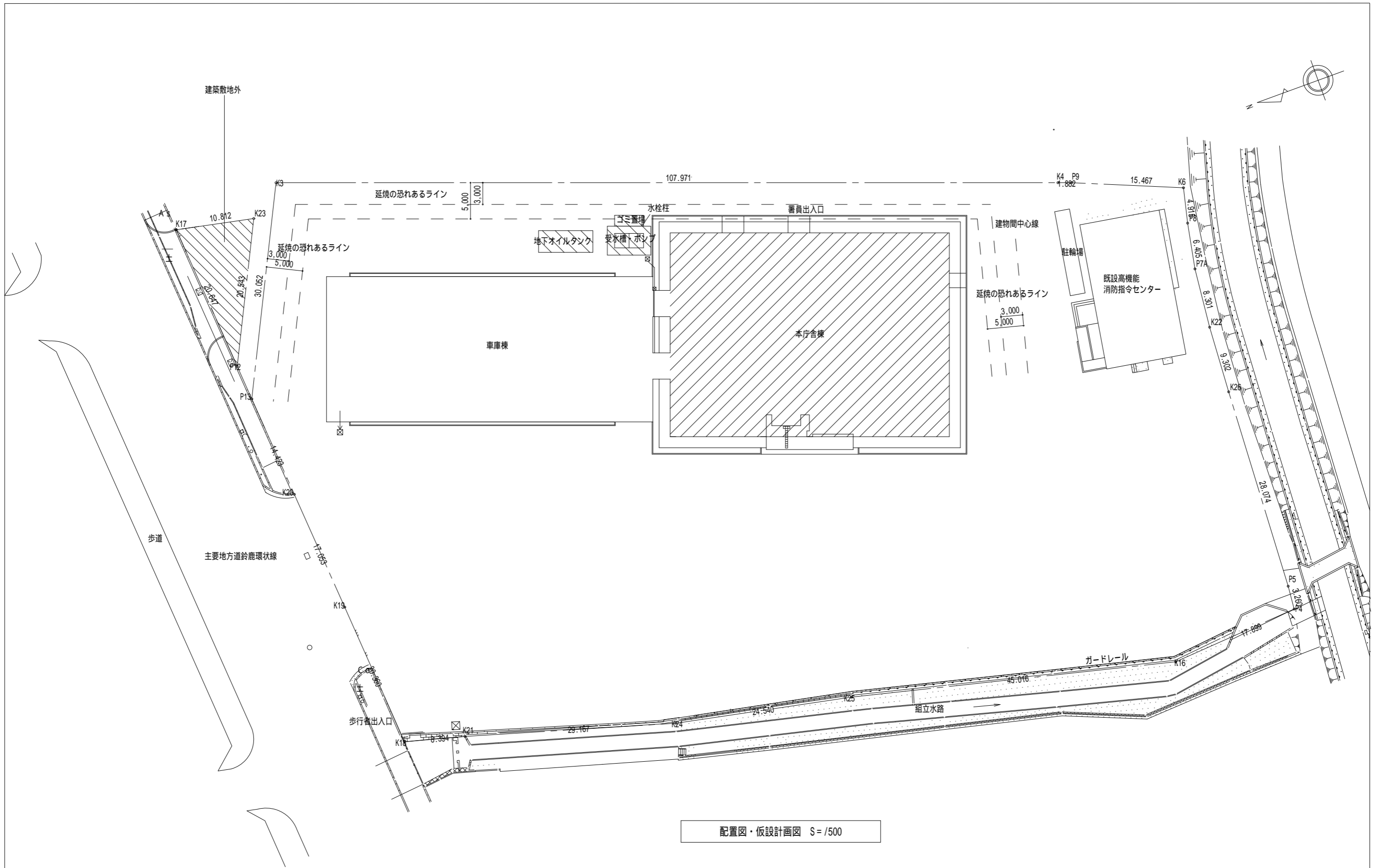
9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) (6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5) - (表6.10.8)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
10 フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2)	エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しの仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しの仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	・ 釘留め工法 材料 種類 樹種 ・ フローリングボード (根太張用) ・ 複合フローリング (根太張用) ・ A種 ・ B種 ・ C種 防滑処理 ・ 図示 (図面番号:)
(6.11.6)	・ 接着工法 材種 樹種 厚さ 大きさ ・ フローリングボード (直張用) ・ フローリングブロック (直張用) ・ 複合フローリング (直張用) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ () ・ () 緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号:)
11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 K T - (・ ・ ・ ・ K ・ N)
(6.13.2) (表6.13.1)	せっこうボード、その他ボード及び合板張り 材料 種類 厚さ (mm) ○ せっこうボード 壁 ○ 9.5 (不燃) ○ 12.5 (不燃) H 井 ○ 9.5 (不燃) ○ 12.5 (不燃) ○ 化粧せっこうボード ○ トラバーチン模様 ○ 9.5 (不燃) ○ 9.5 (準不燃) ・ 木目模様 ・ 9.5 (不燃) ・ 9.5 (準不燃) ・ ロックウォール化粧吸音板 ・ 9 (不燃) ・ () ・ 立体模様 ・ けい酸カルシウム板 ・ タイプ 0.8FK
(6.13.3)(4)(9)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種
(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)	せっこうボードの目地工法 ○ 継目処理 ○ 突付け ○ 目透し
(6.14.2)	壁紙張り 施工箇所 種類 防火性能 防火対策策室 ビニルクロス ○ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃
14 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状:) 床の目地 ・ 図示 (図面番号:) 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示 (図面番号:)
15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示 (図面番号:)
(6.16.3)(2)	タイルの種類 施工箇所 工 法 種 類 形状寸法 耐滑り性 うわぐすり 役 物 標準・特注色の別 耐薬害性の有無 試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない
16 セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ セッコウ系 ・ セメント系 塗厚 () mm
17 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法 種類 種別 厚さ (mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ A種硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム
(9.5.3)	断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム) 種類 厚さ [mm] 施工箇所 ・ A種 1 ・ A種 1H ・ () ・ () ・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとならなければならぬ箇所 ・ ()



6	③ フリーアクセスフロア	既設部取り合部： ○ボーダー支柱を適宜新設し補強する。 耐荷重性能： ・3000N ・4000N ○5000N ○フイスカ対策 ・ 既設フリーアクセスフロアの不陸調整 ○フリーアクセスフロア モザイクフロア 5000N（藤沢建機（株）同等品）		4 断熱・防露改修工事 (9.5.2) ・ 断熱材打込み工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（ ）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 施工箇所 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ） (9.5.3) ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・（ ） 厚さ（mm） ・ 25 ・ 30 ・（ ） 施工箇所 ・ 図示（図面番号： ） ・ 現場発泡断熱材（品質・性能） 工事建築材料等品質性能表による（試験方法） 工事建築材料等品質性能表による (9.5.4) ・断熱材後張り工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>せつこうボード等の張り付け</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（ ）</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 施工箇所 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	種類	厚さ[mm]	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）		・硬質ウレタンフォーム断熱材		・フェノールフォーム断熱材		・（ ）		種類	せつこうボード等の張り付け	厚さ[mm]	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・有 ・無		・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・有 ・無		・硬質ウレタンフォーム断熱材	・有 ・無		・フェノールフォーム断熱材	・有 ・無		・（ ）	・有 ・無																																																
種類	厚さ[mm]																																																																																
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）																																																																																	
・硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																	
・フェノールフォーム断熱材																																																																																	
・（ ）																																																																																	
種類	せつこうボード等の張り付け	厚さ[mm]																																																																															
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・有 ・無																																																																																
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・有 ・無																																																																																
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・有 ・無																																																																																
・フェノールフォーム断熱材	・有 ・無																																																																																
・（ ）	・有 ・無																																																																																
6	① 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)	・ 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点（各施工箇所ごと）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td></td> <td>負圧・除じん装置の排出吹出し口</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td></td> <td>処理作業室外（敷地境界）</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業後（シート養生中）</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後シート撤去後1週間</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </tbody> </table> 測定方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1,2,4,6,7,8</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>・1 ・（ ）</td> <td>・5 ・（ ）</td> <td>・10 ・（ ）</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・5 ・（ ）</td> <td>・120 ・（ ）</td> <td>・240 ・（ ）</td> </tr> </tbody> </table> (9.1.3) ・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ） 除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・（ ） 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 湿潤化 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による） (9.1.4) ・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ） 除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・（ ） 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による） (9.1.5) ○石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 ○ 図示（図面番号： ） 石綿含有せつこうボードの処分 ○ 埋立処分（管理型最終処分場） 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による） (9.1.6) ・ 石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ） 除去した石綿含有仕上塗材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による） 大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（令和3年3月）」に基づき適切に処理すること。 ・ 除去等作業の結果報告 除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。 ○石綿含有の可能性のある建材は、みなし扱いとし、撤去処分を行う。 改修特記仕様書 3章による	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	・	測定2		調査対象室外部の付近	計点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点	・	測定4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点	・	測定5		処理作業室外（敷地境界）	計点	・	測定6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計点	・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間	処理作業室内	計点	・	測定8	以降	調査対象室外部の付近	計点		測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5	メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47	試料の吸引流量(L/min)	・1 ・（ ）	・5 ・（ ）	・10 ・（ ）	試料の吸引時間(min)	・5 ・（ ）	・120 ・（ ）	・240 ・（ ）	5 屋上緑化改修工事 (9.6.1) (9.6.2) (9.6.3) 6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2) - (9.5.7) (9.5.9) 既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ） 路床 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュヤラン ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（7μmふるい通過量10%以下） ・（ ）</td> <td>・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂 ・（ ）</td> <td>・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</td> </tr> </tbody> </table> 路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰（・特号 ・1号） ・ 消石灰（・特号 ・1号） 添加量（ kg/m ² ）（目標CBR ・5以上 ・（ ）） ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m ² 以上 ・（ ） 厚さ[mm] ・ 0.5-1.0 ・（ ） 引張強さ ・ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上 ・（ ） 透水係数 ・ 1.5×10 ⁻⁴ -1cm/sec 以上 ・（ ） 試験 路床土の支持力比（CBR）試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない 路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 図示（図面番号： ） ・（ ） 路盤材料 ・ 再生材のクラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン鉄鋼スラグ ・ 図示（図面番号： ） ・（ ） 試験 路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</td> </tr> </tbody> </table> 試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・（ ）	種別	材料	厚さ[mm]	・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（7μmふるい通過量10%以下） ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	・フィルター層	・砂 ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	材料	厚さ[mm]	・ストレートアスファルト	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	設計 服部 年月日 検図 牛田 年月日 承認 山下 年月日 図番 KS03 津市 三重中央消防指令センター総合整備工事 課長 主幹 課長補佐 係長 係 図名 縮尺 鈴鹿市消防本部 改修工事 1/50 特記仕様書(3)
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）																																																																													
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																													
・	測定2		調査対象室外部の付近	計点																																																																													
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																													
・	測定4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点																																																																													
・	測定5		処理作業室外（敷地境界）	計点																																																																													
・	測定6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計点																																																																													
・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間	処理作業室内	計点																																																																													
・	測定8	以降	調査対象室外部の付近	計点																																																																													
	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5																																																																														
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47																																																																														
試料の吸引流量(L/min)	・1 ・（ ）	・5 ・（ ）	・10 ・（ ）																																																																														
試料の吸引時間(min)	・5 ・（ ）	・120 ・（ ）	・240 ・（ ）																																																																														
種別	材料	厚さ[mm]																																																																															
・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）																																																																															
・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（7μmふるい通過量10%以下） ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）																																																																															
・フィルター層	・砂 ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）																																																																															
材料	厚さ[mm]																																																																																
・ストレートアスファルト	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）																																																																																



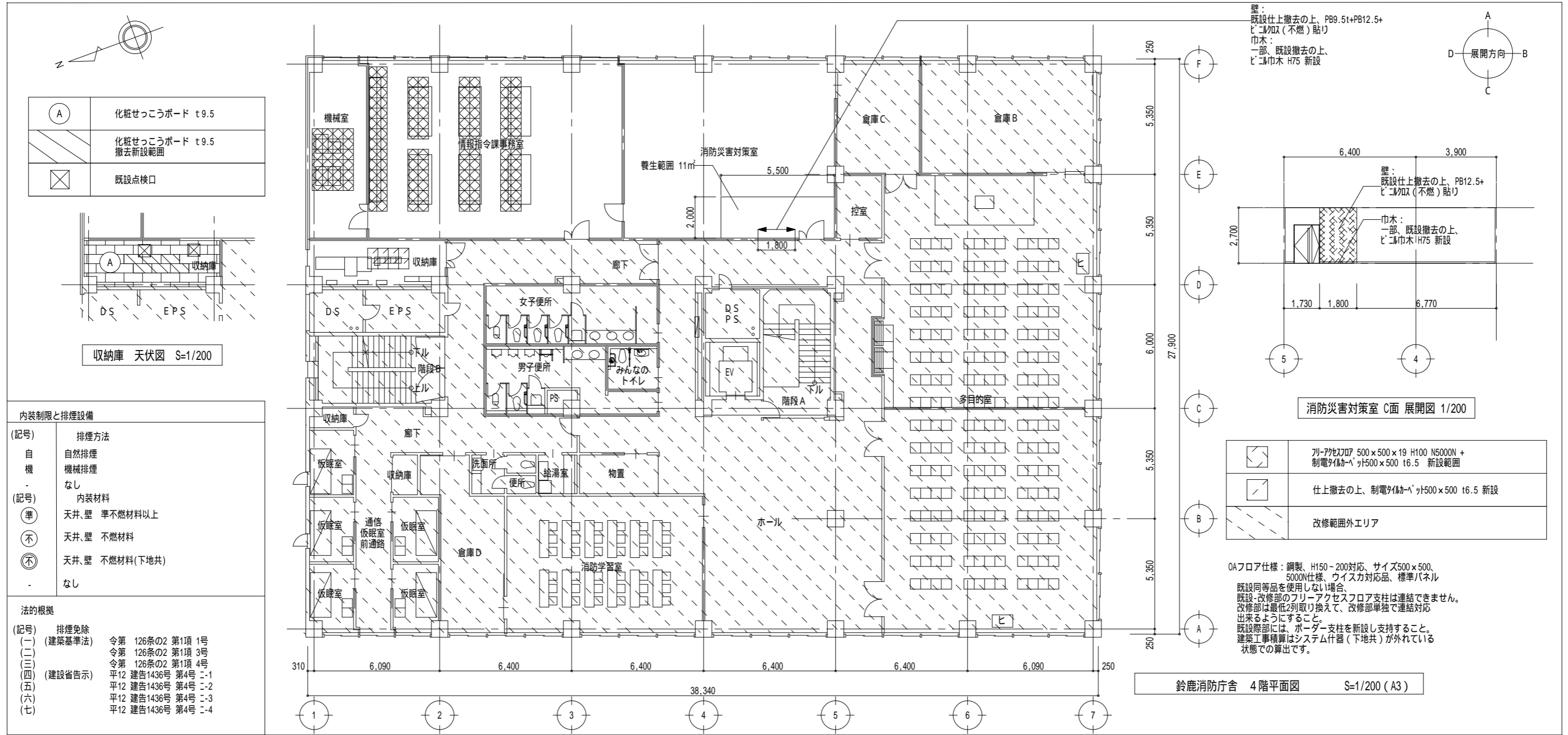
ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	鈴鹿市消防本部 改修工事	図番		KS04
					課長補佐	配置図			
					係長	縮尺			
					係	1/500			

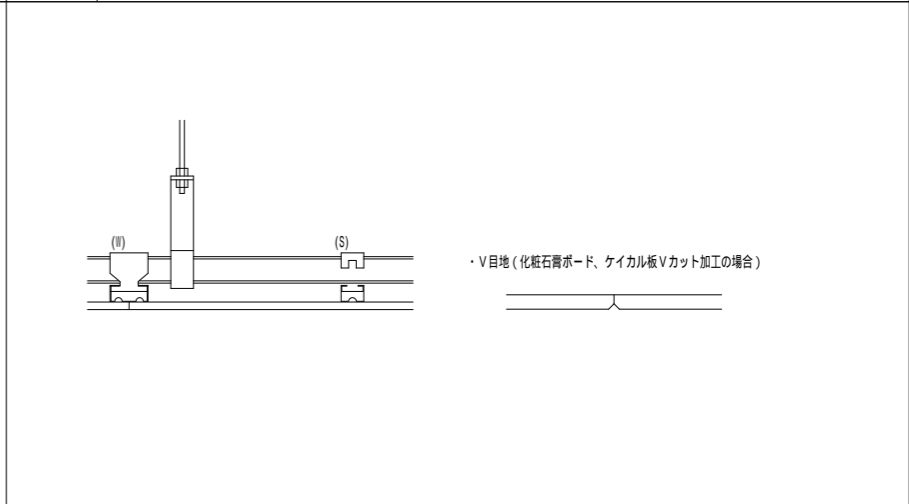
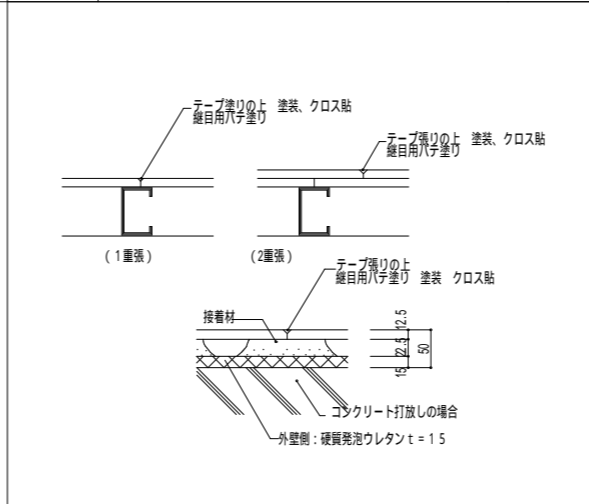
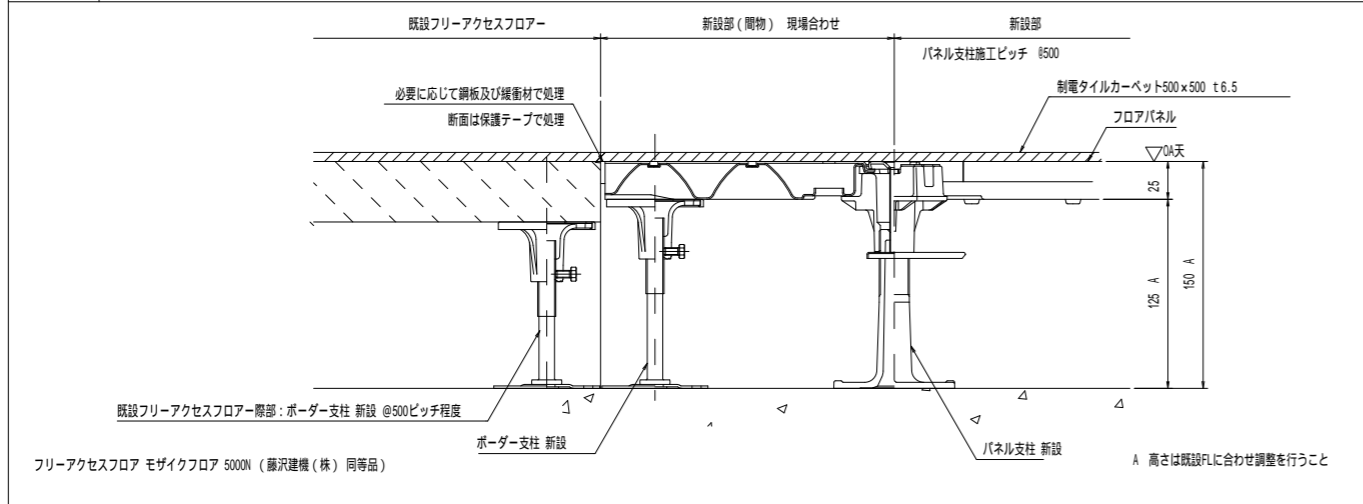


ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



内部仕上表															: アスベストみなし部材を示す。			
階	室名	改修工事	内装制限と排煙設備			床			巾木		壁		天井				備考	
			排煙方法	内装材料	法的根拠	仕上げ	仕上高	巾木	H	仕上げ	下地	仕上げ	下地	廻縁	天井高			
4F	情報指令課事務室	改修前	自	⊗	-	ﾌﾘｰﾌﾞﾙﾄﾞﾌﾞﾙﾄﾞ 500 x 500 H150+ﾀｲﾙｶｰﾍﾞｯﾄ	FL±0	ﾋﾞｺﾞ巾木	75	PB9.5t+PB12.5+ﾋﾞｺﾞ巾木 PB12.5(GL工法)+ﾋﾞｺﾞ巾木	LGS C	岩綿吸音板t12(PBt12.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,700			
		改修後	自	⊗	-	既設のまま ﾌﾘｰﾌﾞﾙﾄﾞﾌﾞﾙﾄﾞ欠損部:ﾌﾘｰﾌﾞﾙﾄﾞﾌﾞﾙﾄﾞ 500 x 500 x 19 H100 N5000N + 制電ﾀｲﾙｶｰﾍﾞｯﾄ500 x 500 t6.5 新設 情報機器撤去部: 仕上撤去の上、制電ﾀｲﾙｶｰﾍﾞｯﾄ500 x 500 t6.5 新設	FL±0	既設のまま	75	既設のまま		既設のまま	LGS	塩ビ	2,700			
	消防災害対策室	改修前	自	⊗	-	ﾌﾘｰﾌﾞﾙﾄﾞﾌﾞﾙﾄﾞ 500 x 500 H150+ﾀｲﾙｶｰﾍﾞｯﾄ	FL±0	ﾋﾞｺﾞ巾木	75	PB9.5t+PB12.5+ﾋﾞｺﾞ巾木 PB12.5(GL工法)+ﾋﾞｺﾞ巾木	LGS C	岩綿吸音板t12(PBt12.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,700			
		改修後	自	⊗	-	既設のまま	FL±0	既設のまま	75	既設のまま 一部、既設撤去の上、 ﾋﾞｺﾞ巾木 H75 新設		既設のまま 情報機器撤去部: 既設仕上撤去の上、PB9.5t+PB12.5+ ﾋﾞｺﾞ巾木 (不燃) 貼り	LGS	塩ビ	2,700			
	機械室	改修前	自	⊗	-	ﾌﾘｰﾌﾞﾙﾄﾞﾌﾞﾙﾄﾞ 500 x 500 H150+ﾀｲﾙｶｰﾍﾞｯﾄ	FL±0	ﾋﾞｺﾞ巾木	75	PB9.5t+PB12.5+ﾋﾞｺﾞ巾木 PB12.5(GL工法)+ﾋﾞｺﾞ巾木	LGS C	岩綿吸音板t12(PBt12.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,700			
		改修後	自	⊗	-	既設のまま ﾌﾘｰﾌﾞﾙﾄﾞﾌﾞﾙﾄﾞ欠損部:ﾌﾘｰﾌﾞﾙﾄﾞﾌﾞﾙﾄﾞ 500 x 500 x 19 H100 N5000N + 制電ﾀｲﾙｶｰﾍﾞｯﾄ500 x 500 t6.5 新設	FL±0	既設のまま	75	既設のまま		既設のまま	LGS	塩ビ	2,700			
収納庫	改修前	自	⊗	-	ﾀｲﾙｶｰﾍﾞｯﾄ	FL-15	ﾋﾞｺﾞ巾木	75	PB9.5t+PB12.5+ﾋﾞｺﾞ巾木 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	化粧せっこうボード t9.5	LGS	塩ビ	2,500				
	改修後	自	⊗	-	既設のまま 情報機器撤去部: 仕上撤去の上、制電ﾀｲﾙｶｰﾍﾞｯﾄ500 x 500 t6.5 新設	FL-15	既設のまま	75	既設のまま		既設のまま 一部、仕上撤去の上、化粧石膏ボード 450 x 900 t9.5 新設	LGS	塩ビ	2,500				





版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名	承認	山下	年月日
						鈴鹿市消防本部 改修工事 雑詳細図	図番		KS06
						縮尺 図示			



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

<p>工事特記仕様書（改修）</p> <p>・ 工事名称 亀山消防本部 改修工事</p> <p>・ 工事概要</p> <p>1 工事場所 三重県亀山市野村4丁目1-23 地内</p> <p>2 敷地面積 6,121.26㎡</p> <p>3 工事内容 指令室改修工事</p> <p>様名称 庁舎棟</p> <p>構造 RC造3階建て</p> <p>建築面積 1,683.20㎡</p> <p>延べ面積 2,635.89㎡</p> <p>工事項目 改修工事</p> <p>・ 建築改修工事仕様</p> <p>1 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。</p> <p>2 特記仕様 (1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、 印の付いたものを適用する。 (3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕様の該当項目等を示す。</p>		<p>4 建設副産物情報交換システムの利用</p> <p>受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見えやすい場所に掲げること。なお、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。</p> <p>5 三重県産業廃棄物税</p> <p>本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p> <p>・ 配置する</p> <p>職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。</p> <p>調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による</p> <p>補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</p> <p>9 調査のための破壊部分の修繕 (1.5.3)</p> <p>10 建築材料等</p> <p>1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F 以上とする。</p> <p>測定対象化学物質（ 示したものとす。）</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>施設用途</th> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>パラジクロロベンゼン</th> </tr> <tr> <td></td> <td>学校、教育施設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>住宅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ○（ 通信指令室（事務室）2箇所 ）</p> <p>測定方法（ ○ パッパシ法 ・ アクティブ法）</p> <p>測定時期 ○（ 改修前、改修後 ）</p> <p>報告書提出部数 2部</p> <p>改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。</p> <p>11 化学物質の濃度測定 (1.6.9)</p> <p>12 特別な材料の工法</p> <p>13 騒音・振動の防止</p> <p>14 工事写真 (1.2.4)</p> <p>15 完成図等 (1.8.2)</p> <p>16 完成写真 (1.8.3)</p> <p>17 設備工事との取合い</p> <p>18 既存部分等への処置 (1.3.13)</p> <p>19 事故の発生時</p> <p>20 消防提出書類</p> <p>21 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置</p> <p>22 不正軽油の使用の禁止</p> <p>23 屋外広告物</p>		適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン		学校、教育施設								住宅								その他							<p>23 石綿含有建材の調査 (1.5.1)</p> <p>○石綿含有建材の事前調査 調査範囲 ・ 図示（図面番号： ） ○（ 改修範囲 ） 貸与資料 ・ 既存の設計図書 ・ 石綿含有建材の調査報告書 ・（ ）</p> <p>・ 分析調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th>定性分析法</th> <th>定量分析法</th> </tr> <tr> <td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td> <td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図面（図面番号： ） ・（ ）</p> <p>○石綿含有の可能性がある建材は、みなし扱いとし、撤去処分を行う。</p> <p>2 1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)</p> <p>・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>2 2 足場 (2.2.1)</p> <p>(表2.2.1)</p> <p>設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>内部足場の種別（参考） ○ 脚立 ・ 欄足場 ・ その他（ ） 外部足場の種別（参考） ・ 手組先行据置枠組本足場 ・ 移動足場 ・ 高所作業車 ・ その他（ ） 外部足場設置範囲（参考） ・ 外部改修部 ・ 設備改修部 ・ 昇降用 ・ 転落防止用 防護シート等による養生 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>足場（つり足場、張出し足場又は高さ10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る。）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。</p> <p>1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者</p> <p>2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参照書」に必要な資格を有する者</p> <p>3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者</p> <p>5 既存部分の養生 (2.3.1)</p> <p>既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ） 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ○ 行わない</p> <p>4 仮設間仕切り (2.3.2)</p> <p>(表2.3.1)</p> <p>屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・（ ） せつこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・（ ） 合板又はせつこうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>仮設扉 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ） 仕様 ・ 合板張り木製扉 ・（ ）</p> <p>5 監督員事務所 (2.4.1)</p> <p>・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する ○ 設置しない 監督員事務所の規模(単位:㎡)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> </table> <p>監督員事務所の仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位 等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニル床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>鉄溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </table> <p>6 監督員事務所の設備・備品等 (2.4.1)(2)(7)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長靴</th> <th>雨合羽</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ロッカー</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>掃除具</th> <th>受注者加入電話 FAX</th> <th>冷暖房機器</th> <th>インターネット</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table> <p>7 仮設便所</p> <p>構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない</p> <p>8 工事用水</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償 ） ・ 利用できない</p> <p>9 工事用電力</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償 ） ・ 利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。</p> <p>10 交通誘導警備員</p> <p>配置 ・ 図示（図面番号： ）</p>		材料名	定性分析法	定量分析法	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	部 位 等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り	屋根	鉄溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																																																																																											
	学校、教育施設																																																																																																	
	住宅																																																																																																	
	その他																																																																																																	
材料名	定性分析法	定量分析法																																																																																																
	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																																																																																																
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																
適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																																																													
部 位 等	仕 上 げ																																																																																																	
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																																																																	
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																																																																	
屋根	鉄溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																																																																	
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																																																													
数量	組	台	個	個	個																																																																																													
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																																																													
数量	足	着	個	個	台																																																																																													
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																																																																													
数量	個	個	台	台	台																																																																																													

章	項目	特記事項																					
1	① 適用基準等	<p>1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>2) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>3) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>4) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p>																					
	② 施工条件	<p>施工方法及び検査に関する事項</p> <p>工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手すること。 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほりこ等を飛散させないように万全の注意を払うこと。 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立ち合いのもと写真に記録しておくこと。 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 設計図面に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 高所等の施工箇所で行った検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査員による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。</p>																					
	③ 発生材の処理等 (1.3.12)	<p>本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>・ 分別解体等の方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> <tr> <td>造成等</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </table> <p>○ 引き渡すを要するもの (○ 無 ・) ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有 (・ PCBを含む機器類 ・ 廃油、廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシ系類 ・ 水銀を含む特別管理産業廃棄物 ・ 廃水銀等) 処理方法 () ・ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有 (・ 蛍光灯ランプ ・ HIDランプ ・ ()) 「水銀廃棄物ガイドライン」(第2版)(平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。 ○ 石綿含有成形板等解体時の留意点 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2. 可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。 3. 飛散されない様にする。こと。 4. 保護具及び作業着を着用すること。 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 ・ 現場において再利用を図るもの () ・ 再資源化を図るもの ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ ()</p> <p>引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従って適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他 ()	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
工程	作業の有無	分別解体等の方法																					
造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																					
その他 ()	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	亀山市消防本部 改修工事 特記仕様書(1)	図番		KK01
					課長補佐	縮尺			
					係長	NS			
					係				



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

5 5 5 5 3 4	① 一般事項 (6.1.3)(2)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り付け部分の改修範囲				5 5 6 7 7 7 7 7 7 7 7 9	5 軽量鉄骨天井	野縁等の種類 ・ 屋内 ・ 19形 ・ () ・ 屋外 ・ 25形 ・ ()										
		(6.1.3)(3)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り付け部の天井改修範囲 ・ 図示(図面番号:) ・ ()				(6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)		形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示(図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示(図面番号:) ・ ふところ 3.0m 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示(図面番号:)									
		(6.1.3)(5)	天井の撤去に伴う取り付け部の壁面改修 ・ 図示(図面番号:) ・ ()				(6.6.4)		既存埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない (使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (図示(図面番号:)) ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数 (3箇所) ・ 確認強度 ()									
	② 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(1)(7)	(6.2.2)(1)(7)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ○ 行わない				(6.8.2) (6.8.2)(1)	6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示(図面番号: A-05)									
		(6.2.2)(1)(4)	合成樹脂塗り床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法				(6.8.2)(2)	7 ピンル床シート、ピンル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2)(1)	材料 ・ ピンル床シート【JIS A 5705 (ピンル系床材)】 種類別の記号 色柄 厚さ 備考									
	③ 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)	(6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ()				(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ ピンル床タイル【JIS A 5705 (ピンル系床材)】 種類別の記号 色柄 寸法 厚さ 備考									
		(6.5.2)(1)(1) (表6.5.1)	木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)				(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考									
		(6.5.2)(2)(7)	製材 「製材の日本農林規格」による製材				(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考									
		(6.5.2)(2)(1) (6.5.2)(2)(9) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示(図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ () 樹種				(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考									
		(6.5.2)(3)(1) ~ (6.5.2)(3)(2)					(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考									
	(6.5.2)(3)(7)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材			(6.8.2)(3)(7)(4)		(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考										
	(6.5.2)(3)(1)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示(図面番号:) 含水率 ・ 1.5%以下 ・ ()			(6.8.2)(3)(7)(4)		(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考										
(6.5.2)(4)(7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材			(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考												
(6.5.2)(4)(1)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示(図面番号:) 含水率 ・ 1.4%以下 ・ ()			(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考												
(6.5.2)(5)	「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示(図面番号:)			(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考												
(6.5.2)(6)	・ 合板等			(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考												
(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()			(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考												
(6.5.3)(2)	諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示(図面番号:)			(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考												
(6.5.5)(1)	・ 防虫、防蟻処理 適用部位 図示(図面番号:) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () 附属書 A に基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する (・ 薬剤の種類 () ・ 適用部材 ()) ボート原料接着剤への防虫・防蟻処理 ()			(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考												
(6.5.5)(2)	・ 防虫処理 ・ 図示(図面番号:)			(6.8.2)(3)(7)(4)	(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 制電防止シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考												
版	年月日	設定番号	変更事項		承認	発注者	津市		名称	三重中央消防指令センター総合整備工事		設計	服部	年月日	設計	服部	年月日	
						課長	主幹	課長補佐	係長	係	図名							縮尺
											亀山市消防本部 改修工事 特記仕様書(2)	NS						



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

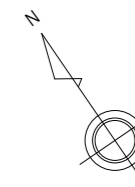
承認	山下	年月日
図番	KKO2	

6 断熱改修工事	① 材料 (7.1.3)	○ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	8 環境配慮改修工事	① 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)	・ 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと) 測定 1 処理作業前 処理作業室内 計 点 測定 2 調査対象外部の付近 計 点 測定 3 処理作業中 処理作業室内 計 点 測定 4 負圧・除じん装置の排出吹出し口 出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計 点 測定 5 処理作業室外(敷地境界) 計 点 測定 6 処理作業中(シート養生中) 処理作業室内 計 点 測定 7 処理作業後シート撤去後1週間以降 処理作業室内 計 点 測定 8 調査対象外部の付近 計 点	4 断熱・防露改修工事 (9.5.2)	・ 断熱材打込み工法 種類 厚さ[mm] ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ () 施工箇所 図示(図面番号:)		
	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR B種の場合) ・ 図示(図面番号:) 種別 下地 種別 ひび割れ部の補修 ・ 木部 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 鉄鋼面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ モルタル、プラスター面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ・ コンクリート、A L Cパネル面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ・ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ・ せっこうボード、その他ボード面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		② 素地ごしらい (7.3.1~7.3.7) (表7.3.1)~ (表7.3.7)	種別 下地 種別 ・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ モルタル、プラスター面 ・ A種 ・ B種 ・ コンクリート、A L Cパネル面 ・ A種 ・ B種 ・ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ A種 ・ B種 ○ せっこうボード、その他ボード面 ・ A種 ○ B種	(9.1.3)	・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示(図面番号:) 除去工法 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による () 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ・ 塵溜化 図形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)	(9.5.3)	・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ () 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ () 施工箇所 図示(図面番号:)
	4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3) (表7.4.3)~ (表7.4.5)	錆止めの塗料種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止めの塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種		5 合成樹脂調査ポイント塗り(SOP) (7.5.3~7.5.4) (表7.5.1)~ (表7.5.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ () 種別 下地 種別 ・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種	(9.1.4)	・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示(図面番号:) 除去方法 改修標準仕様書9.1.4(1)による () 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)	(9.5.4)	・ 現場発泡断熱材 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による
	6 クリヤラッカー塗り(L) (7.6.2) (表7.6.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種		7 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 下地 種別 ・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種	(9.1.5)	○ 石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 図示(図面番号: A-05) 石綿含有せっこうボードの処分 ○ 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)	(9.5.4)	・ 断熱材後張り工法 種類 せっこうボード等の張り付け 厚さ[mm] ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 有 ・ 無 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 有 ・ 無 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 有 ・ 無 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 有 ・ 無 ・ () ・ 有 ・ 無 施工箇所 図示(図面番号:)
	8 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系) 下地 種別 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種		9 つや有合成樹脂エマルジョンポイント塗り(EF-6) (7.9.2)~ (7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別 下地 種別 コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め() 木部(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 鉄鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種	(9.1.6)	・ 石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 図示(図面番号:) 除去した石綿含有仕上塗材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による) 大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散抑制防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。 ・ 除去等作業の結果報告 除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。	(9.5.2)~ (9.5.7) (9.5.9)	植栽基礎及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 図示(図面番号:) ・ () 見切り材、舗装材、排水孔、マルチャング材等 図示(図面番号:) ・ () 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(1 1.15 1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない かん水装置 設置する(種類 ・) 既存保護層の撤去 行う 行わない
	9 1 ウレタン樹脂ウニス塗り(UC) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 A種 ・ B種 工程1の着色 適用する 適用しない		1 2 スティン塗り(OS) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 A種 ○ B種 ・ C種 しみ止め ・ ()	2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1)~ (9.2.3)	改修特記仕様書3章による	6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2)~ (9.5.7) (9.5.9)	既存舗装の撤去及び再利用 図示(図面番号:) ・ () 路床 路床の材料 種類 材料 厚さ[mm] ・ 盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 ・ 図示(図面番号:) ・ () ・ 凍上抑制層 ・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(7µmふるい通過量10%以下) ・ () ・ フィルター層 ・ 砂 ・ 図示(図面番号:) ・ () 路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(・特号 1号) ・ 消石灰(・特号 1号) 添加量(kg/m2)(目標CBR ・ 5以上 ・) ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ () 厚さ[mm] ・ 0.5-1.0 ・ () 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm)以上 ・ () 透水係数 ・ 1.5×10 ⁻⁴ -1cm/sec 以上 ・ () 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない 路盤 路盤の構成及び厚さ 図示(図面番号:) ・ () 路盤材料 ・ 再生材のクラッシュラン ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 図示(図面番号:) 試験 路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
	7 その他	① その他 ○ 受付カウンター: オカムラ SE カウンター中継付引き違い番庫タイプH1800×D450×H1000 同等品				3 外断熱改修工事 (9.3.2)	断熱材 種類 厚さ[mm] ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ ロックウール断熱材 ・ グラスウール断熱材 ・ () 施工箇所 図示(図面番号:) ・ () 外装材 種類 防火性能 備考 ・ (9.3.3) 既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 行う 行わない 欠損部の改修工法 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ () (9.3.4) 工法 通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ () 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ () 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(1 1.15 1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない 不陸等の下地調整 行う		

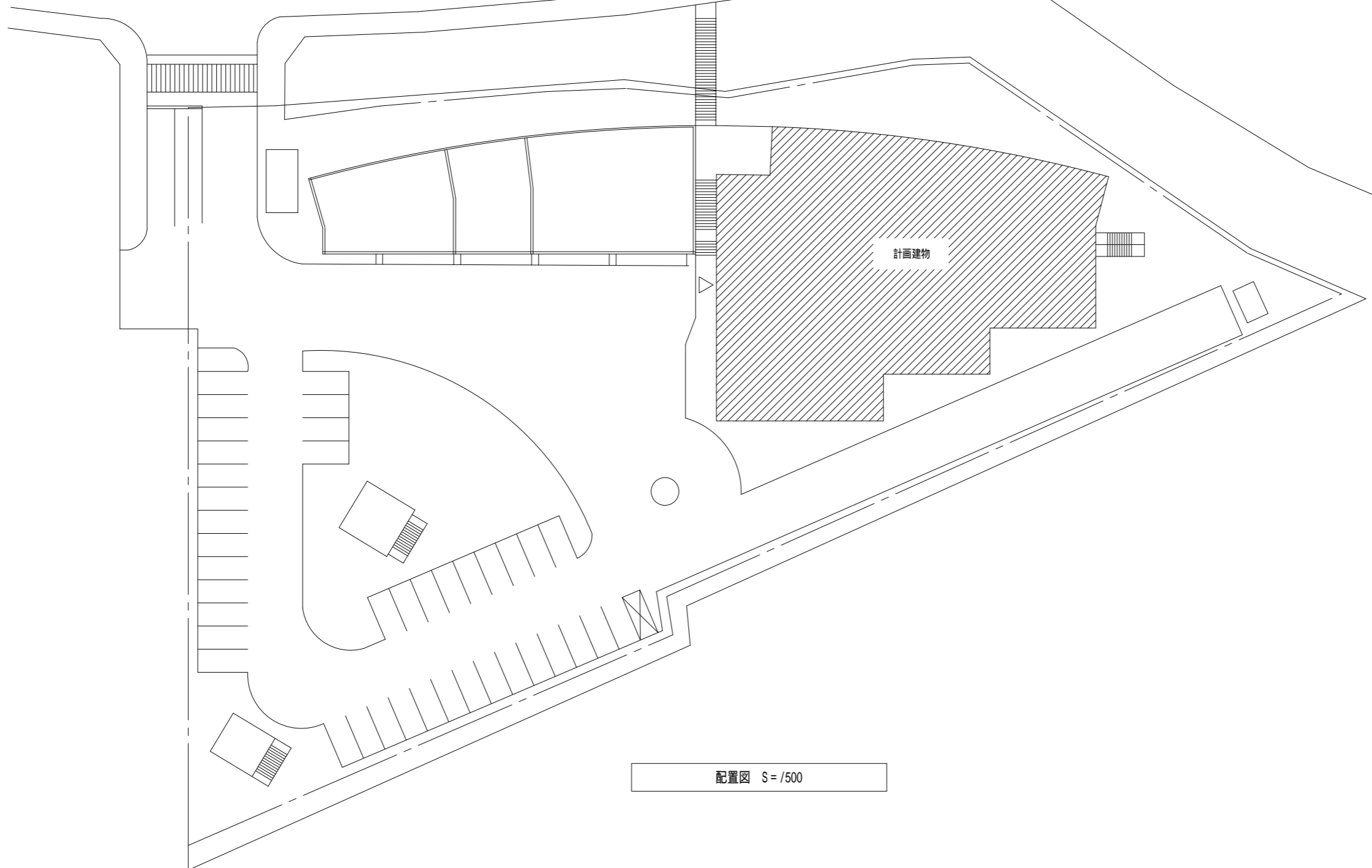
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名	承認	山下	年月日
						亀山市消防本部 改修工事 特記仕様書(3)	図番		KK03
						縮尺 NS			



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



国道1号線

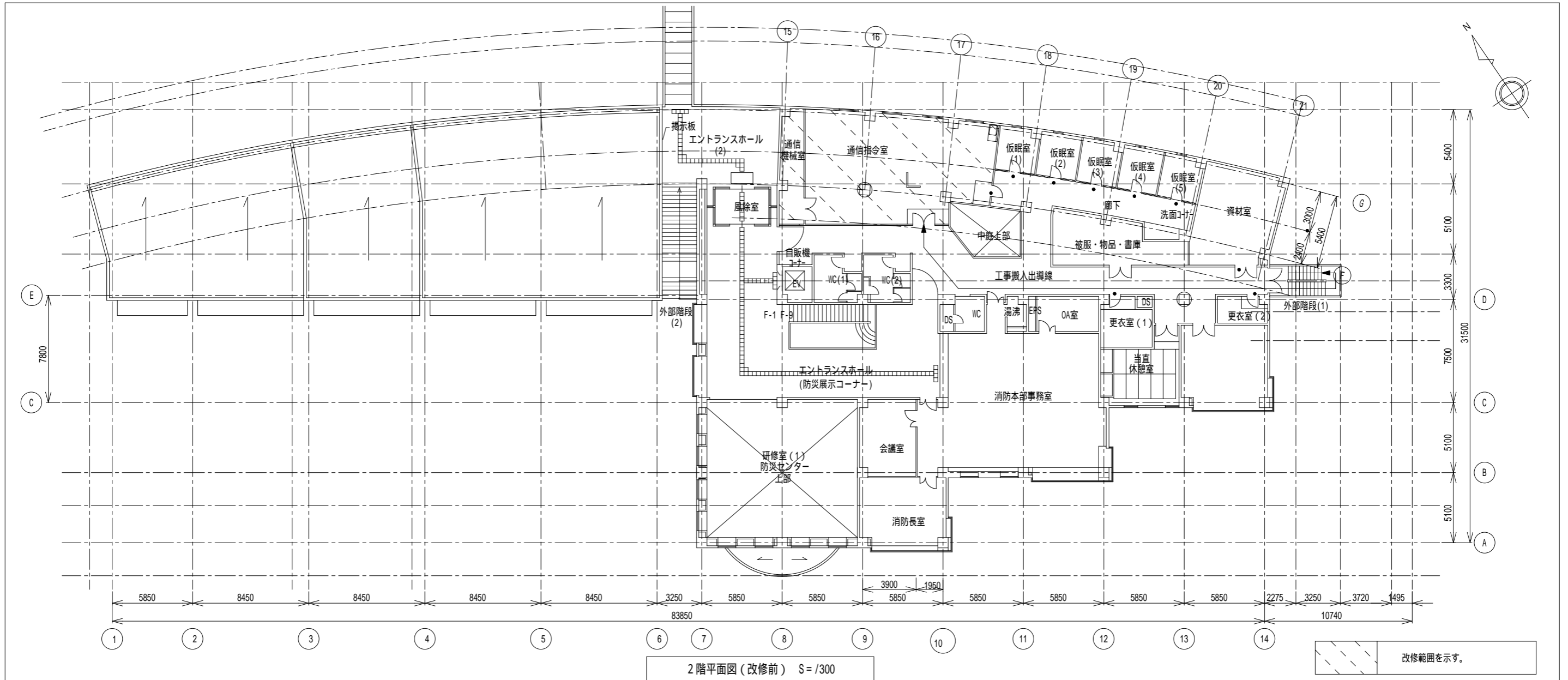


配置図 S = /500

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	亀山市消防本部 改修工事	図番		KK04
					課長補佐	配置図			
					係長				
					係				
						縮尺			
						1/500			



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation

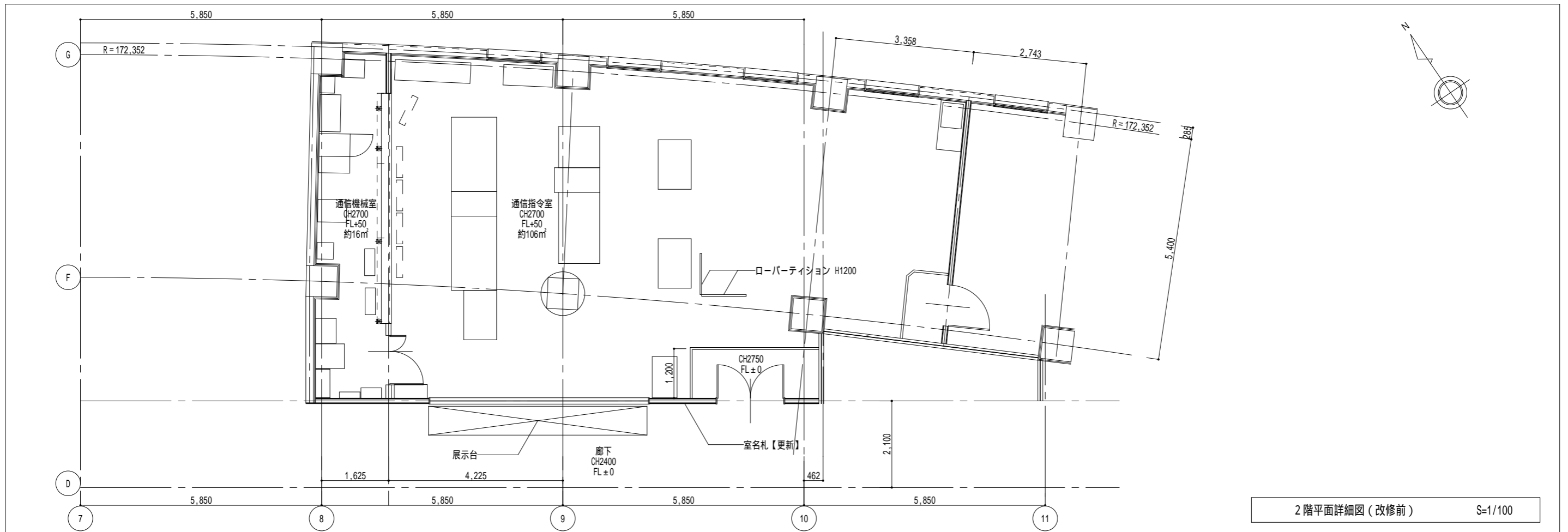


内部仕上表																	
フロア	室名	改修工事	内装制限と排煙設備			床		巾木		壁		天井			備考		
			排煙方法	内装材料	法的根拠	仕上げ	仕上高	巾木	H	仕上げ	下地	仕上げ	下地	廻縁		天井高	
2F	通信指令室 事務所	改修前	自	⊘	-	フリーアクセスフロア500×500 H100+タイルカーペット	FL+50	ビニル巾木	75	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	岩綿吸音板19(PB19.5捨貼り)		LGS	塩ビ	2,700	室名札【更新】
		改修後	自	⊘	-	既設フリーアクセスフロア不陸調整 フリーアクセスフロア欠損部: フリーアクセスフロア 500×500×19 H150 N5000N タイルカーペット部: 既設撤去の上、制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設	FL+50	既設のまま 一部、ビニル巾木 H75 新設	75	既設のまま ディスプレイ撤去部: 既設垂壁撤去の上、LGS90+PB9.5t+PB12.5+EP塗装 新設		既設のまま		LGS	塩ビ	2,700	受付カウンター (中欄付引き違い書庫タイプ)【新設】 W1800×D450×H1000 室名札撤去部:内装薄塗塗材E 部分補修
	通信機械室	改修前		⊘	(七)	フリーアクセスフロア500×500 H150+タイルカーペット	FL+50	ビニル巾木	75	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	岩綿吸音板19(PB19.5捨貼り)		LGS	塩ビ	2,700	ディスプレイ用架台鉄骨下地
		改修後		⊘	(七)	ディスプレイ撤去部: 既設仕上撤去の上、制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設 フリーアクセスフロア欠損部: フリーアクセスフロア 500×500×19 H150 N5000N 制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設	FL+50	既設のまま	75	既設のまま ディスプレイ撤去部: 既設垂壁撤去の上、LGS90+PB9.5t+PB12.5+EP塗装 新設		既設のまま		LGS	塩ビ	2,700	ディスプレイ用架台鉄骨下地 既設のまま

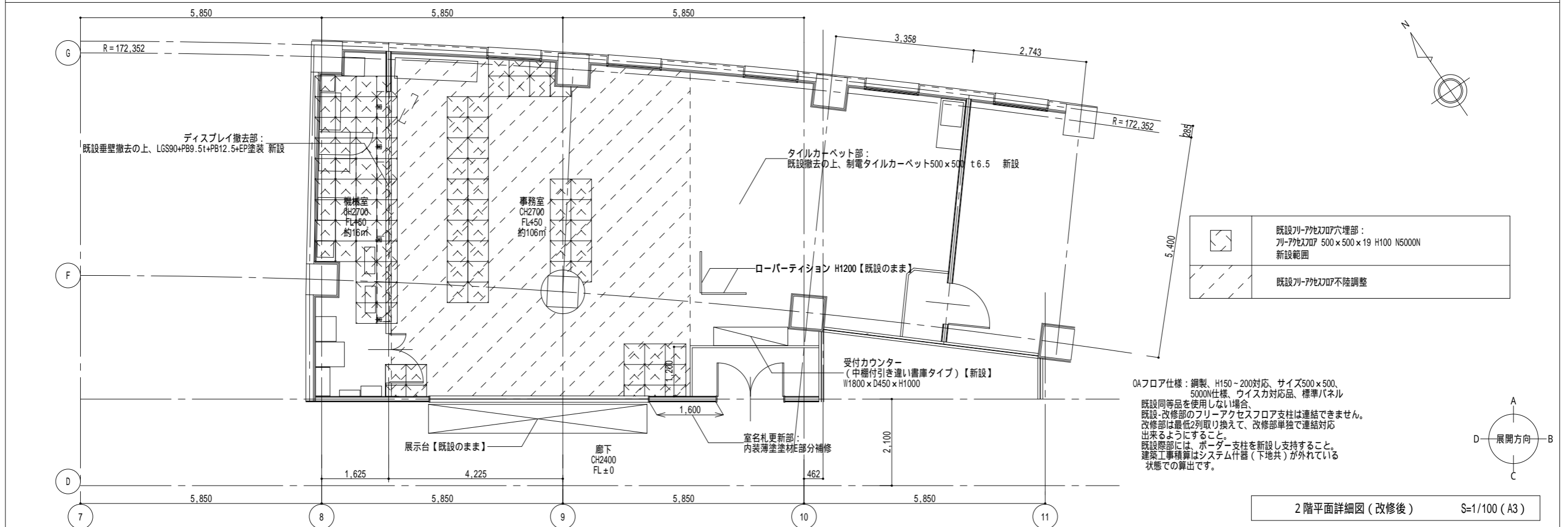
内装制限と排煙設備				法的根拠				特記事項	
(記号)	排煙方法	(記号)	内装材料	(記号)	内装材料	(記号)	排煙免除	:アスベストみなし部材を示す。	
自	自然排煙	⊘	天井、壁 準不燃材料以上	-	なし	(一)	(建築基準法) 令第 126条の2 第1項 1号	(五)	(建設省告示) 平12 建告1436号 第4号 二-2
機	機械排煙	⊘	天井、壁 不燃材料			(二)	令第 126条の2 第1項 3号	(六)	平12 建告1436号 第4号 二-3
-	なし	⊘	天井、壁 不燃材料(下地共)			(三)	令第 126条の2 第1項 4号	(七)	平12 建告1436号 第4号 二-4
		⊘				(四)	(建設省告示) 平12 建告1436号 第4号 二-1		

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事		設計	服部	年月日
					課長	図名		検図	牛田	年月日
					主幹	亀山市消防本部 改修工事	1/300	承認	山下	年月日
					課長補佐	仕上表・2階平面図		図番		KK05
					係長					
					係					



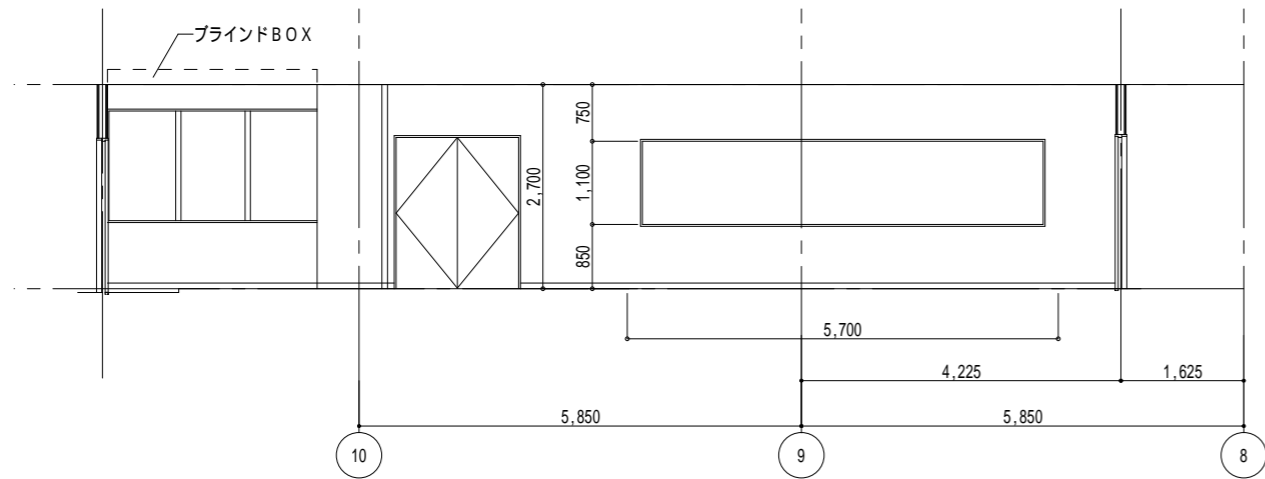


2階平面詳細図 (改修前) S=1/100

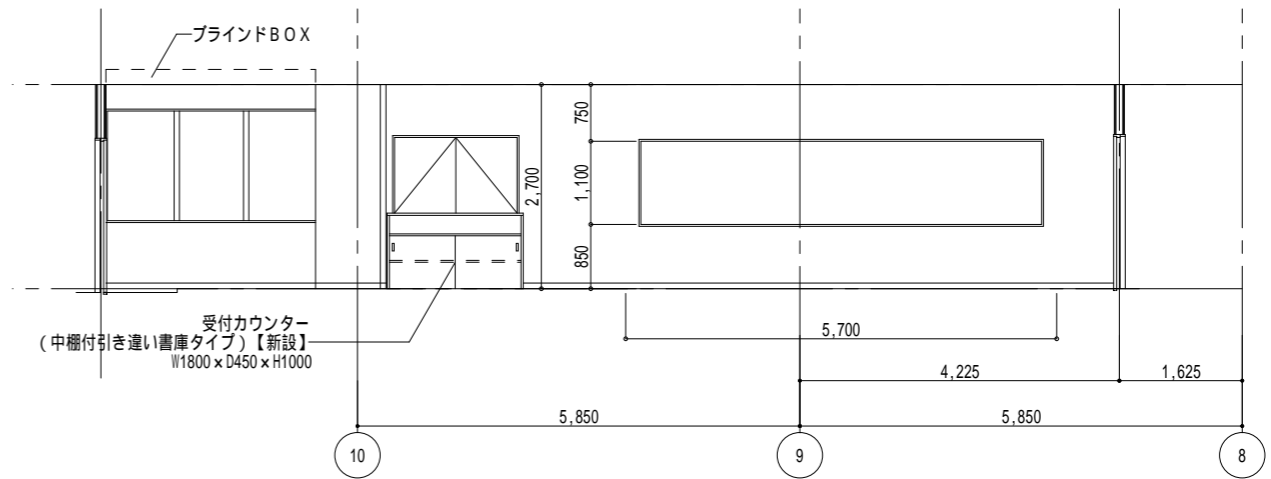


2階平面詳細図 (改修後) S=1/100 (A3)

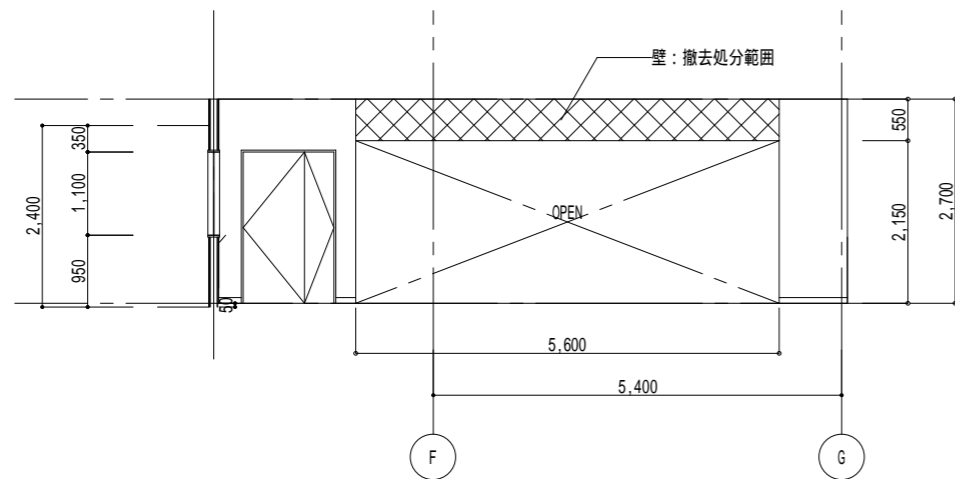
課長	課長	課長	課長	課長	課長	津市	課長	三重中央消防指令センター総合整備工事	 ビーム計画設計株式会社 Beam Planning Corporation	設計	服部	年月日	
								亀山市消防署		1/100	校閲	牛田	年月日
								2階平面詳細図 (改修前・改修後)			承認	山下	年月日
										図番	KK06		



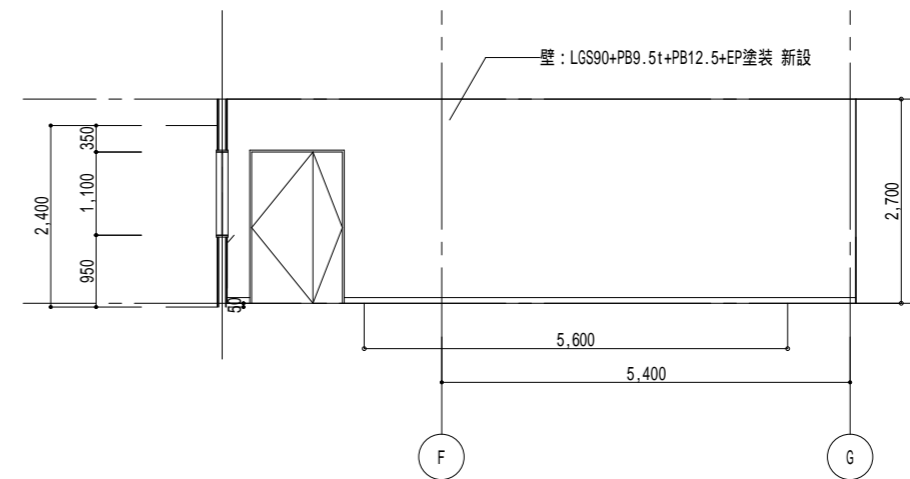
指令センター C展開図 SC 1/100



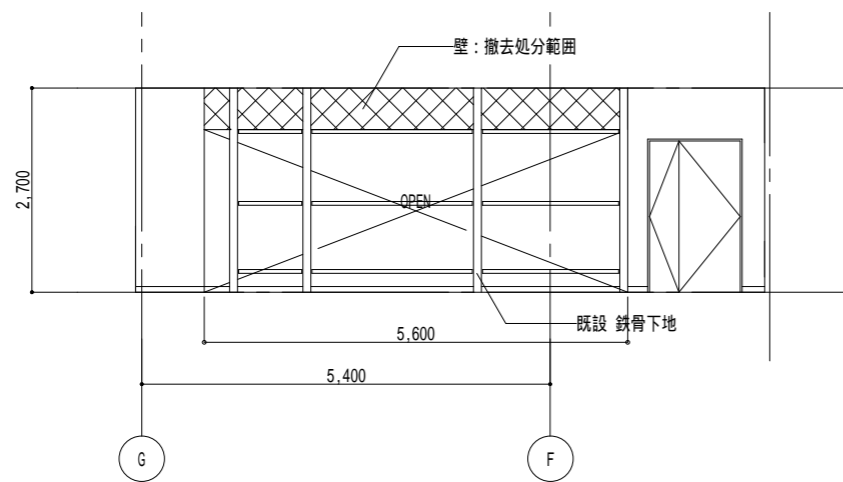
指令センター C展開図 SC 1/100



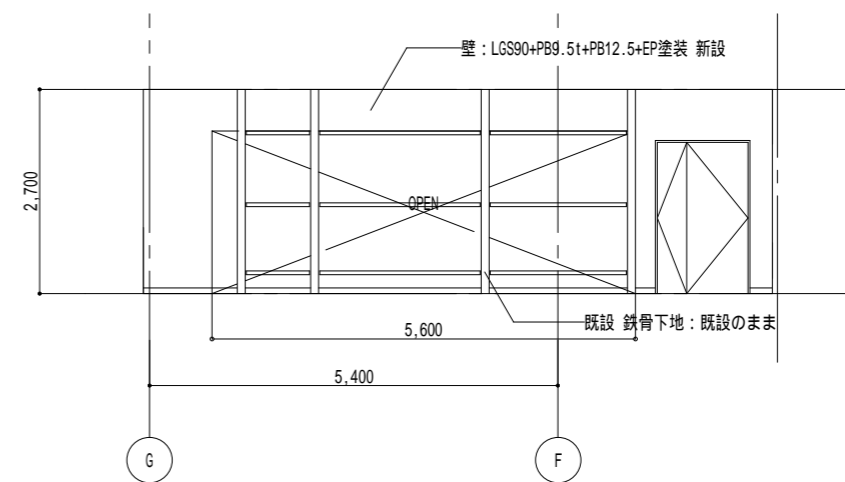
指令センター D展開図 SC 1/100



指令センター D展開図 SC 1/100



機械室 B展開図 SC 1/100



機械室 B展開図 SC 1/100

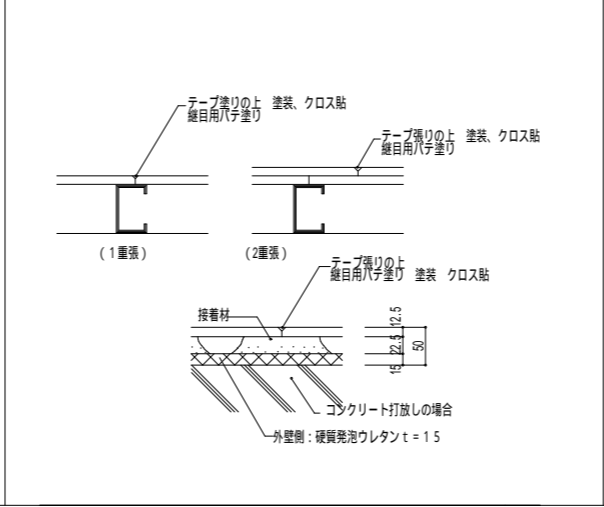
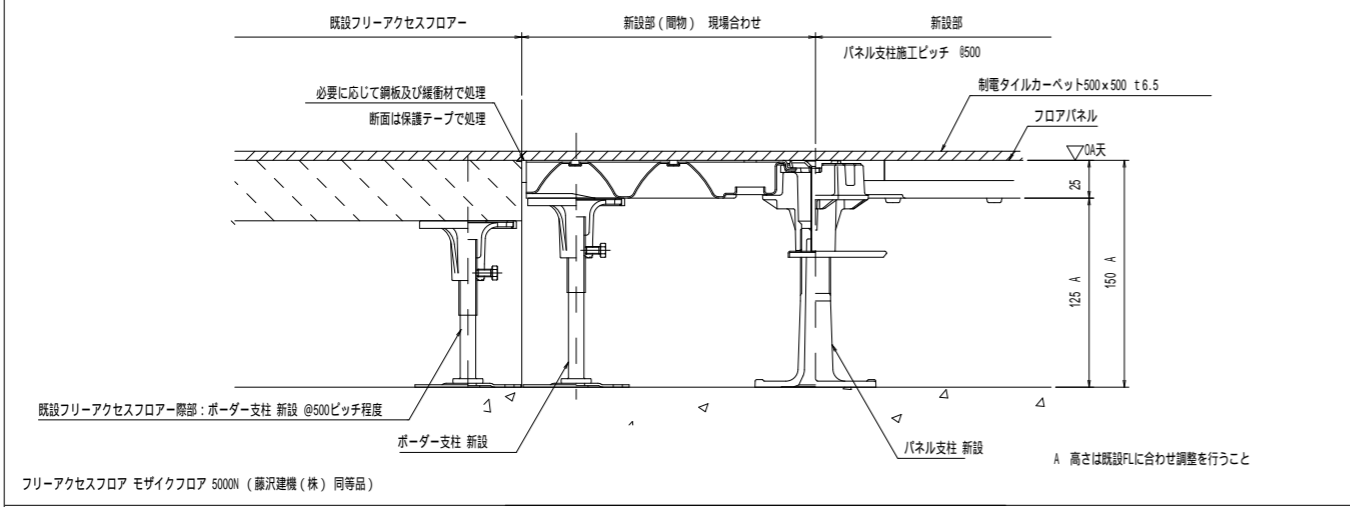
改修前

改修後

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	亀山市消防本部 改修工事 展開図(改修前・改修後)	1/100	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日
									図番	KK07	



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation



版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	亀山市消防本部 改修工事	図番	KK08	
					課長補佐	雑詳細図			
					係長	縮尺			
					係	図示			



ビーム計画設計株式会社
Beam Planning Corporation